

令和元年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

特別養護老人ホームにおけるチームケアに関する調査研究事業 報告書

令和2年3月

株式会社 アルテップ

目次

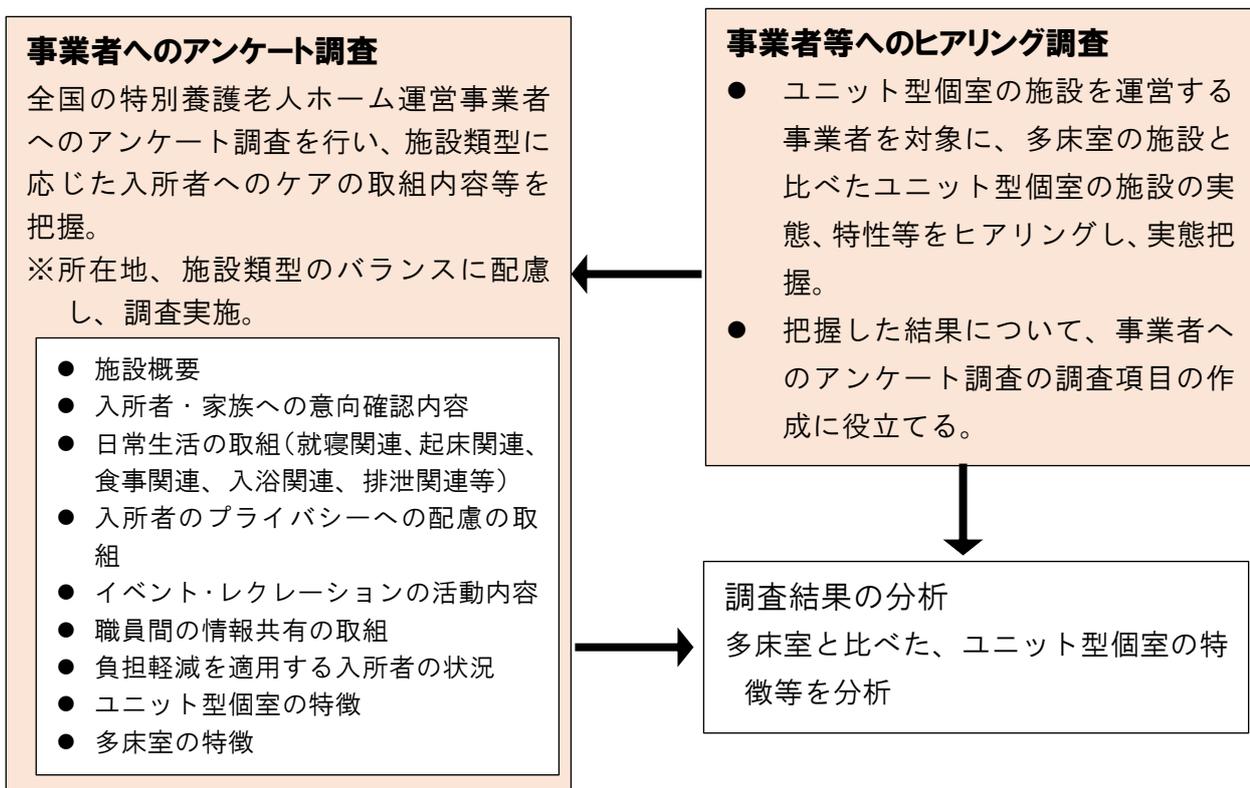
1. 調査の目的	0-1
2. 調査内容	0-1
第1章 事業者へのアンケート調査分析	1-1
1. 調査概要	1-3
2. 調査結果・分析	1-4
第2部 事業者へのヒアリング調査分析	2-1
1. 調査概要	2-3
2. 調査結果(抜粋)	2-4
3. 分析	2-13
参考資料 アンケート調査依頼文・調査票	参-1

1. 調査の目的

介護人材の不足の深刻化、入所者の要介護度の上昇等を要因として、特別養護老人ホームでの介護職員等の業務分担の需要が増している。特別養護老人ホームにおけるケアの質の維持向上を前提とした職員間のタスク分担の推進が課題である。本調査では、特別養護老人ホームにおける職員のタスクの総量、職員間のタスク分担の実態、多職種連携・チームケアの実態を把握・分析し、その効果・展望の分析をするための基礎資料づくりを行う。

2. 調査内容

下図のように、特別養護老人ホームの運営事業者へのヒアリング調査、アンケート調査を行い、施設類型に応じた入居者へのケアの取組内容等を把握・分析した。



第1章 事業者へのアンケート調査分析

1. 調査概要

●調査対象・実施方法等

調査対象	4,000 施設 厚生労働省「介護サービス情報の公表」制度にかかる公表データ介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（N=10,184）より、所在地、施設タイプのバランスを加味し、抽出。
実施期間	令和元年12月16日から令和2年1月14日
実施方法	事業実施主体（株式会社アルテップ）から郵送配布・回収 厚生労働省から調査協力の依頼文添付
回収状況	1,540 施設から回答を得た（回収率 38.5%）

●アンケート調査 設問内容

大項目	主な設問項目	頁
1. 貴施設の概要についてお聞きします。	施設類型／入所者属性（入所者数、平均要介護度、平均在所年数等）／職員配置／設備設置状況	1-3
2. 貴施設での入所者本人や家族への意向確認についてお聞きします。	意向確認している内容	1-19
3. 貴施設での日常生活の取組についてお聞きします。	就寝関連／起床関連／食事関連／入浴関連／排泄関連等	1-20
4. 貴施設での入所者のプライバシーに配慮した取組についてお聞きします。	入所者の私物の持ち込むについて／居室の扉の開閉／家族の宿泊／扉の取扱／プライバシーを確保するための取組	1-37
5. 貴施設で実施しているイベントやレクリエーション活動内容についてお聞きします。	イベント・コミュニティ活動の開催状況／入所者の参加状況	1-44
6. 貴施設での日常的な職員間の情報共有の取組についてお聞きします。	情報共有している職員の職種／情報共有の仕方／頻度	1-46
7. 貴施設の入所者の負担軽減を適用される入所者についてお聞きします。	低額要件を満たし負担軽減を適用される入所者数／別途費用負担による個別サービスの利用	1-49
8. ユニット型個室の特徴等についてお聞きします。	ユニット型個室ならではの特徴・問題・課題／ユニットリーダーについて／入所要件が要介護3以上になったことによる影響／ユニットの適正人数	1-51
9. 多床室の特徴についてお聞きします。	多床室ならではの特徴・問題・課題	1-70

2. 調査結果・分析

1. 貴施設の概要についてお聞きします。

問1 貴施設の施設類型について教えてください。

(1) 貴施設の施設類型を教えてください。(1つを選択してください)

※同一敷地内に複数の事業所が併設されている場合、定員数が最も多い事業所についてご回答ください。

※以降、特段の指定がない限り、本問で回答いただいた施設類型をもとにご回答ください。

〔選択肢〕

1. ユニット型個室	4. 多床室（準ユニットケア加算）
2. ユニット型個室的多床室	5. 従来型個室
3. 多床室	6. その他



ユニット型個室	844 施設
ユニット型個室的多床室	18 施設
多床室	591 施設
多床室（準ユニットケア加算）	7 施設
従来型個室	58 施設
その他	19 施設

☞問1（1）で「1. ユニット型個室」と回答された事業者にお尋ねします。

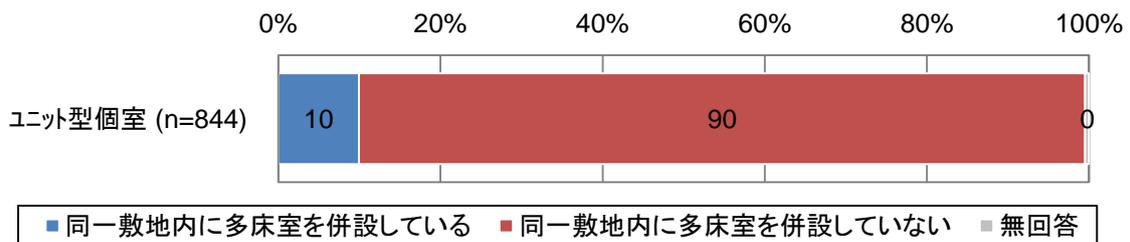
(2) 多床室の状況について教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

1. 同一敷地内に多床室を併設している	2. 同一敷地内に多床室を併設していない
---------------------	----------------------



●全体の9割が「同一敷地内に多床室を併設していない」。



問2 貴施設の入所者属性について教えてください。

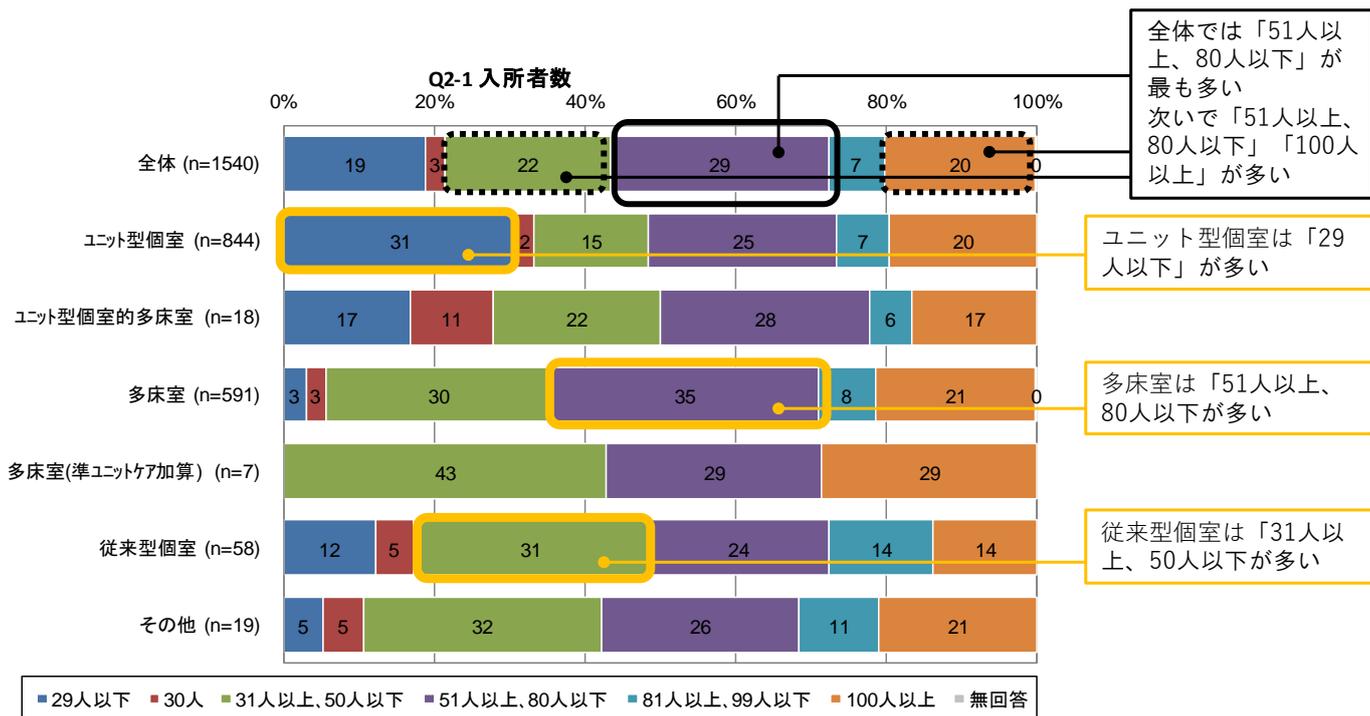
(1)施設全体の入所者数を教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 29 人以下 | 4. 51 人以上、80 人以下 |
| 2. 30 人 | 5. 81 人以上、99 人以下 |
| 3. 31 人以上、50 人以下 | 6. 100 人以上 |



- 全体では「51 人以上、80 人以下」が最も多い。次いで「31 人以上、50 人以下」「100 人以上」が多い。
- 施設類型別では、ユニット型個室は「29 人以下」が最も多い。
- 多床室型は「51 人以上、80 人以下」が多い。従来型個室は「31 人以上、50 人以下」が多い。



問1 (1) で「1. ユニット型個室」と回答された事業者にお尋ねします。

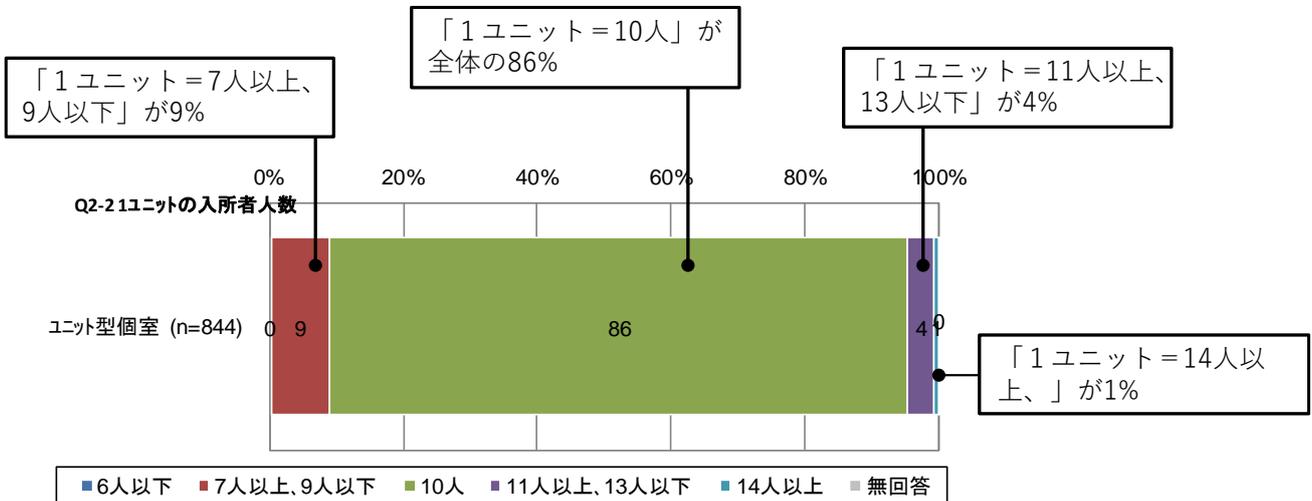
(2)1ユニットの入所者人数を教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 6人以下 | 4. 11人以上、13人以下 |
| 2. 7人以上、9人以下 | 5. 14人以上 |
| 3. 10人 | |



● 「10人」は最も多く、次いで「7人以上、9人以下」、「11人以上、13人以下」が多い。

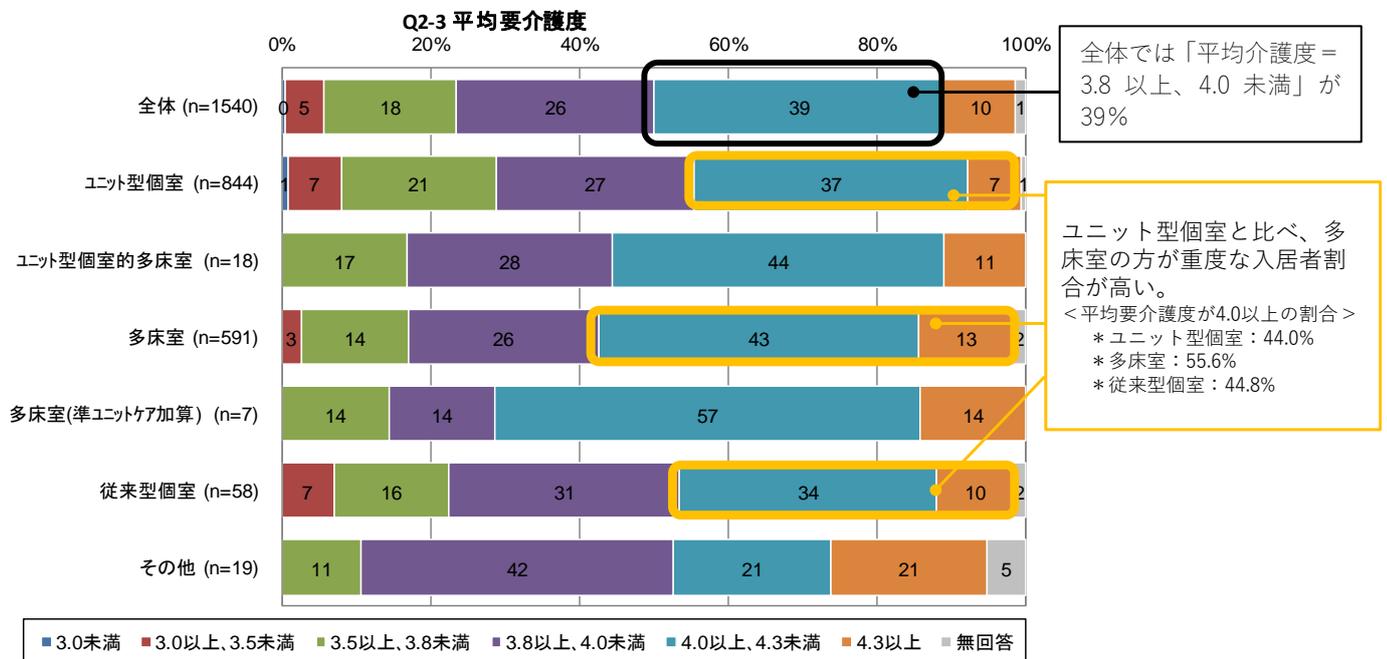


(3)施設入所者全体の平均要介護度を教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 3.0 未満 | 4. 3.8 以上、4.0 未満 |
| 2. 3.0 以上、3.5 未満 | 5. 4.0 以上、4.3 未満 |
| 3. 3.5 以上、3.8 未満 | 6. 4.3 以上 |

- 全体では「4.0 以上、4.3 未満」が最も多く、次いで「3.8 以上、4.0 未満」「3.5 以上、3.8 未満」が多い
- 施設類型別も同様な傾向だが、ユニット型個室と比べ、多床室の方が重度な入所者の割合が高い。



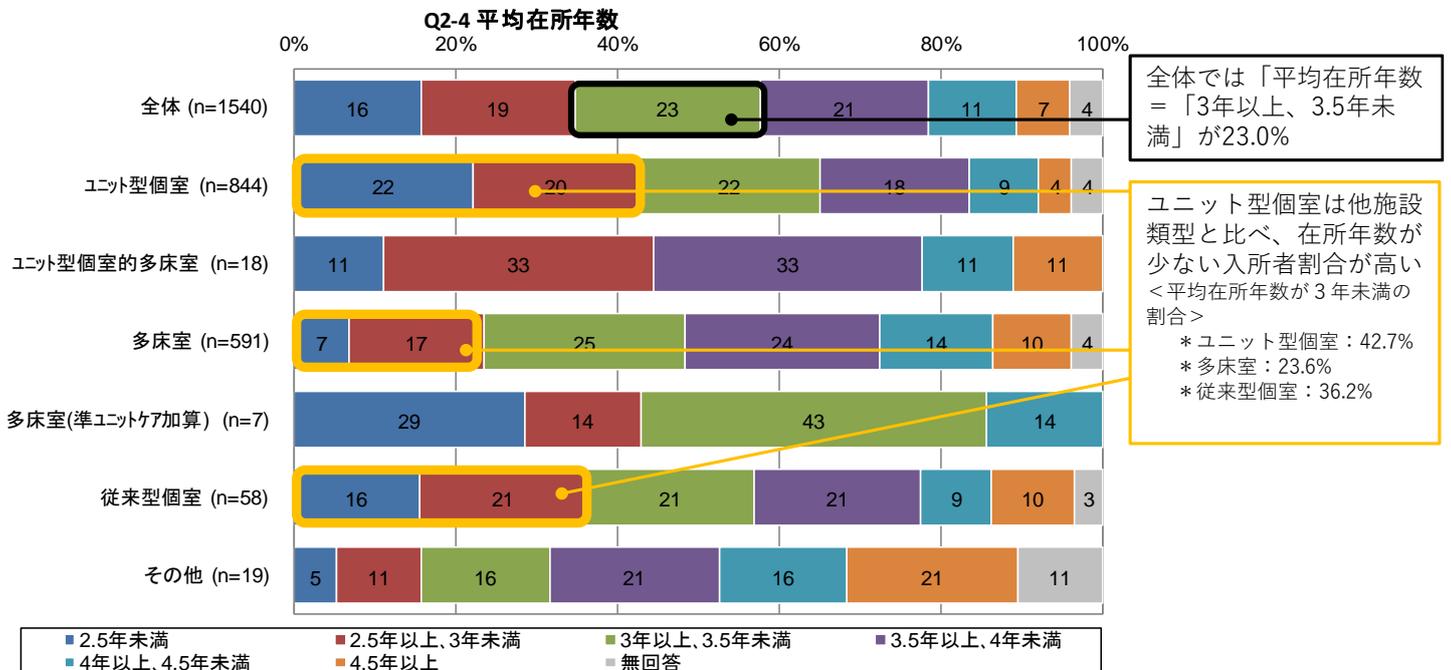
(4)施設入所者の平均在所年数を教えてください。(1つを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 2.5年未満 | 4. 3.5年以上、4年未満 |
| 2. 2.5年以上、3年未満 | 5. 4年以上、4.5年未満 |
| 3. 3年以上、3.5年未満 | 6. 4.5年以上 |



- 全体では「3年以上、3.5年未満」が最も多い。
- 施設類型別では、ユニット型個室は、他の施設類型と比べ、比較的在所年数が少ない入所者の占める割合が高い。



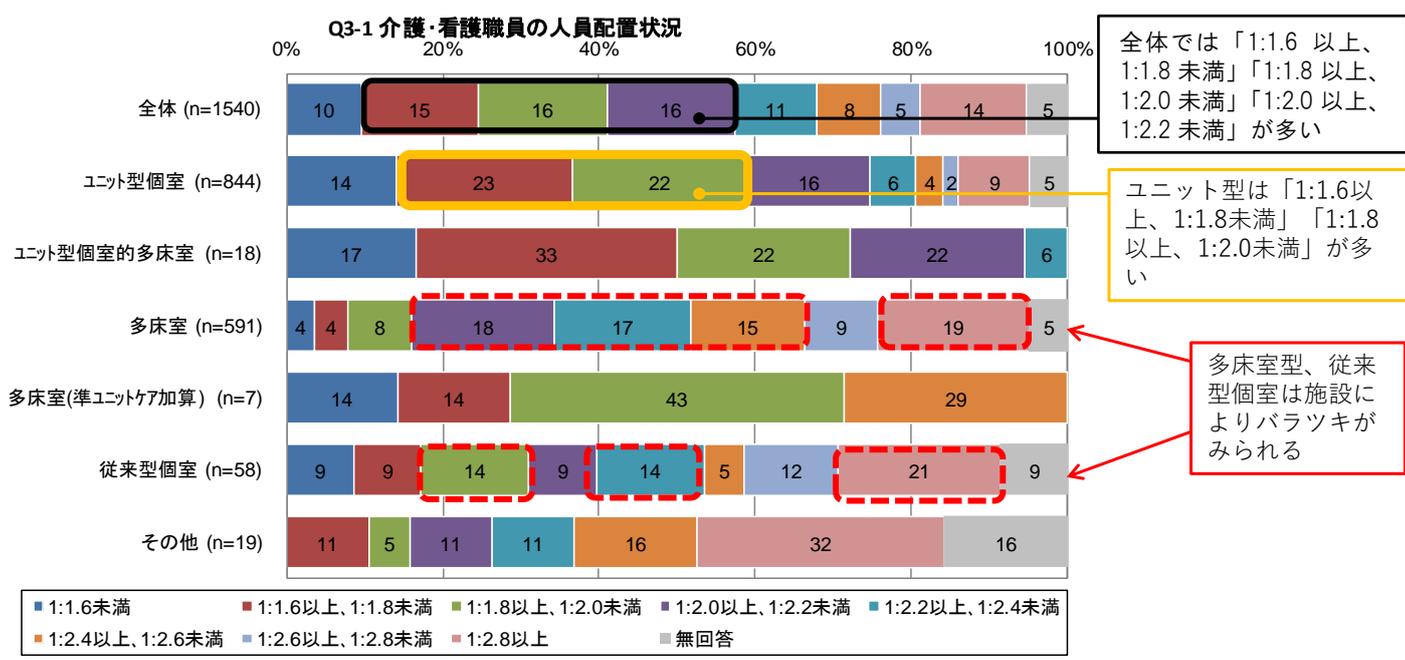
問1 貴施設の職員配置について教えてください。

(1)介護・看護職員の人員配置状況を教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1:1.6 未満 | 5. 1:2.2 以上、1:2.4 未満 |
| 2. 1:1.6 以上、1:1.8 未満 | 6. 1:2.4 以上、1:2.6 未満 |
| 3. 1:1.8 以上、1:2.0 未満 | 7. 1:2.6 以上、1:2.8 未満 |
| 4. 1:2.0 以上、1:2.2 未満 | 8. 1:2.8 以上 |

- 全体では「1:1.6 以上、1:1.8 未満」「1:1.8 以上、1:2.0 未満」「1:2.0 以上、1:2.2 未満」の割合が多い。
- 施設類型別では、ユニット型個室の方が、人員配置が手厚い。その他の施設類型はバラつきがみられる。

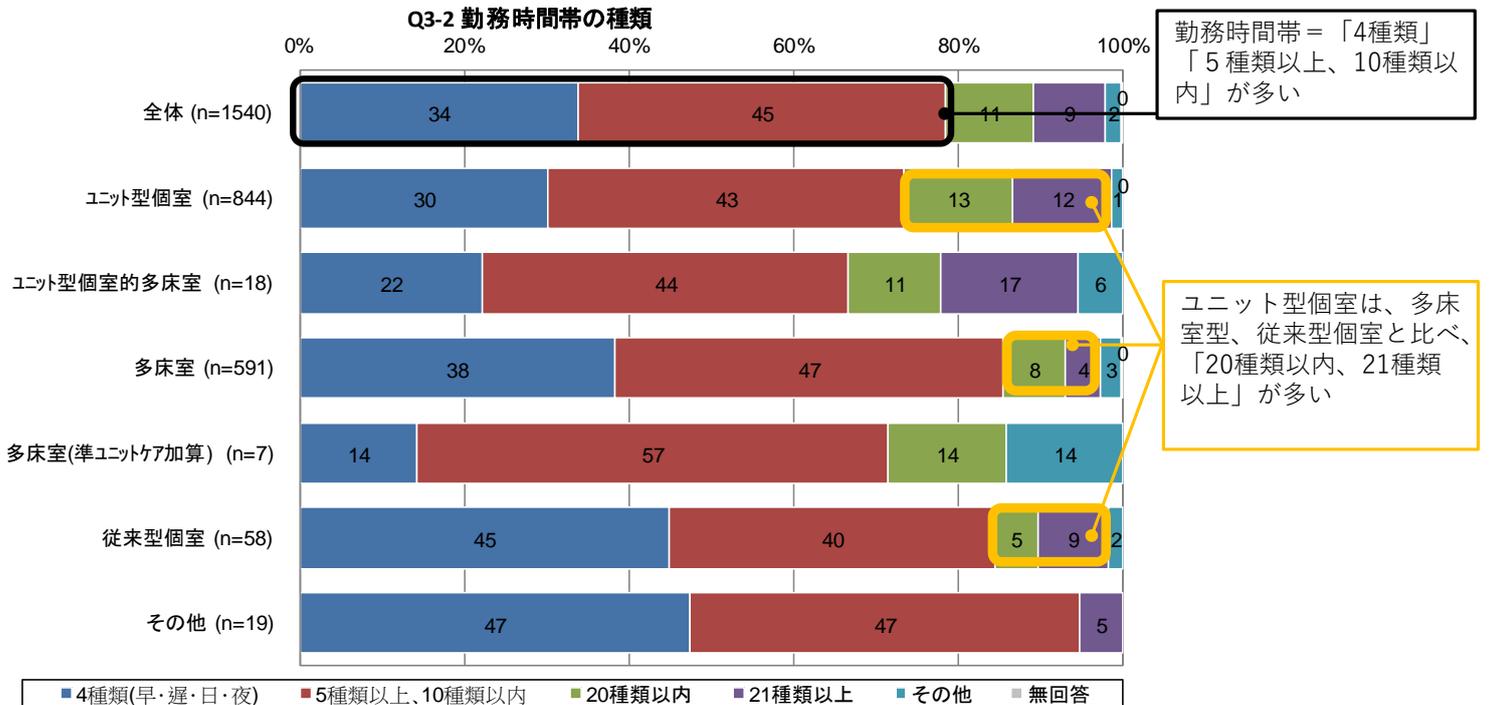


(2)勤務時間帯(職員シフト)の種類を教えてください。(1つを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 4種類(早・遅・日・夜) | 4. 21種類以上 |
| 2. 5種類以上、10種類以内 | 5. その他 |
| 3. 20種類以内 | |

- 全施設類型で「4種類(早・遅・日・夜)」「5種類以上、10種類以内」が多い。
- ユニット型個室は、多床室型、従来型個室と比べ「20種類以内」「21種類以上」の割合が多い。

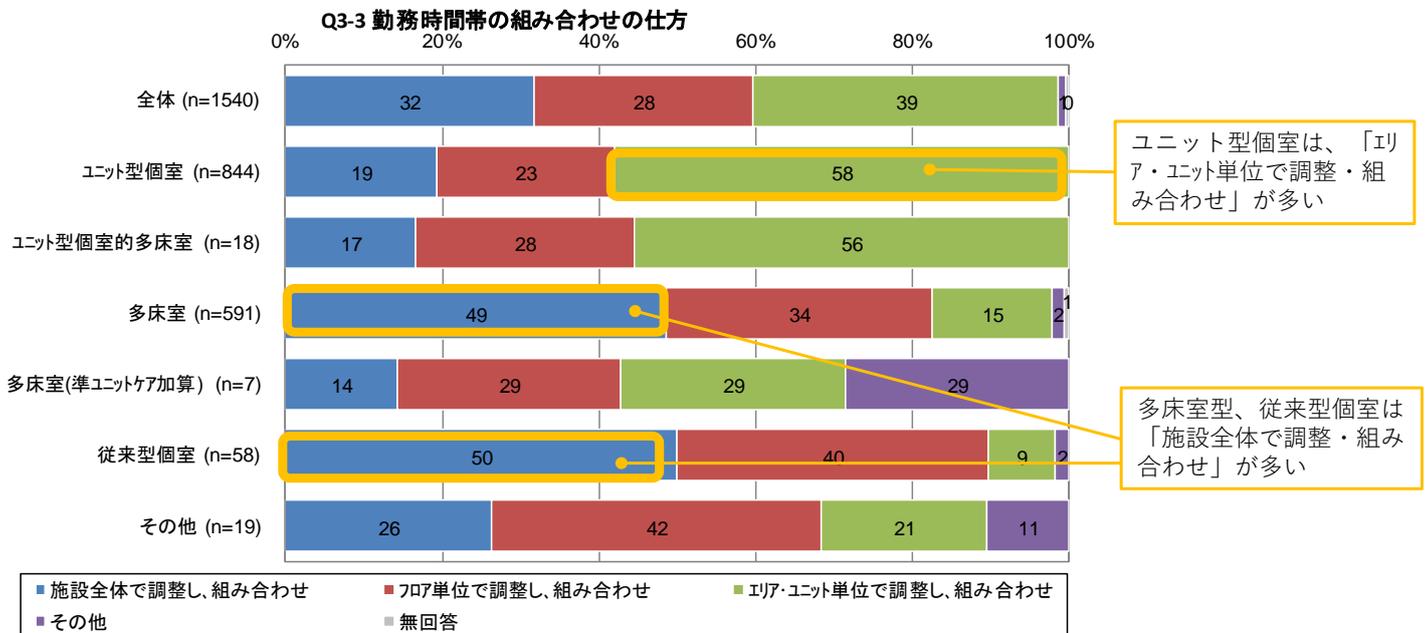


(3)勤務時間帯の組み合わせの仕方を教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 施設全体で調整し、組み合わせ | 3. エリア・ユニット単位で調整し、組み合わせ |
| 2. フロア単位で調整し、組み合わせ | 4. その他 |

- 全体では「エリア・ユニット単位で調整し、組み合わせ」が多く、次いで「施設全体で調整し、組み合わせ」が多い。
- 施設類型では、ユニット型個室は、「エリア・ユニット単位で調整し、組み合わせ」が過半を占める。
- 多床室、従来型個室は「施設全体で調整し、組み合わせ」が過半を占める。

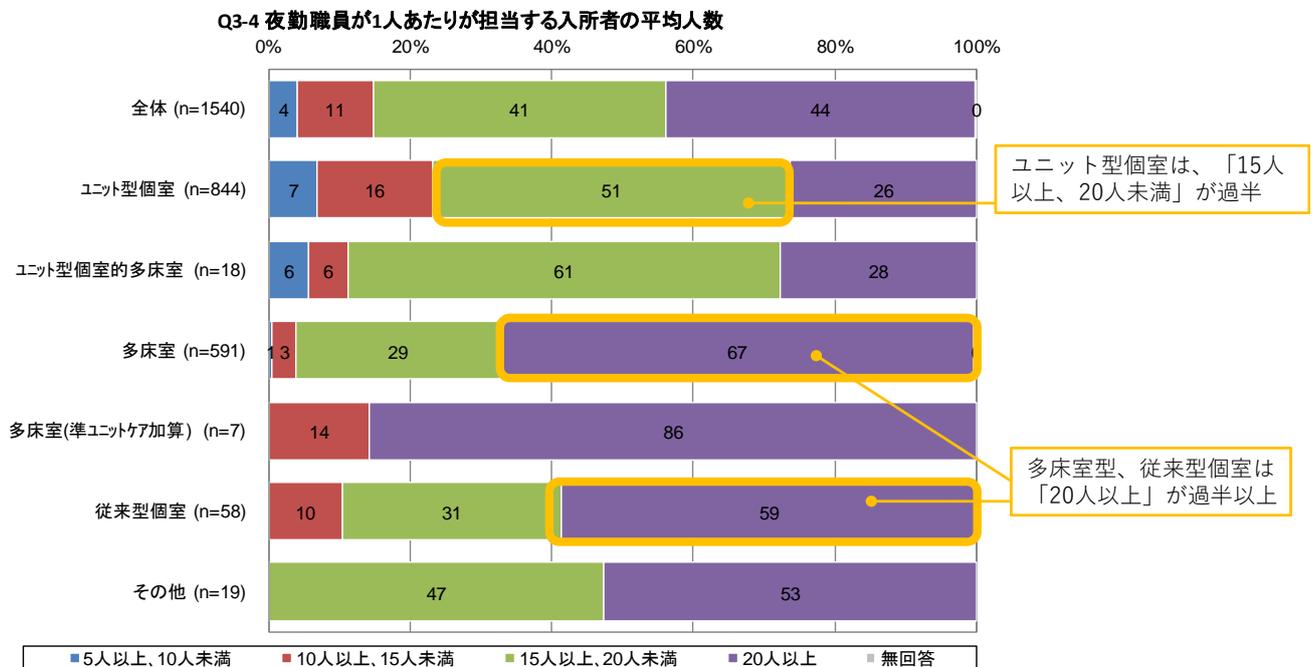


(4)夜勤職員が1人あたり担当する入所者の平均人数を教えてください。(1つを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 5人以上、10人未満 | 3. 15人以上、20人未満 |
| 2. 10人以上、15人未満 | 4. 20人以上 |

- 全体では「20人以上」「15人以上、20人未満」が多い。
- 施設類型では、ユニット型個室は「15人以上、20人未満」(50.6%)が過半を占め、多床室、従来型個室は「20人以上」が過半以上を占める。

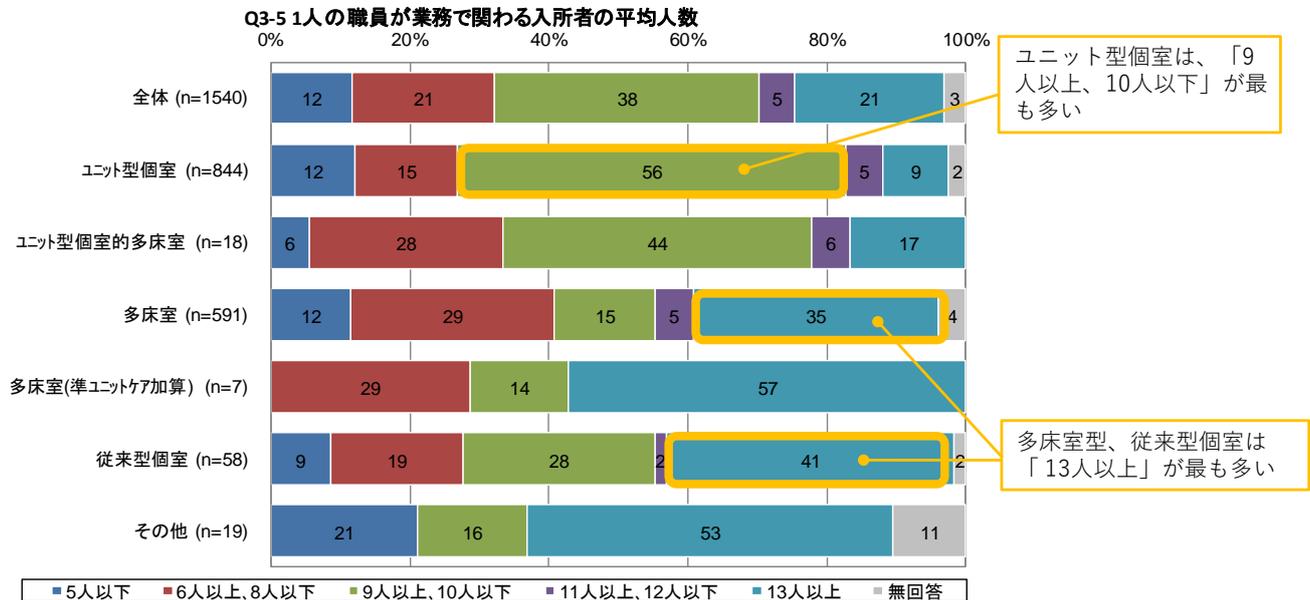


(5) 1人の職員が業務で関わる入所者の平均人数を教えてください。(1つを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 5人以下 | 4. 11人以上、12人以下 |
| 2. 6人以上、8人以下 | 5. 13人以上 |
| 3. 9人以上、10人以下 | |

- 全体では「9人以上、10人以下」「6人以上、8人以下」が多い。
- 施設類型では、ユニット型個室は「9人以上、10人以下」がい。
- 多床室、従来型個室は「13人以上」が多い。



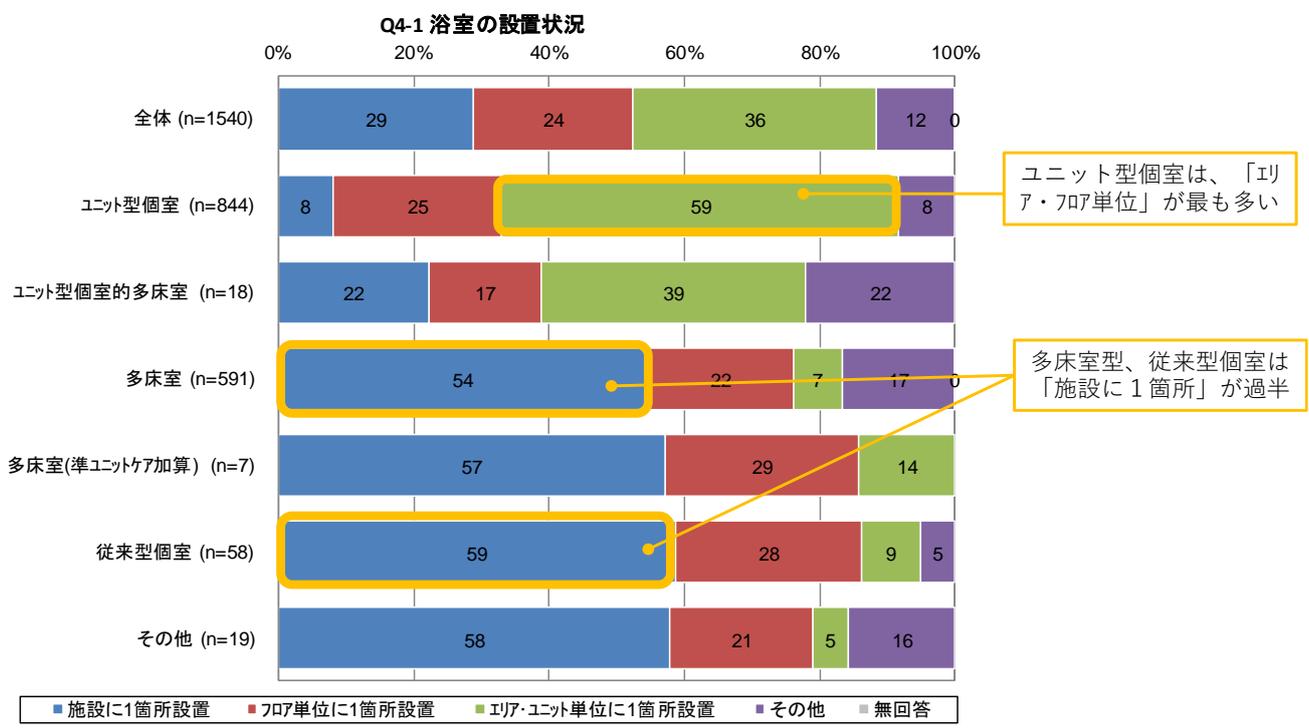
問4 貴施設の設備の設置状況について教えてください。

(1)浴室(個浴)の設置状況を教えてください。(1つを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 施設に1箇所設置 | 3. エリア・ユニット単位に1箇所設置 |
| 2. フロア単位に1箇所設置 | 4. その他 |

- 全体では「エリア・ユニット単位に1箇所設置」「フロア単位に1箇所設置」が多い。
- 施設類型別では、ユニット型個室は「エリア・ユニット単位に1箇所設置」が最も多い。
- 多床室、従来型個室ともに「施設に1箇所設置」が過半を占める。



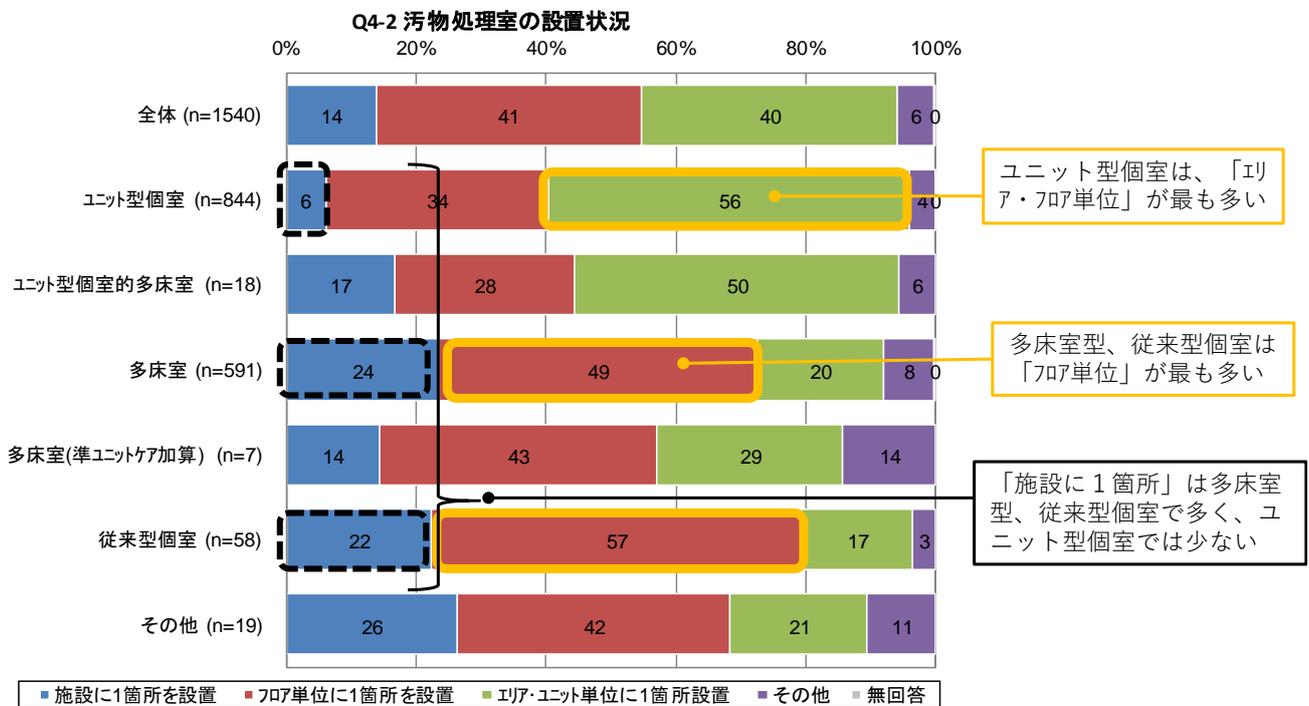
(2)汚物処理室の設置状況を教えてください。(1つを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 施設に1箇所を設置 | 3. エリア・ユニット単位に1箇所設置 |
| 2. フロア単位に1箇所を設置 | 4. その他 |



- 全体では「フロア単位に1箇所設置」「エリア・ユニット単位に1箇所設置」が多い。
- 施設類型別では、ユニット型個室は「エリア・ユニット単位に1箇所設置」が最も多い。
- 多床室、従来型個室ともに「フロア単位に1箇所設置」が最も多い。ユニット型個室と比べ、「施設に1箇所設置」が多い。

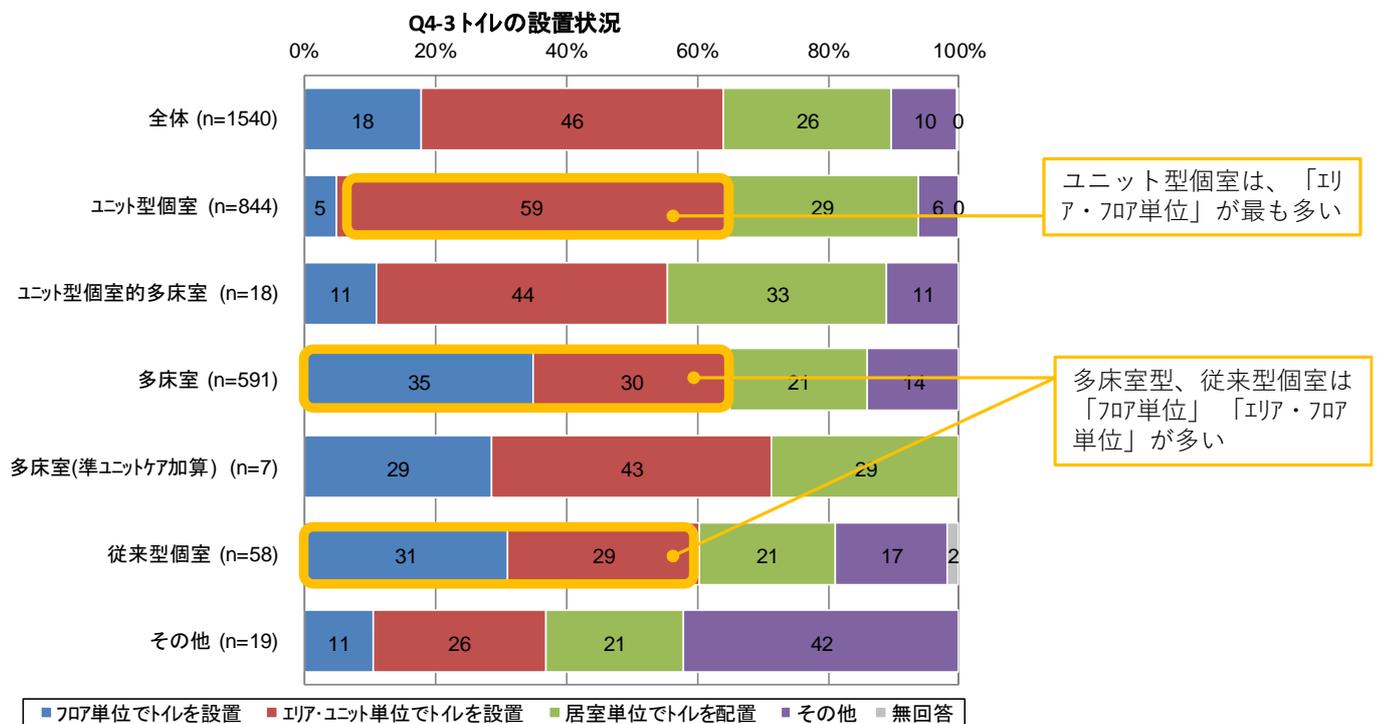


(3)トイレの設置状況を教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. フロア単位でトイレを設置 | 3. 居室（個室）単位でトイレを配置 |
| 2. エリア・ユニット単位でトイレを設置 | 4. その他 |

- 全体では「エリア・ユニット単位に設置」が最も多い。
- 施設類型別では、ユニット型個室は「エリア・ユニット単位に設置」が最も多く、次いで「居室単位で配置」が多い。
- 多床室、従来型個室は「フロア単位に1箇所設置」「エリア・ユニット単位に設置」が多い。



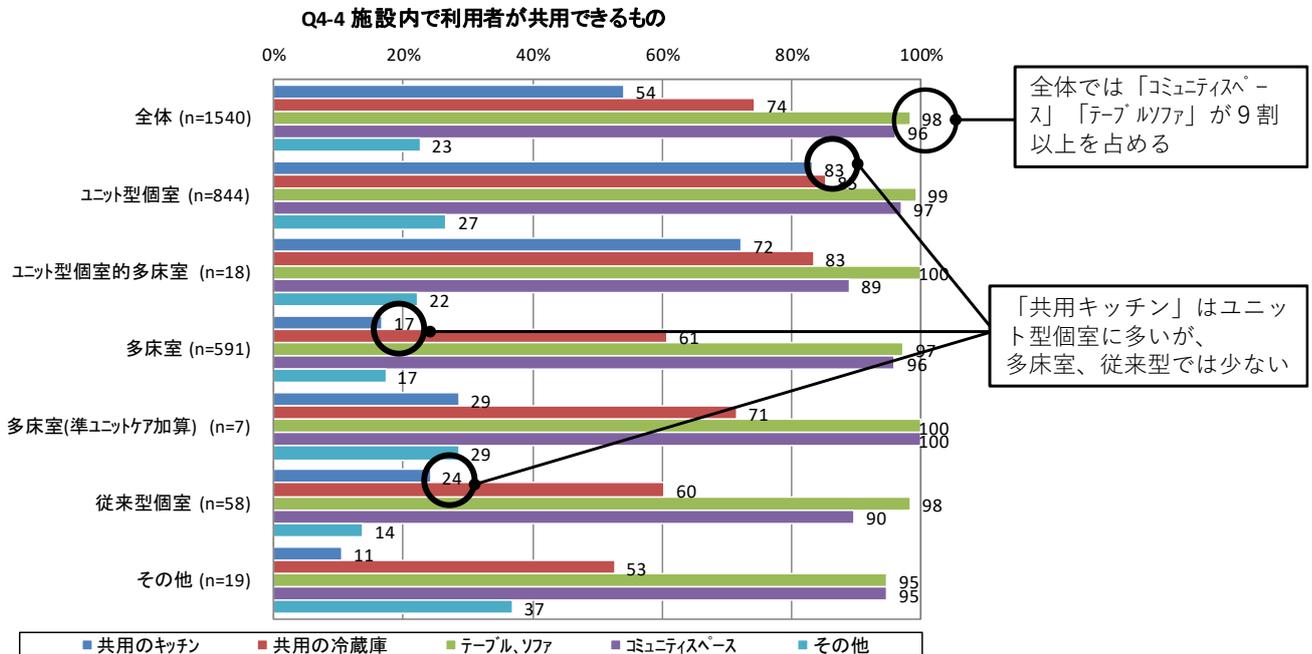
(4)施設内で利用者が共用できるものを教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 共用のキッチン | 4. コミュニティスペース（談話スペース） |
| 2. 共用の冷蔵庫 | 5. その他 |
| 3. テーブル、ソファ | |



- 全体では「コミュニティスペース」「テーブル、ソファ」が9割程度、「共用の冷蔵庫」が7割。
- 施設類型別では、ユニット型個室で「共用キッチン」が8割強を占める（一方「多床室型」従来型個室では2割程度）



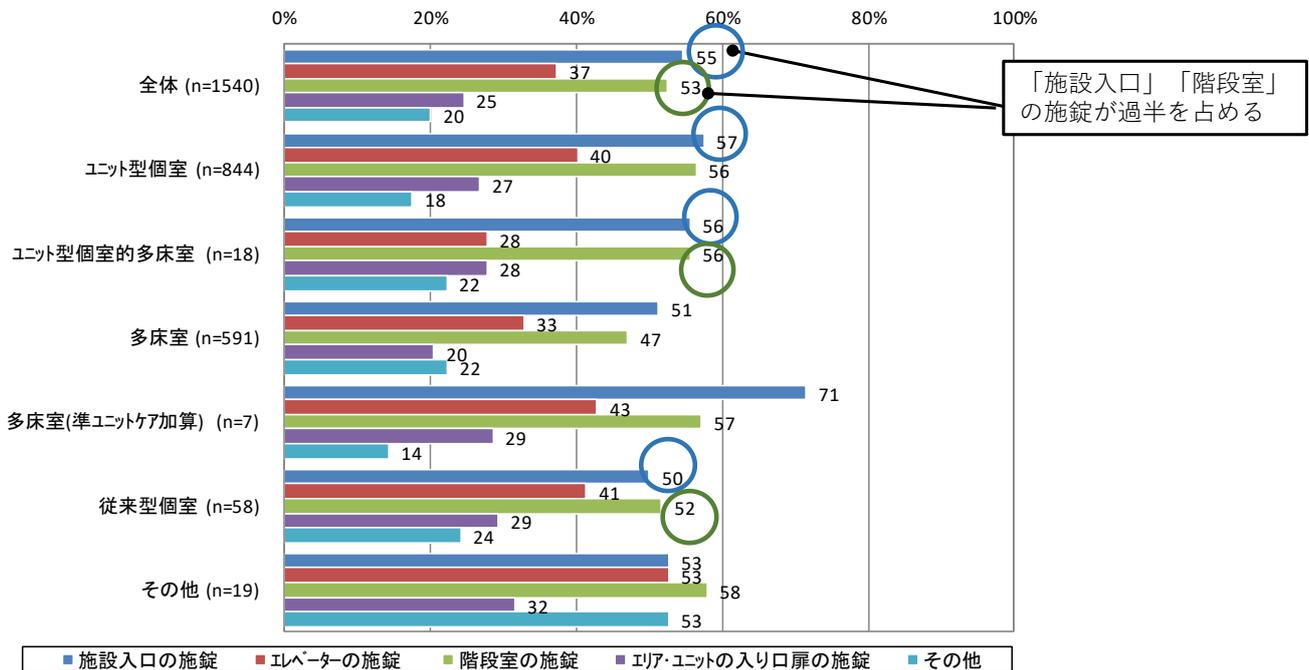
(5)日中のセキュリティ設備の設置状況について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 施設入口の施錠 | 4. エリア・ユニットの入り口扉の施錠 |
| 2. エレベーターの施錠 | 5. その他 |
| 3. 階段室の施錠 | |

●施設類型別に関係なく、「施設入口の施錠」「階段室の施錠」が多く、過半を占め、次いで「エレベーターの施錠」が多い。

Q4-5 日中のセキュリティ設備の設置状況



2. 貴施設での入所者本人や家族への意向確認についてお聞きします。

問5 入居時に入所者や家族に意向確認している内容について教えてください。

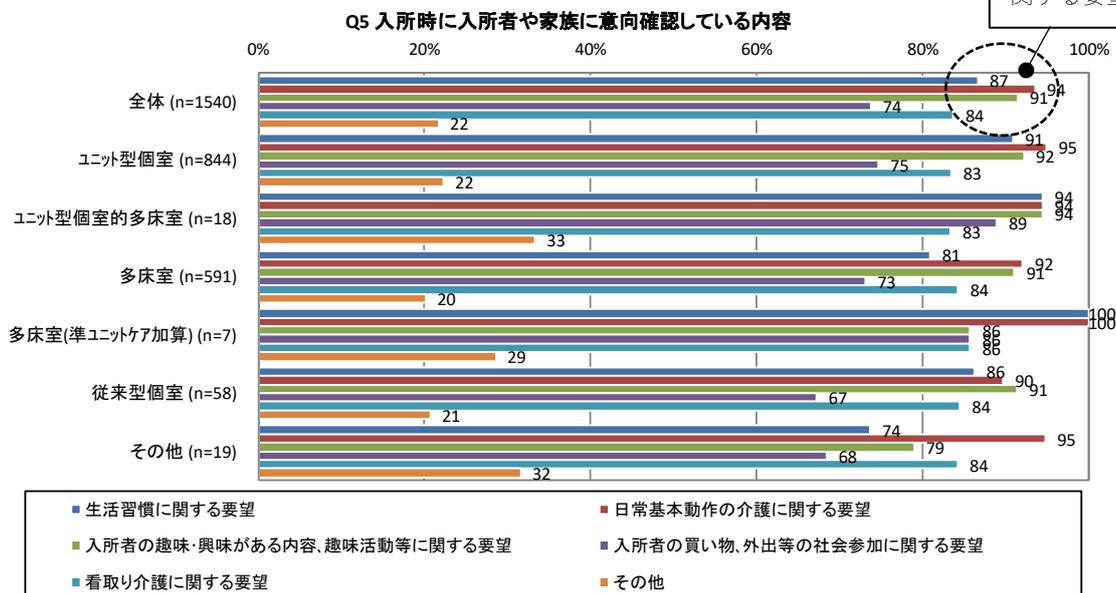
(あてはまるものすべてを選択してください)

[選択肢]

1. 生活習慣に関する要望（就寝、起床、喫食時間等）
2. 食事、排泄、入浴等の日常基本動作の介護に関する要望
3. 入所者の趣味・興味がある内容、それに応える趣味活動等に関する要望
4. 入所者の買い物、外出等の社会参加に関する要望
5. 看取り介護に関する要望
6. その他

●施設類型別に関係なく、「日常基本動作の介護に関する要望」「入所者の趣味・興味がある内容に関する要望」「生活習慣に関する要望」「看取り介護に関する要望」が多い。

「日常基本動作の介護に関する要望」「入所者の趣味・興味がある内容に関する要望」「生活習慣に関する要望」「看取り介護に関する要望」が多い。



3. 貴施設での日常生活の取組についてお聞きします。

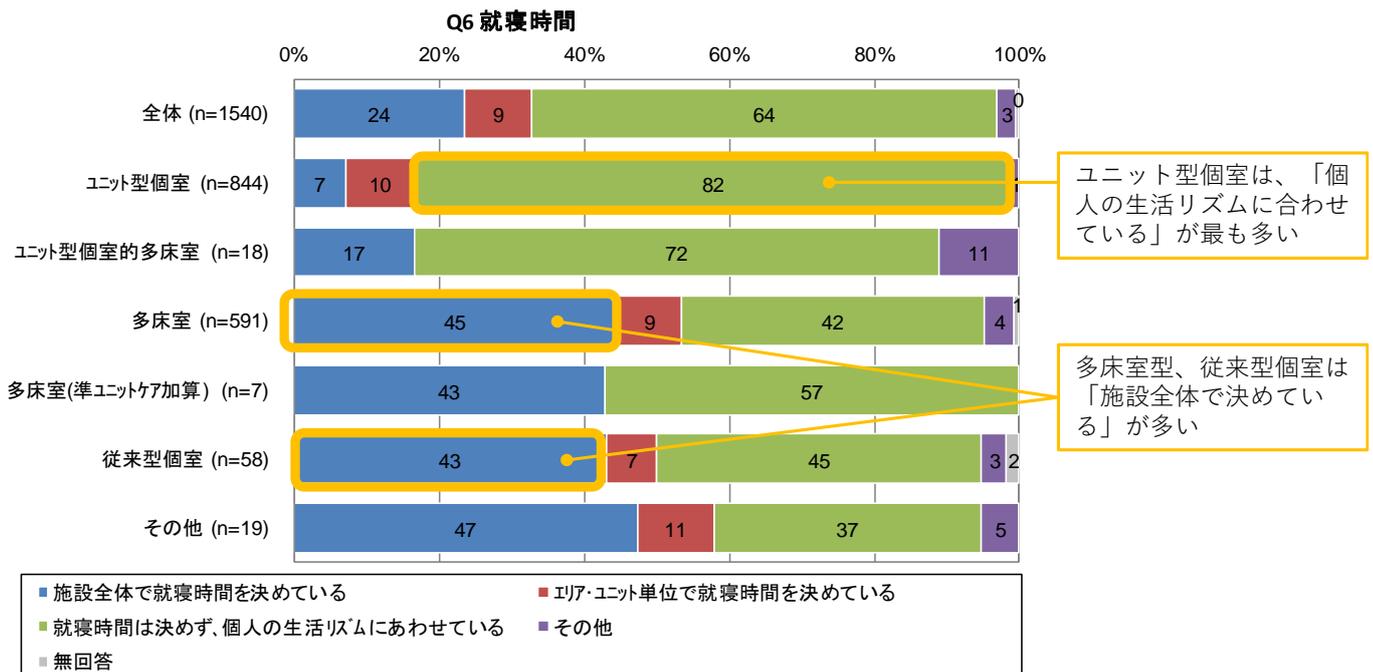
問6 就寝時間について教えてください。

(1つを選択してください)

〔選択肢〕

1. 施設全体で就寝時間を決めている
2. エリア・ユニット単位で就寝時間を決めている
3. 就寝時間は決めておらず、個人の生活リズムにあわせている
4. その他

- 「就寝時間は決めておらず、個人の生活リズムにあわせている」は、ユニット型個室は8割、多床室、従来型個室は4割程度。
- 「施設全体で就寝時間を決めている」は、多床室、従来型個室は4割程度、ユニット型個室は1割弱。



問7 起床時間について教えてください。

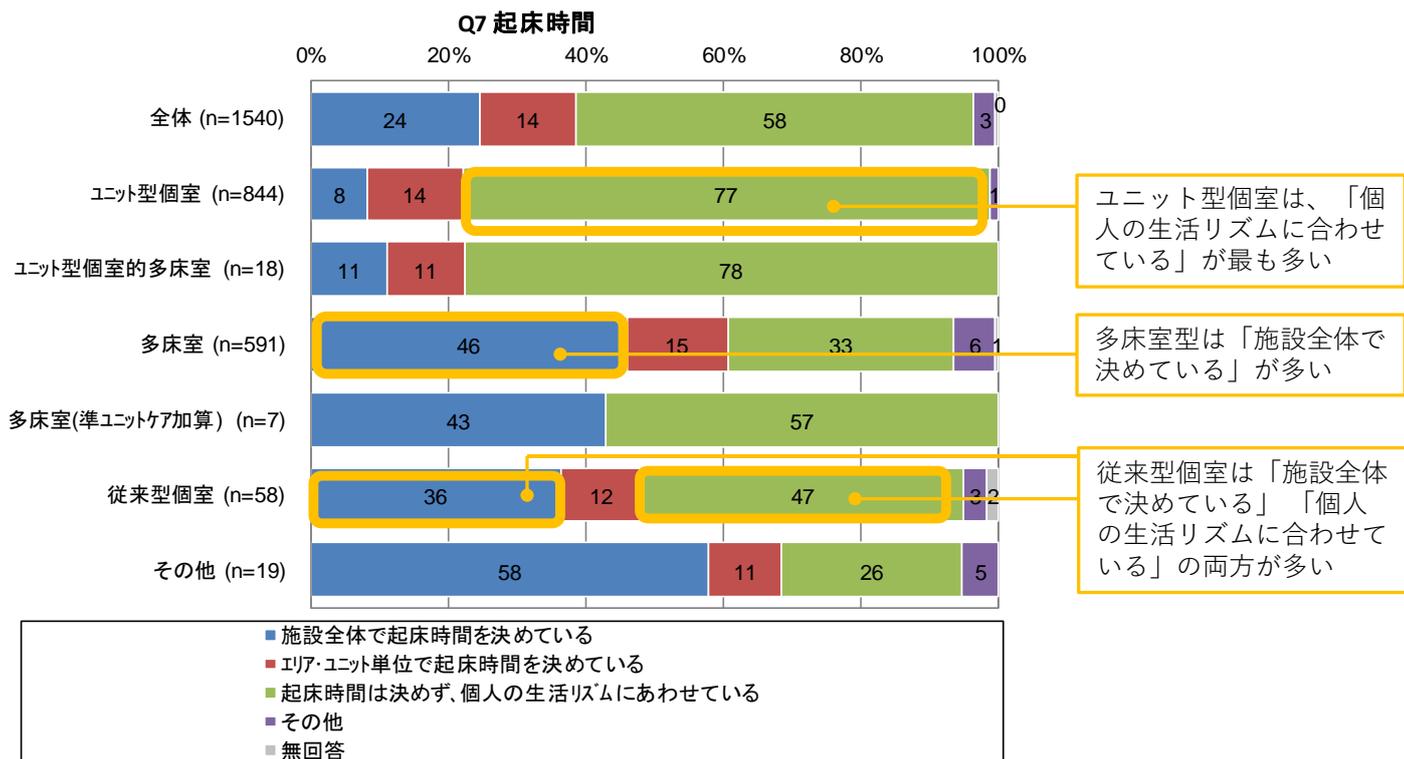
(1つを選択してください)

[選択肢]

1. 施設全体で起床時間を決めている
2. エリア・ユニット単位で起床時間を決めている
3. 起床時間は決めておらず、個人の生活リズムにあわせている
4. その他



- 「起床時間は決めておらず、個人の生活リズムにあわせる」は、ユニット型個室は8割弱、多床室は3割程度。
- 「施設全体で起床時間を決めている」は 多床室は4割程度、ユニット型個室は1割弱。
- 従来型個室は「施設全体で決めている」「個人の生活リズムにあわせている」の両方多い



問8 食事(朝食・昼食・夕食)介護で取り組まれている内容について教えてください。

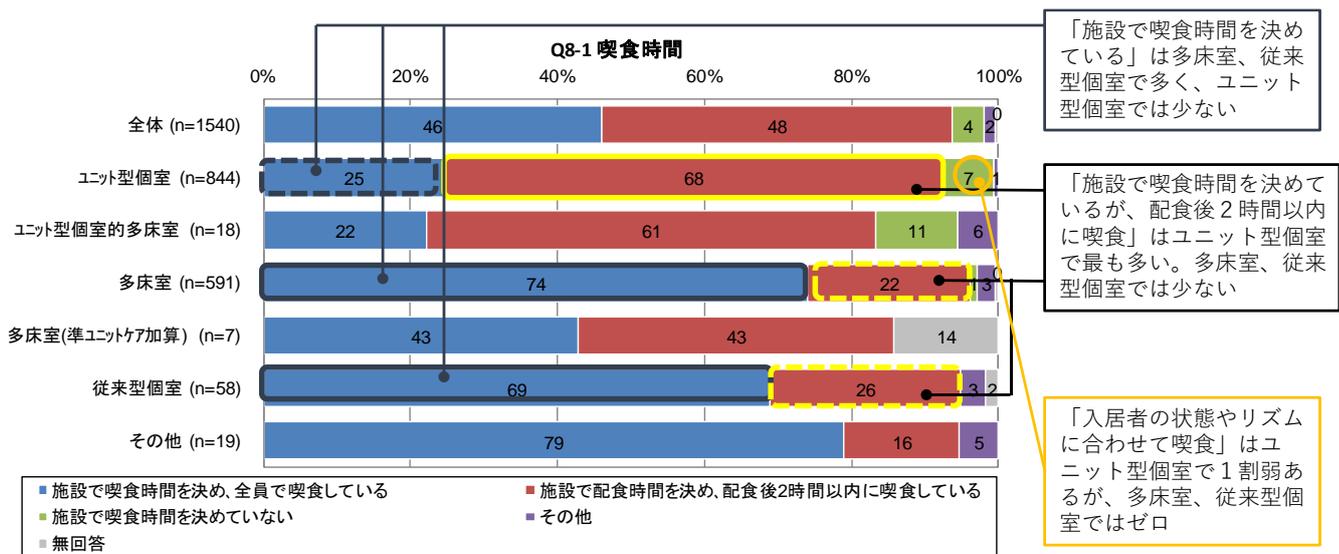
(1) 喫食時間について教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

1. 施設で喫食時間を決め、入所者全員で喫食してもらっている
2. 施設で配食時間を決めていて、配食後2時間以内に入所者の好きな時間に喫食してもらっている
3. 施設で喫食時間を決めず、入所者の状態やリズムにあわせて、喫食してもらっている
4. その他



- 「施設で喫食時間を決めていて」は、多床室、従来型個室で7割程度、ユニット型個室は2割強。
- 「施設で喫食時間を決めていて、配食後2時間以内に喫食」がユニット型個室では7割弱で最も多い。
- 「入所者の状態やリズムにあわせて、喫食」はユニット型個室では1割弱ある。



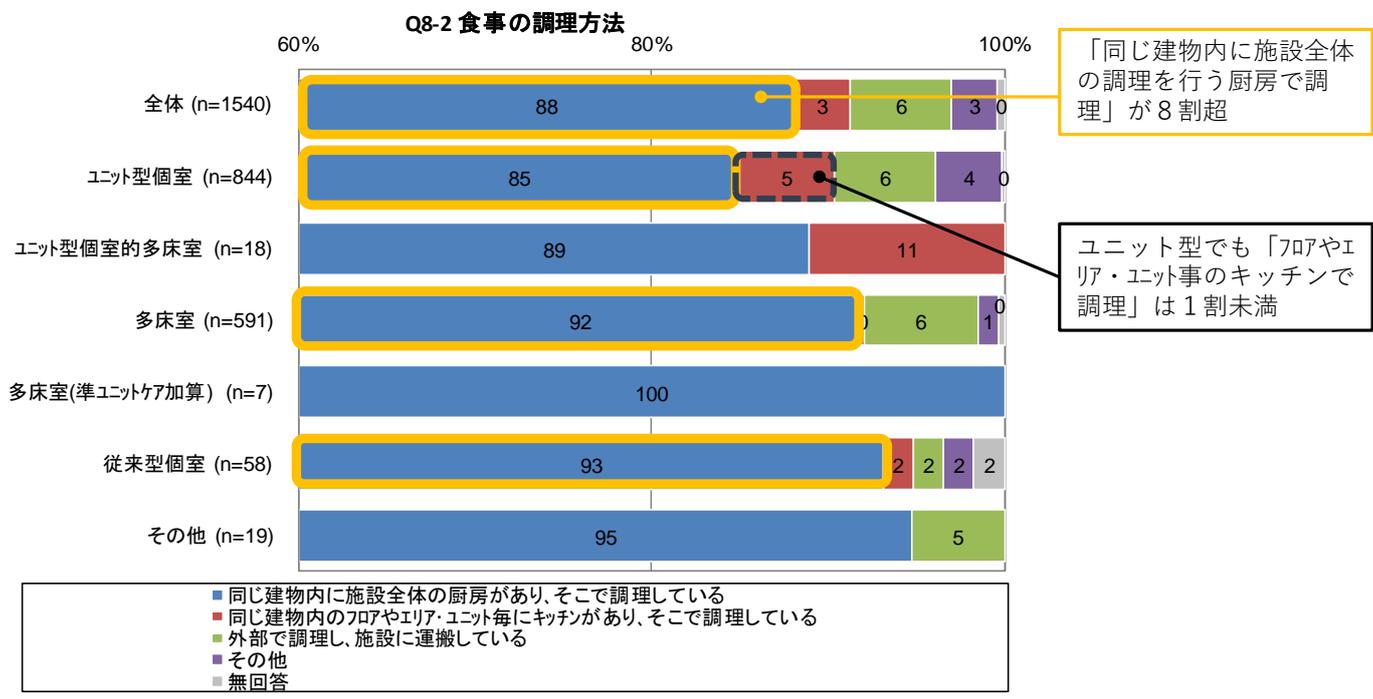
(2) 食事の調理方法について教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

1. 同じ建物内に施設全体の調理を行う厨房があり、そこで調理している
2. 同じ建物内のフロアやエリア・ユニット毎にキッチンがあり、そこで調理している
3. 外部で調理し、施設に運搬している
4. その他



●施設類型に関係なく、「同じ建物内に施設全体の調理を行う厨房で調理」が8割超。
 ●ユニット型個室でも「フロアやエリア・ユニット毎のキッチンで調理」は1割満たない。



問1（1）で「ユニット型個室」、問4（4）で「共用のキッチン」ありと回答された事業者にお尋ねします。

(3)ユニット内のキッチンで調理している内容を教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

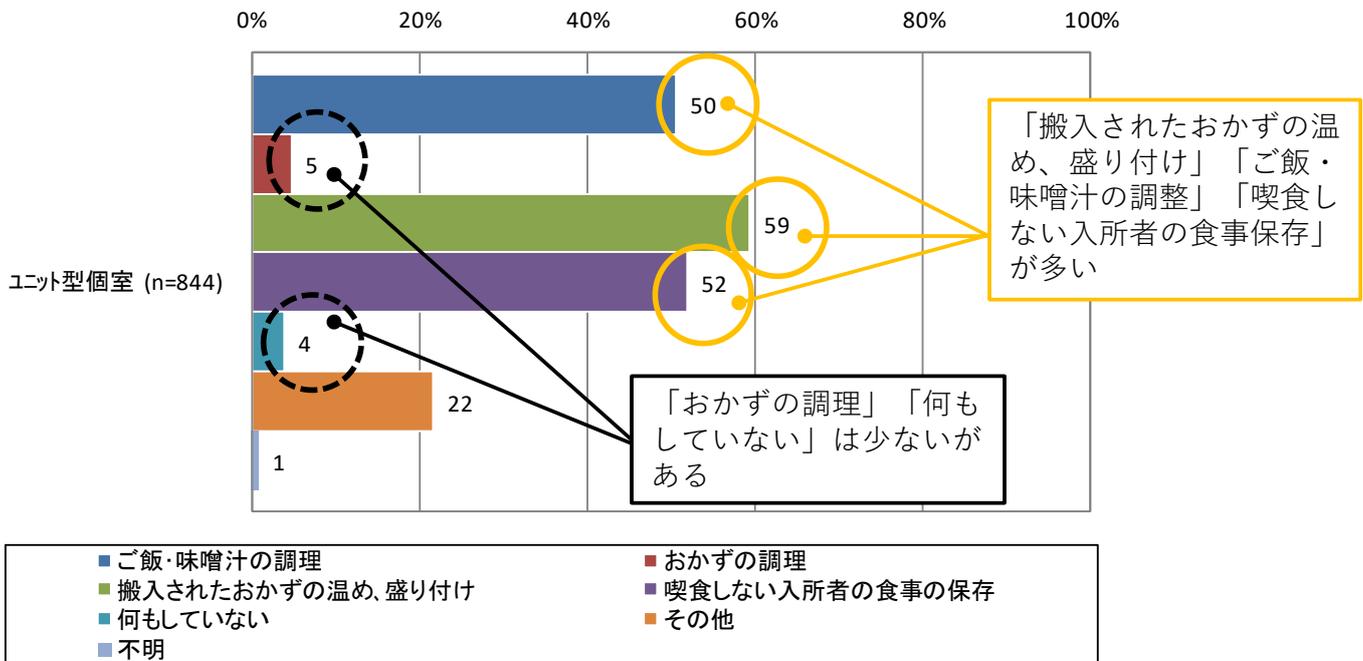
〔選択肢〕

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. ご飯・味噌汁の調理 | 4. 喫食しない入所者の食事の保存 |
| 2. おかずの調理 | 5. 何もしていない |
| 3. 搬入されたおかずの温め、盛り付け | 6. その他 |



●「搬入されたおかずの温め、盛り付け」「ご飯・味噌汁の調整」「喫食しない入所者の食事の保存」が多い。

Q8-3 ユニット内のキッチンで調理している内容



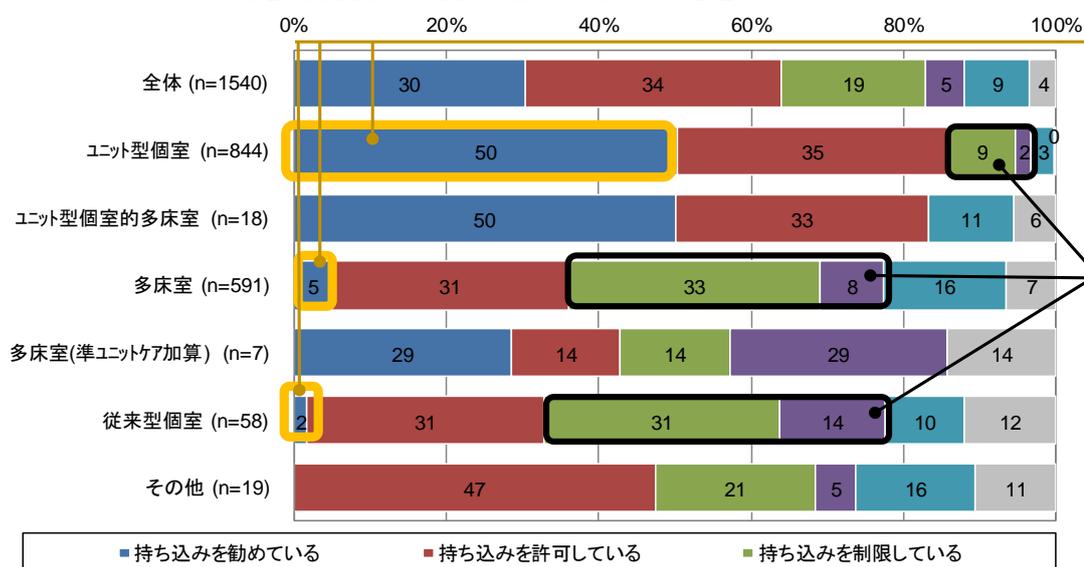
(4)入所者が自宅で使用されている食器、箸等の施設への持ち込みについて、入所者や家族にどのように説明していますか。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 持ち込みを勧めている | 4. 持ち込みを禁止している |
| 2. 持ち込みを許可している | 5. その他 |
| 3. 持ち込みを制限している（個別相談） | |

- 「持ち込みを勧めている」は、ユニット型個室は5割、多床室、従来型個室では1割弱。
- 「持ち込みを制限」「持ち込みを禁止」は多床室、従来型個室では4割、ユニット型個室では1割程度。

Q8-4 自宅で使用されている食器、箸等の施設への持ち込みについて



「持ち込みを勧めている」はユニット型個室では5割。多床室、従来型個室では1割満たない

「持ち込みを制限している」「禁止している」は多床室、従来型個室では4割程度、ユニット型個室では1割程度

問8（4）で1. を回答した方に伺います。

(5)持ち込みを勧めている理由について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

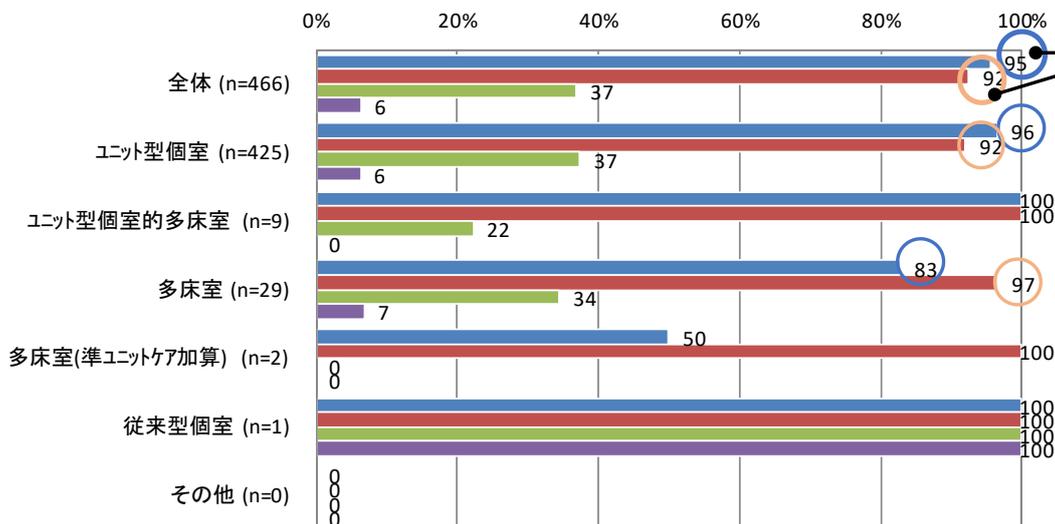
[選択肢]

1. 自宅の食器や箸を使用することで、自宅の食卓の環境を施設に持ち込み、入所者に安心感を与えるため
2. 使い慣れた食器や箸を使用する方が、入所者の「自分で食べる」動作を維持してもらいやすいため
3. 持ち込んだ食器等を介して、職員と入所者がコミュニケーションをとりやすくするため
4. その他



●「自宅の食卓の環境を施設に持ち込み、入所者に安心感を与えるため」「入所者の「自分で食べる」動作を維持してもらいやすいため」は9割程度

Q8-5 持ち込みを勧めている理由



「自宅の食卓の環境を施設に持ち込み、入居者に安心感を与えるため」「入居者の「自分で食べる」動作の維持のため」が最も多い

- 自宅の食卓の環境を施設に持ち込み、安心感を与えるため
- 使い慣れた食器や箸を使用する方が、「自分で食べる」動作を維持しやすいため
- 持ち込んだ食器等を介して、コミュニケーションをとりやすくするため

問8（4）で3. 4. を回答した方に伺います。

(6)持ち込みを制限・禁止している理由について教えてください。

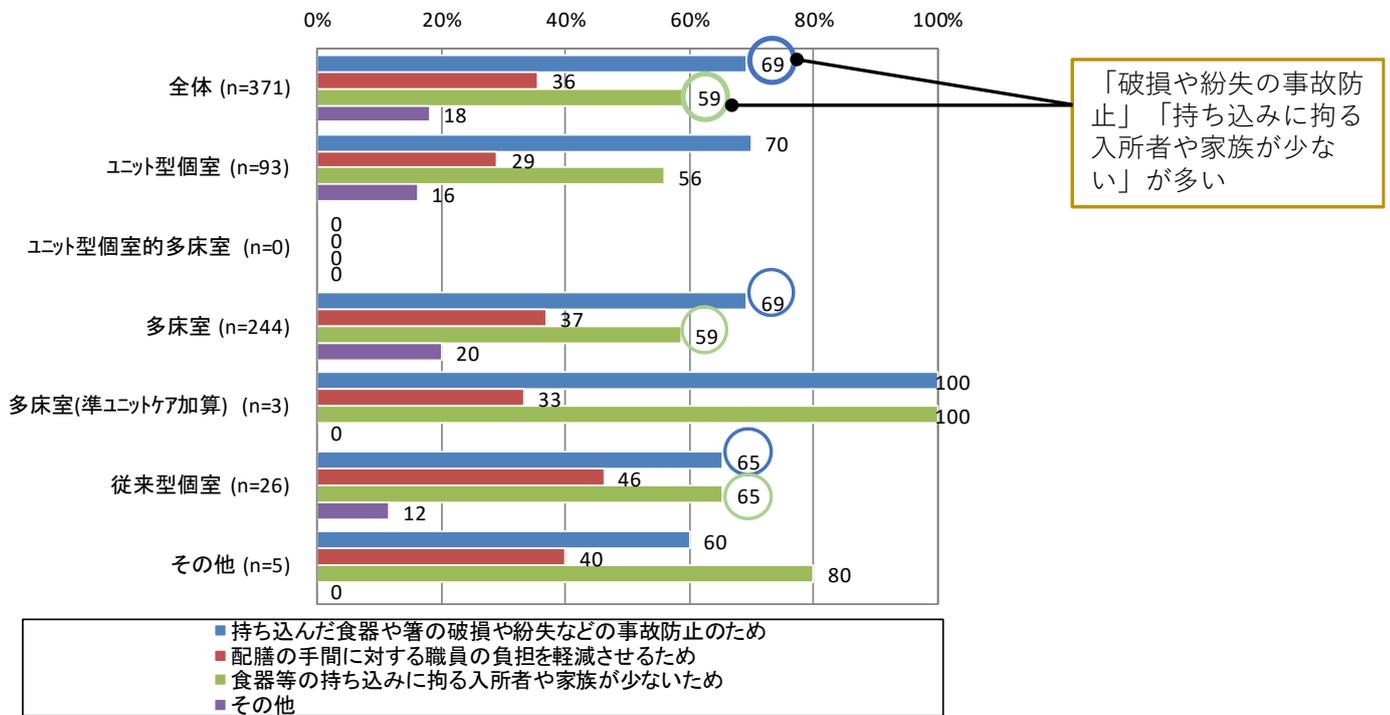
(あてはまるものすべてを選択してください)

[選択肢]

1. 持ち込んだ食器や箸の破損や紛失などの事故防止のため
2. 配膳の手間に対する職員の負担を軽減させるため
3. 食器等の持ち込みに拘る入所者や家族が少ないため
4. その他

●施設類型に関係なく、「破損や紛失等の事故防止」が7割弱、「持ち込みに拘る入所者や家族が少ない」が6割程度、次いで「職員の負担軽減」が3割程度。

Q8-6 持ち込みを制限・禁止している理由

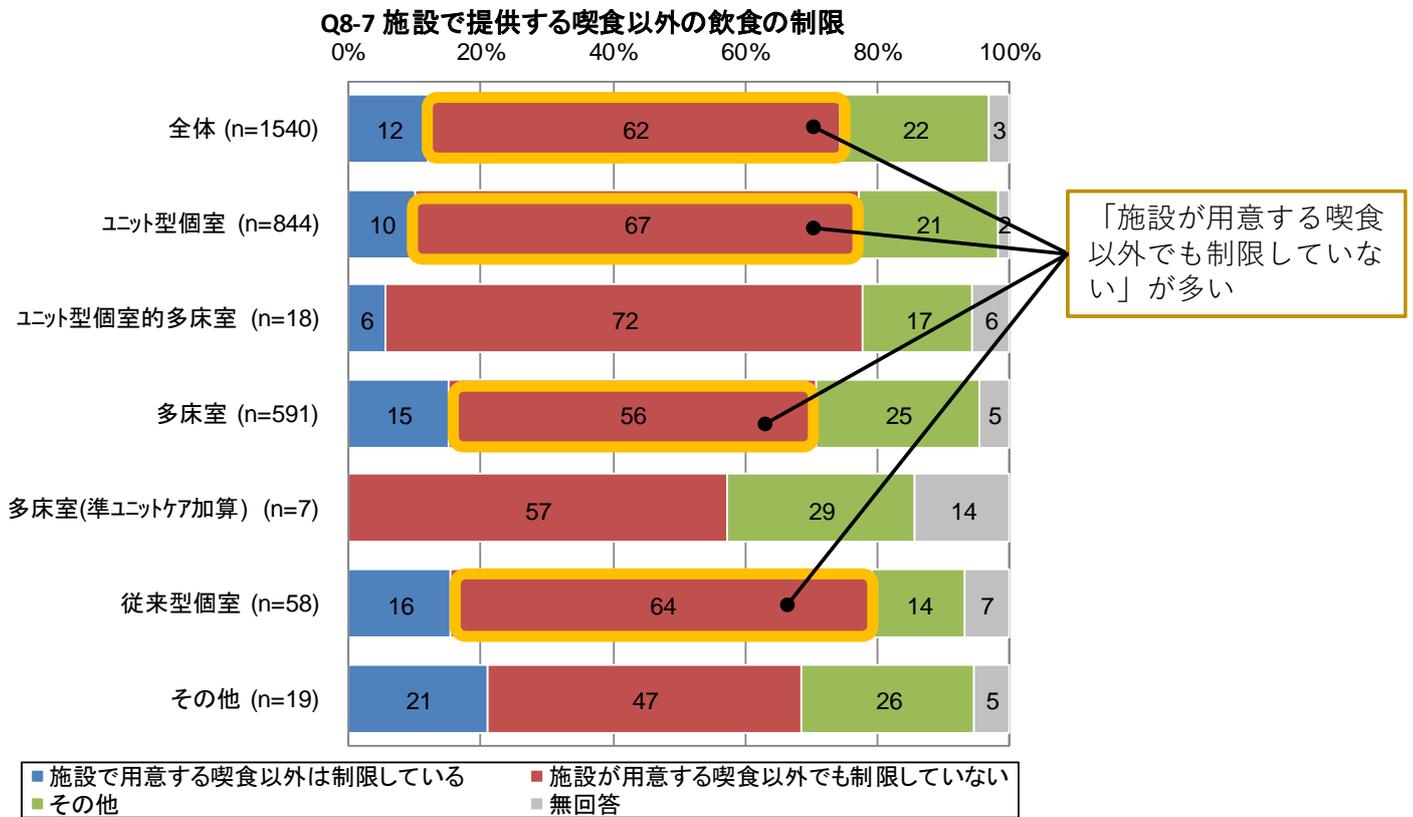


(7)入所者や家族に対して、施設で提供する喫食以外の飲食の制限について教えてください。
(1つを選択してください)

〔選択肢〕

1. 施設で用意する喫食以外は制限している
2. 施設が用意する喫食以外でも制限していない
3. その他

●施設類型に関係なく、「喫食は制限していない」は6、7割程度。



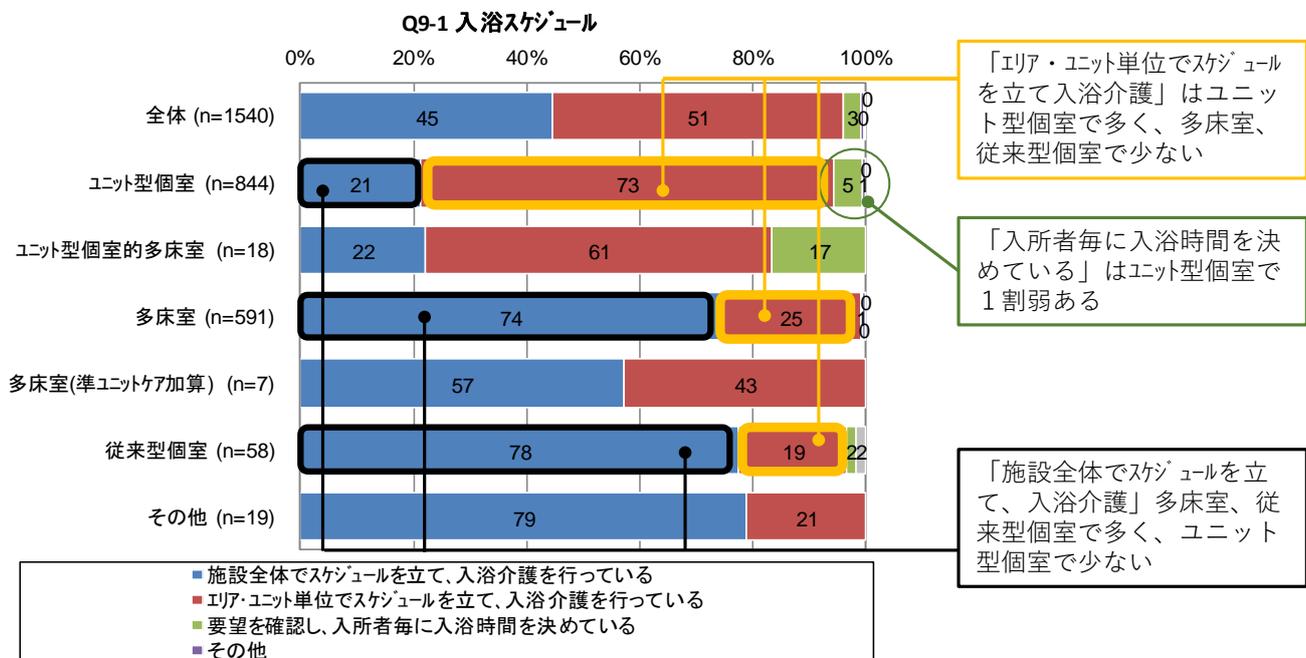
問9 入浴介護で取り組まれている内容について教えてください。

(1) 入浴スケジュールについて教えてください。(1つを選択してください)

[選択肢]

1. 施設全体でスケジュールを立て、入浴介護を行っている
2. エリア・ユニット単位でスケジュールを立て、入浴介護を行っている
3. 入所者の要望を確認し、入所者毎に入浴時間を決めている
4. その他

- 「エリア・ユニット単位でスケジュールを立て入浴介護」はユニット型個室では7割、多床室、従来型個室は2割程度。
- 「施設全体でスケジュールを立て、入浴介護を行っている」は多床室、従来型個室は7割超、ユニット型個室は2割。



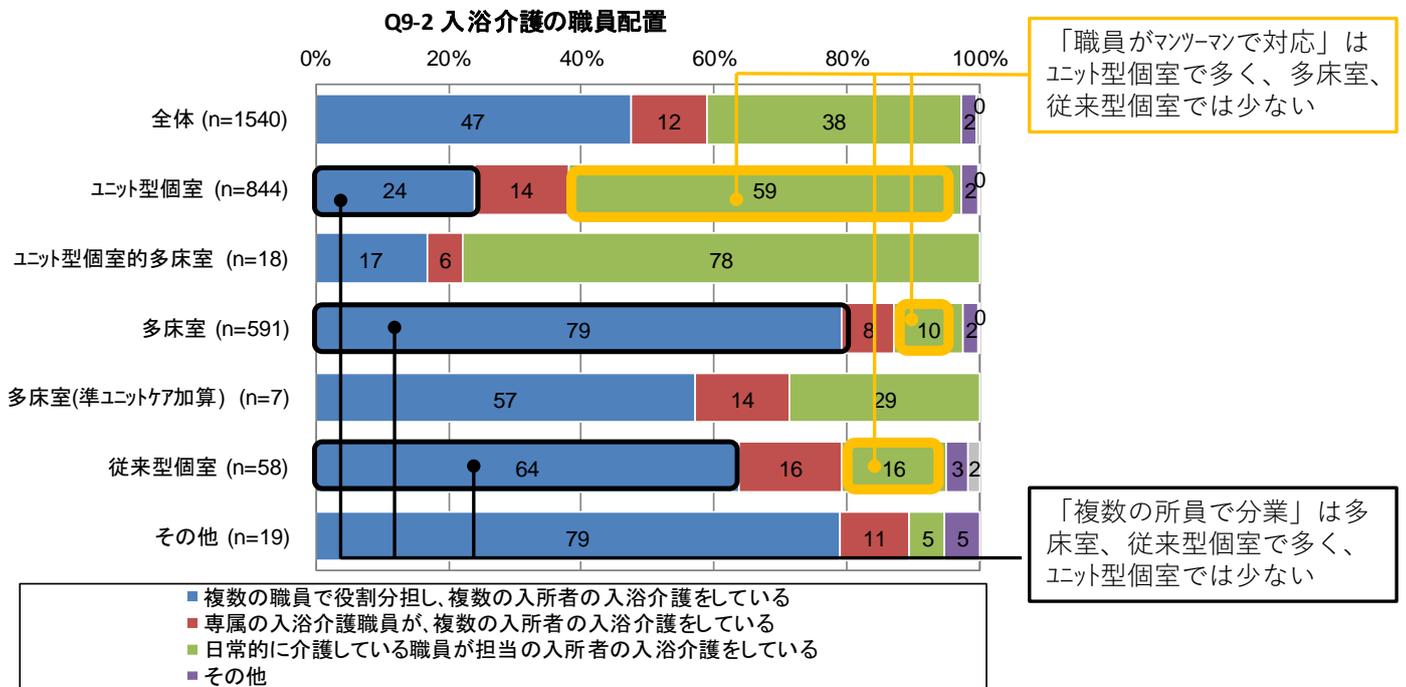
(2) 入浴介護の職員配置について教えてください。(1つを選択してください)

[選択肢]

1. 複数の職員で役割分担（誘導・着替え・洗身等）し、分業しながら複数の入所者の入浴介護をしている
2. 専属の入浴介護職員（1, 2名）を配置し、複数の入所者の入浴介護をしている
3. 日常的に介護している職員がマンツーマンで担当の入所者の入浴介護をしている
4. その他



- 「日常的に介護している職員がマンツーマンで対応」は、ユニット型個室は6割、多床室、従来型個室では1割程度。
- 「複数の職員で役割分担し、分業しながら複数の入所者の入浴介護」は 多床室、従来型個室では6、7割、ユニット型個室でも2割程度。



問9（2）で1. 2. を回答した方に伺います。

(3)複数の職員で役割分担して入浴支援を行っている理由について教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

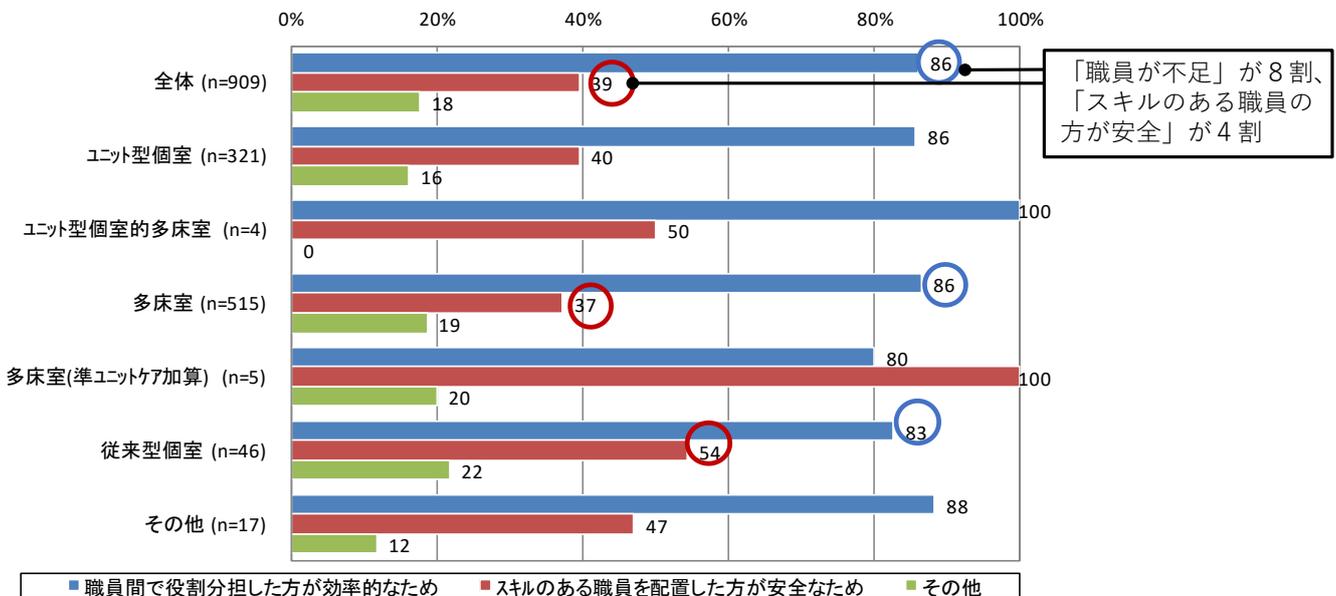
[選択肢]

1. 職員が不足するため、職員間で役割分担した方が効率的なため
2. 入所者の要介護度が重度のため、スキルのある職員を配置した方が安全なため
3. その他



●「職員が不足するため、効率的なため」が8割超、「スキルのある職員を配置したほうが安全なため」が4割程度

Q9-3 複数の職員で役割分担して入浴支援を行っている理由



問9（2）で3. を回答した方に伺います。

(4)日常的に介護している職員が入浴支援をマンツーマンで行う理由について教えてください。

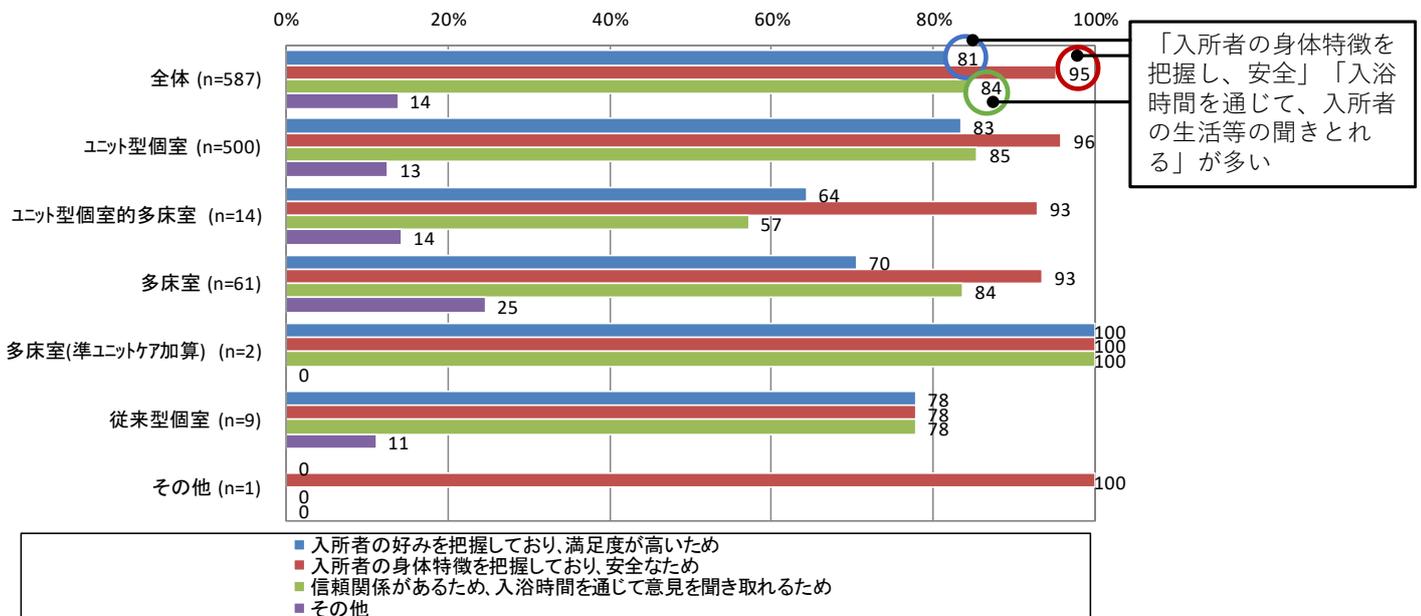
(あてはまるものすべてを選択してください)

[選択肢]

1. 日常的に介護している職員が担当した方が、入所者の好みを把握しており、入所者の満足度が高いため
2. 日常的に介護している職員が担当した方が、入所者の身体特徴を把握しており、安全なため
3. 日常的に介護している職員が担当した方が、入所者との信頼関係があるため、入浴時間を通じて、入所者の生活や施設への要望や意見を聞き取れるため
4. その他

● 「入所者の身体特徴を把握し、安全なため」が9割超。「入所者の好みを把握し満足度が高いため」「入浴時間を通じて、入所者の生活等を聞き取れるため」が8割超。

Q9-4 日常的に介護している職員が入浴支援をマンツーマンで行う理由



問10 排泄介護で取り組まれている内容について教えてください。

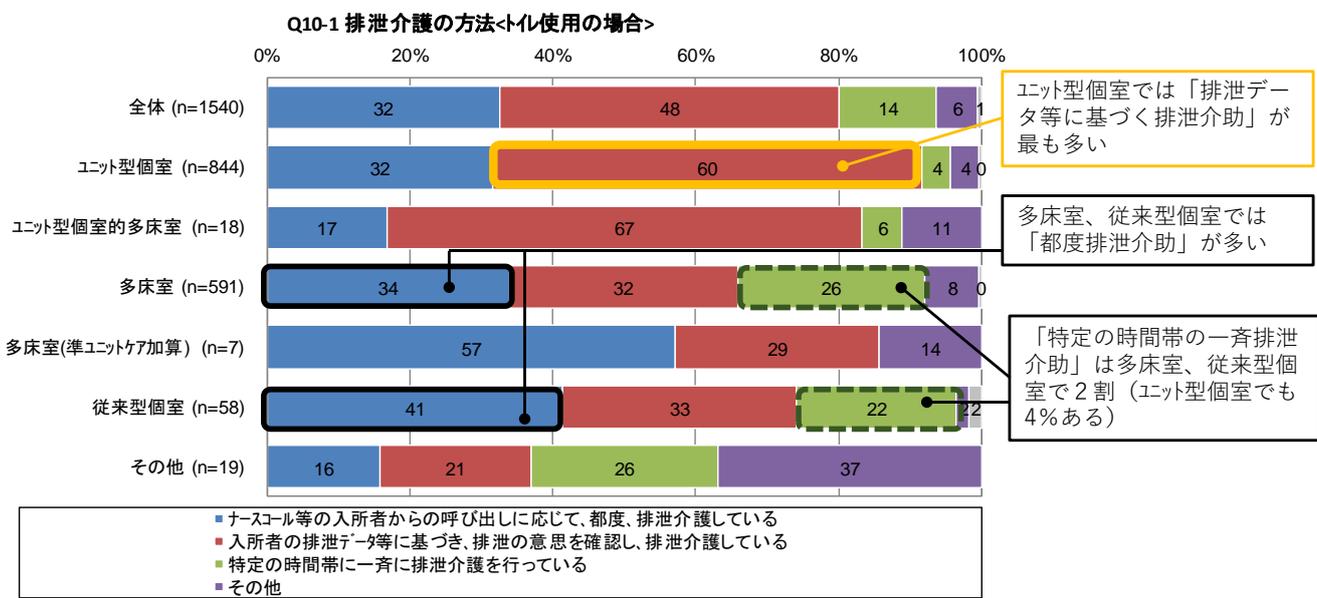
(1)排泄介護の方法を教えてください。〈トイレ使用の場合〉(1つを選択してください)

〔選択肢〕

1. ナースコール等の入所者からの呼び出しに応じて、都度、排泄介護している
2. 入所者の排泄データ等に基づき、入所者に排泄の意思を確認し、排泄介護している
3. 特定の時間帯に一斉に排泄介護を行っている
4. その他



●ユニット型個室 は「入所者の排泄データ等に基づき排泄介助」が6割で最も多い。
 ●多床室、従来型個室は「ナースコール等の呼び出しで都度排泄介助」が多く、特定の時間帯の一斉排泄介助」が2割占める



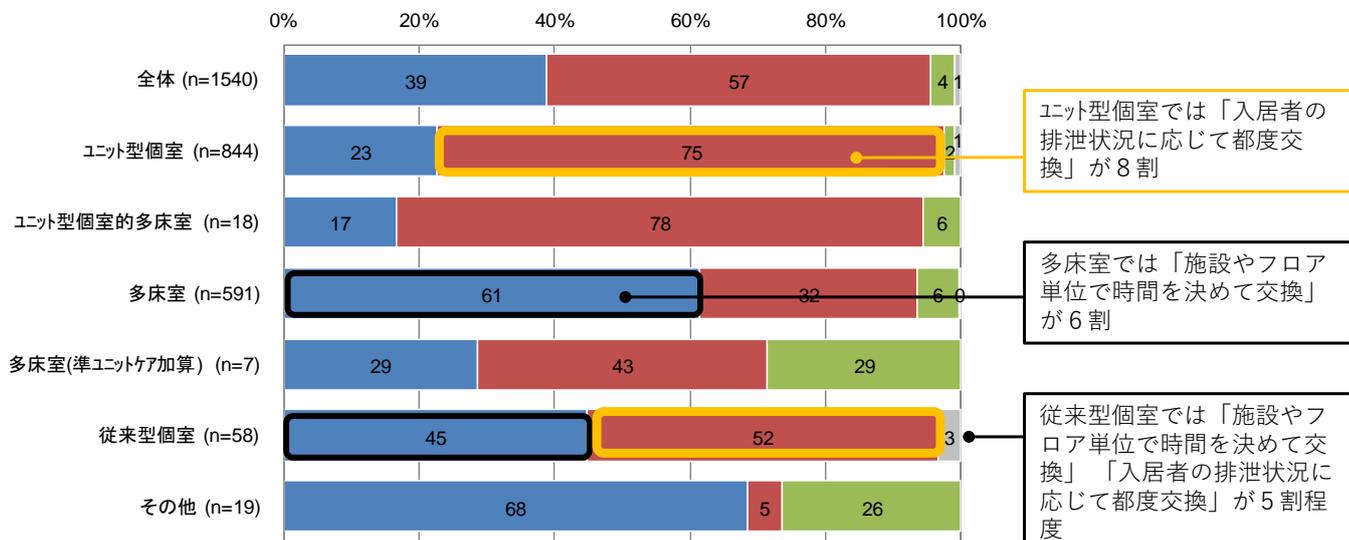
(2)入所者の介護オムツの取り換え方法について教えてください。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

1. 施設やフロア、エリア・ユニット単位で時間を決めて、介護オムツを交換している
2. 入所者の排泄状況に応じて、都度介護オムツを交換している
3. その他

- ユニット型個室 は「入所者の排泄状況に応じて都度交換」が8割
- 従来型個室は「施設やフロア単位で時間を決めて交換」「入所者の排泄状況に応じて都度交換」が5割程度ずつ。
- 多床室は「施設やフロア単位で時間を決めて交換」が6割

Q10-2 介護オムツの取り換え方法



ユニット型個室では「入居者の排泄状況に応じて都度交換」が8割

多床室では「施設やフロア単位で時間を決めて交換」が6割

従来型個室では「施設やフロア単位で時間を決めて交換」「入居者の排泄状況に応じて都度交換」が5割程度

■施設やフロア単位で時間を決めて交換している ■入所者の排泄状況に応じて、都度交換している ■その他 ■無回答

(3)使用済の排泄用品の回収方法について教えてください。(1つを選択してください)

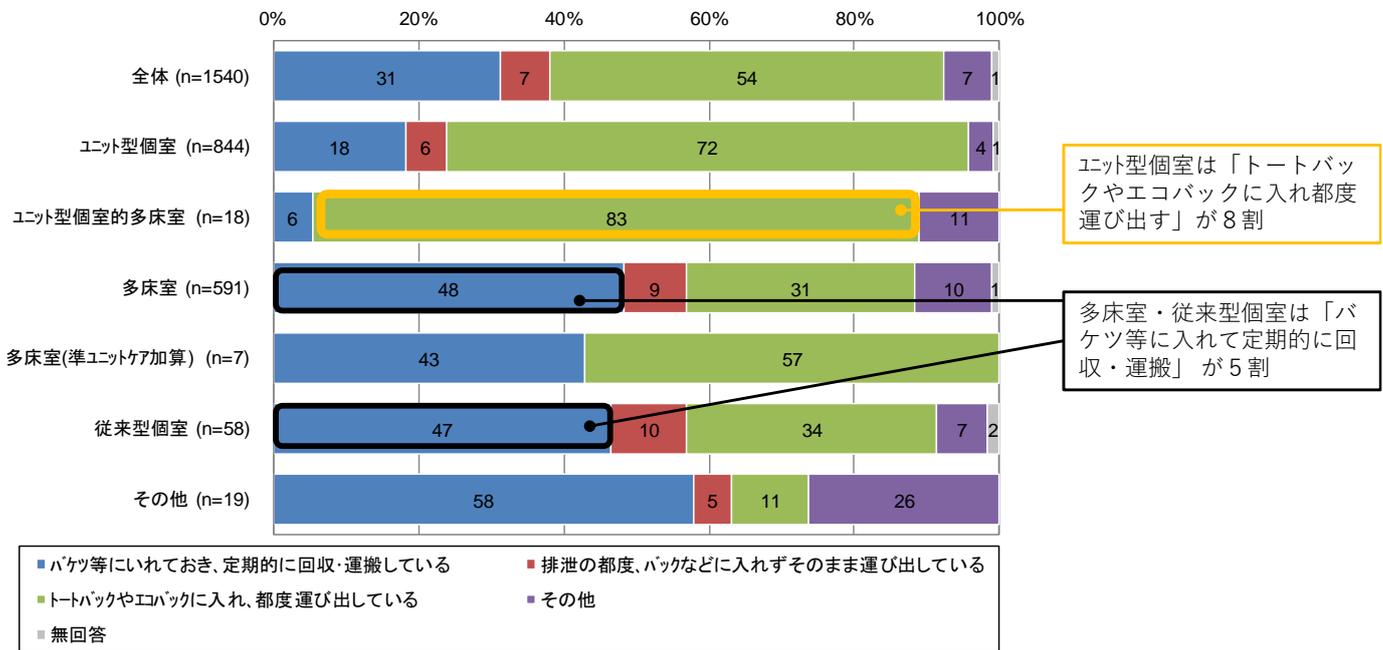
〔選択肢〕

1. 職員が不足するため、職員間で役割分担した方が効率的なため
2. 入所者の要介護度が重度のため、スキルのある職員を配置した方が安全なため
3. その他



●ユニット型個室 は「トートバックやエコバックに入れ、都度運び出す」が8割
 ●多床室、従来型個室は「バケツ等に入れて定期的に回収・運搬」が5割

Q10-3 使用済の排泄用品の回収方法



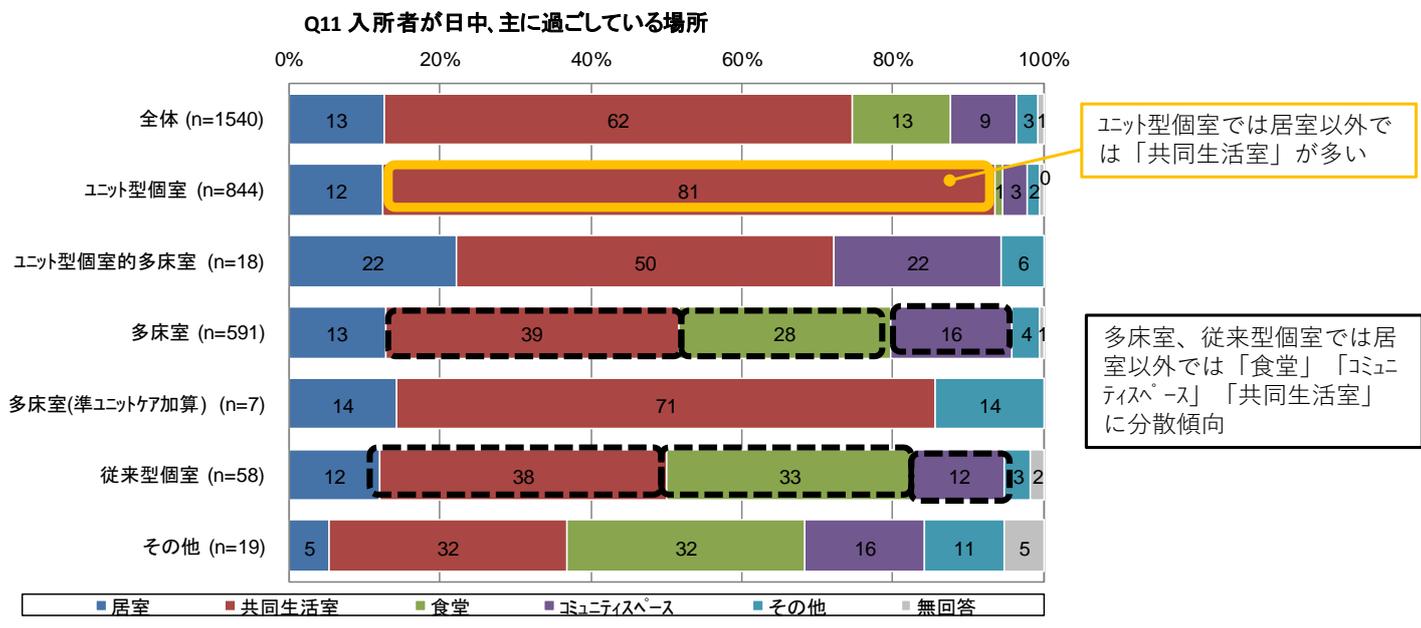
問11 入所者が日中、主に過ごしている場所について教えてください。

(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 居室 | 4. コミュニティスペース（談話スペース） |
| 2. 共同生活室（リビング・ダイニング等） | 5. その他 |
| 3. 食堂 | |

●ユニット型個室 は、「居室」が1割、「共同生活室」が8割。
 ●多床室、従来型個室も「居室」が1割だが、「食堂」「コミュニティスペース」「共同生活室」に分散傾向。



4. 貴施設での入所者のプライバシーに配慮した取組についてお聞きします。

問12 貴施設の入所者の居室やベット周りへの私物の持ち込みについて教えてください。

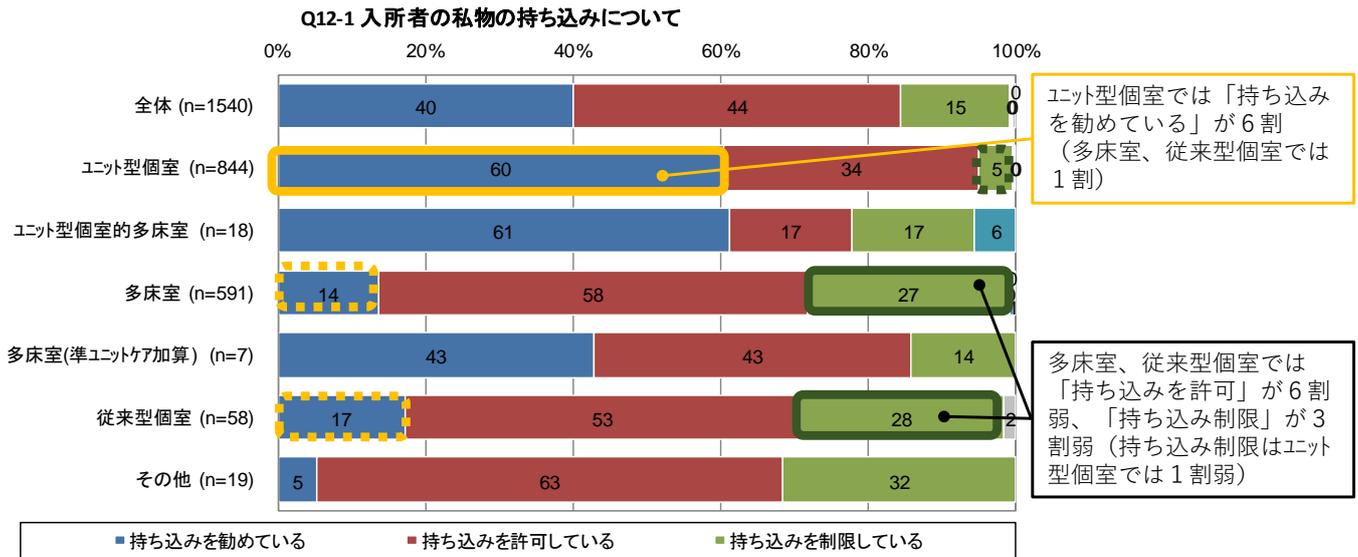
(1)入所者の私物の持ち込みについて、入所者や家族にどのように説明していますか。

〔選択肢〕

(1つを選択してください)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 持ち込みを勧めている | 4. 持ち込みを禁止している |
| 2. 持ち込みを許可している | 5. その他 |
| 3. 持ち込みを制限している（個別相談） | |

- 「持ち込みを勧めている」は、ユニット型個室は6割、多床室、従来型個室では1割弱。
- 「持ち込みを制限」は多床室、従来型個室では3割弱、ユニット型個室は1割弱。



問12(1)で1.を回答した方に伺います。

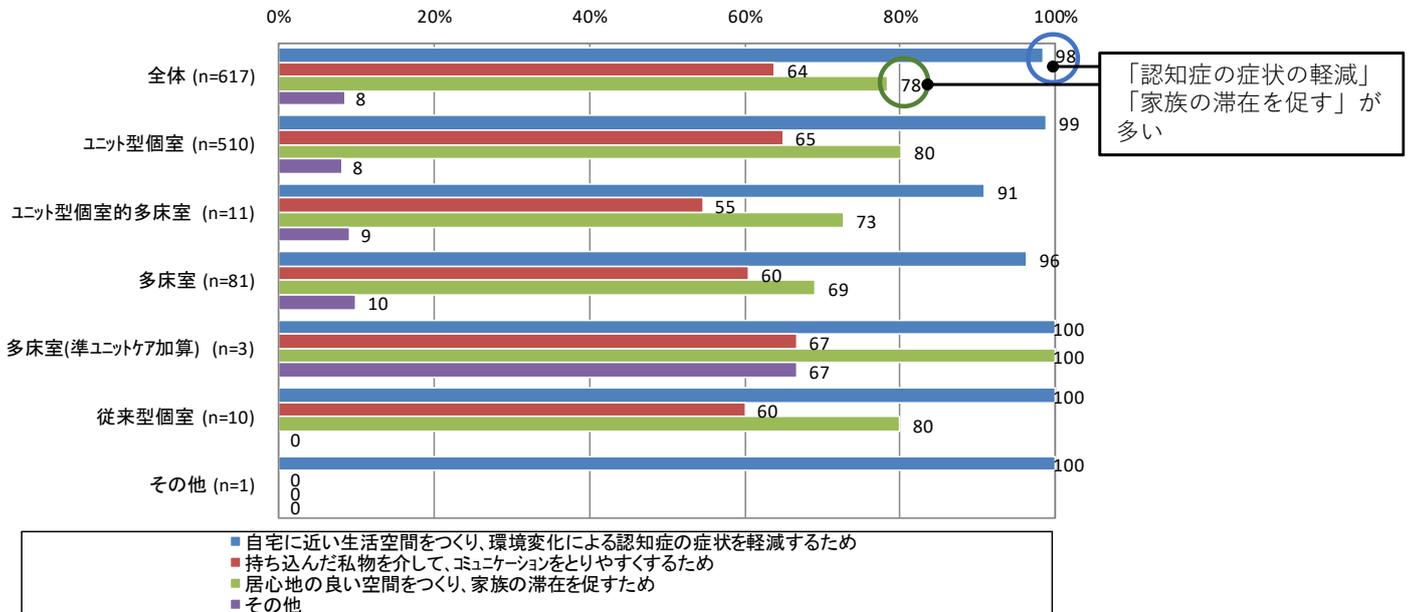
(2)私物の持ち込みを勧めている理由について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

〔選択肢〕

1. 私物を持ち込むことで、自宅に近い生活空間をつくり、入所後の環境変化による認知症の症状を軽減するため
2. 持ち込んだ私物を介して、職員と入所者がコミュニケーションをとりやすくするため
3. 私物を持ち込むことで、居心地の良い空間をつくり、家族の滞在を促すため
4. その他

●施設類型に関係なく、「入所後の環境変化による認知症の症状の軽減」がほぼ10割。「家族の滞在を促すため」が8割、「職員と入所者のコミュニケーションづくり」が6割。

Q12-2 私物の持ち込みを勧めている理由



問12(1)で3、4.を回答した方に伺います。

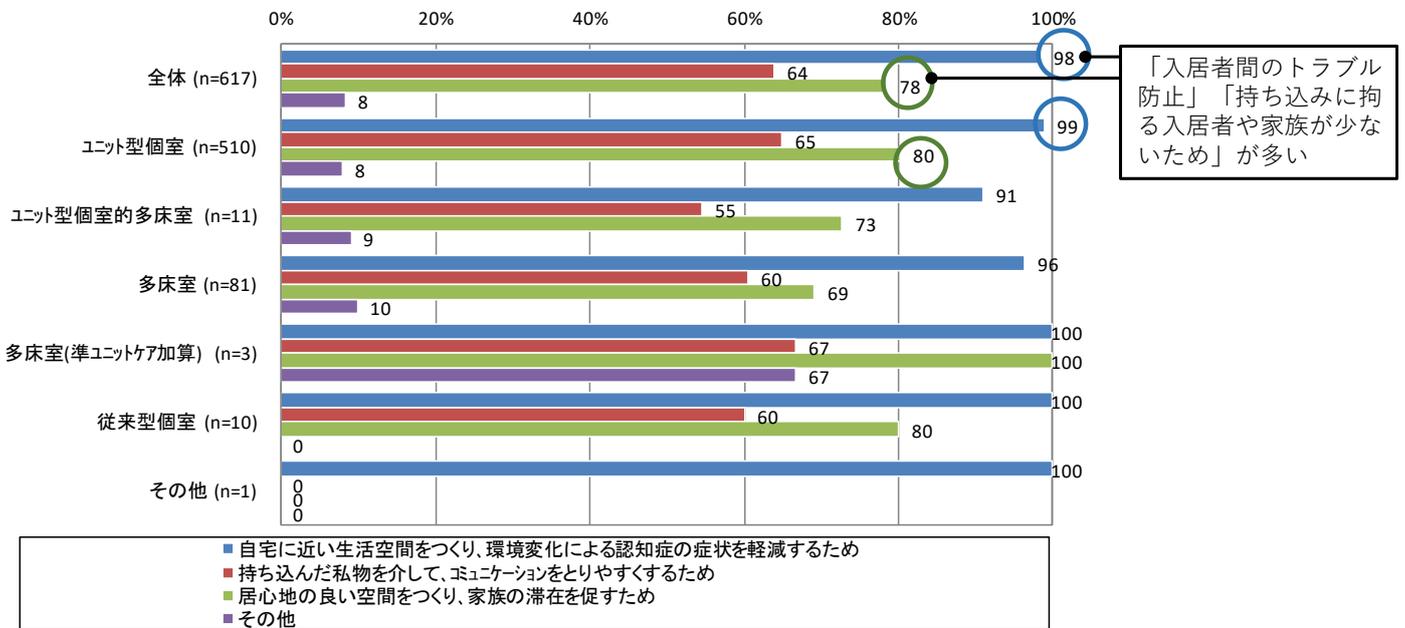
(3)持ち込みを制限・禁止している理由について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

〔選択肢〕

1. 持ち込まれた私物の破損や紛失、入所者間の好みの違いから、トラブルを防ぐため
2. 持ち込まれた私物が職員の介護の妨げになる場合があるため
3. 私物の持ち込みに拘る入所者や家族が少ないため
4. その他

●施設類型に関係なく、「入所者間の好みの違いによるトラブル防止」が9割超、「持ち込みに拘る入所者や家族が少ないため」が8割。

Q12-3 私物の持ち込みを制限・禁止している理由



問12(1)で1. 2. 3. を回答した方に伺います。

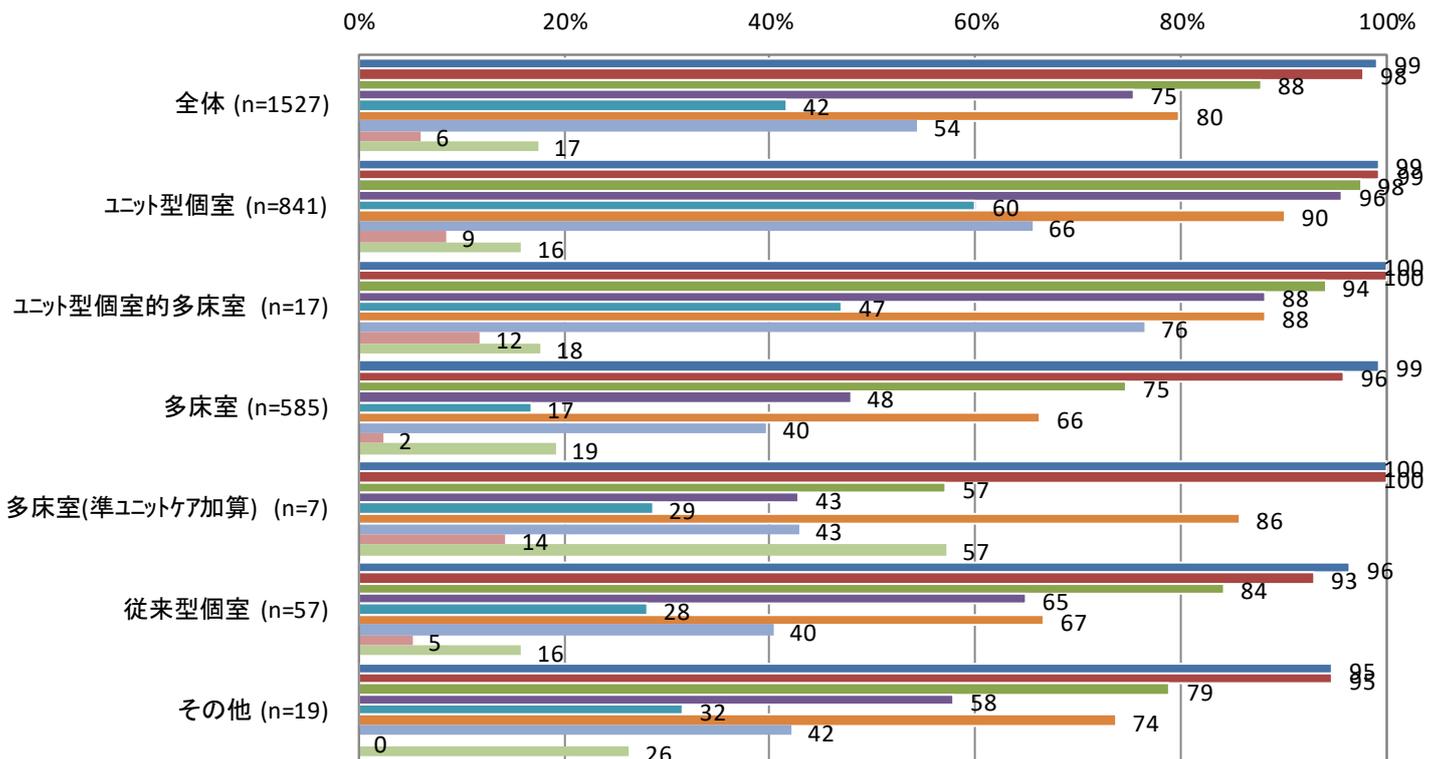
(4)持ち込みが可能な私物について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 衣服、履物 | 6. 仏壇、遺影 |
| 2. テレビ、ラジオ | 7. 鉢植えの植栽 |
| 3. 収納家具 (幅のとらないもの) | 8. 生き物 (金魚、インコ等) |
| 4. 家具 (タンス、テーブル、椅子等) | 9. その他 |
| 5. 冷蔵庫・電子レンジ | |

- ユニット型個室 は「生き物」「その他」以外の項目は6割超が多い。
- 多床室、従来型個室は「衣服・履物」「テレビ・ラジオ」「収納家具」「仏壇・遺影」は5割超。

Q12-4 持ち込みが可能な私物



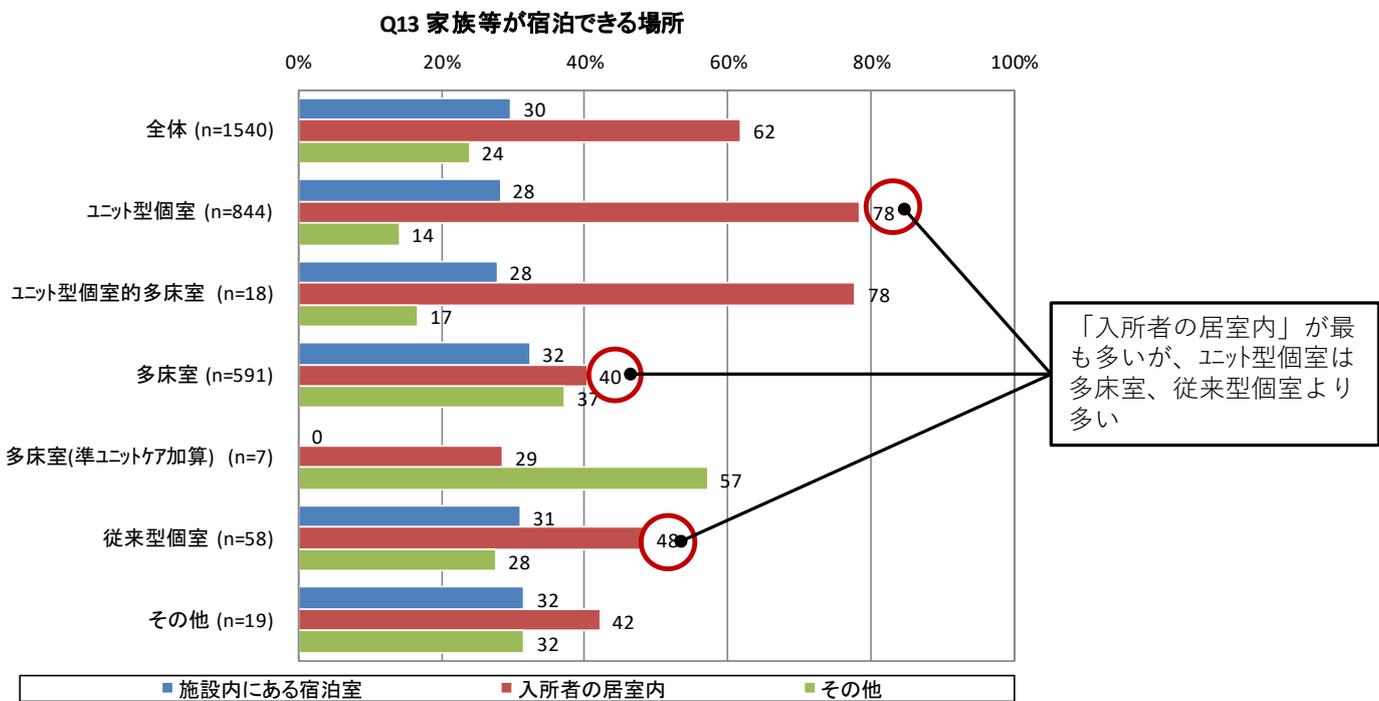
問13 施設への入所者の家族等の宿泊の受入状況について教えてください。

(1) 家族等が宿泊できる場所について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|------------------------|--------|
| 1. 施設内にある宿泊室 | 3. その他 |
| 2. 入所者の居室内 (簡易ベットを用意等) | |

- 施設類型に関係なく、「入所者の居室内」が多く、ユニット型個室が8割弱、「従来型個室」が5割、「多床室」が4割。
- 「施設内にある宿泊室」はいずれの施設類型とも3割。



問1（1）で「1. ユニット型個室」「2. ユニット型個室的多床室」「5. 従来型個室」を回答された方に伺います。

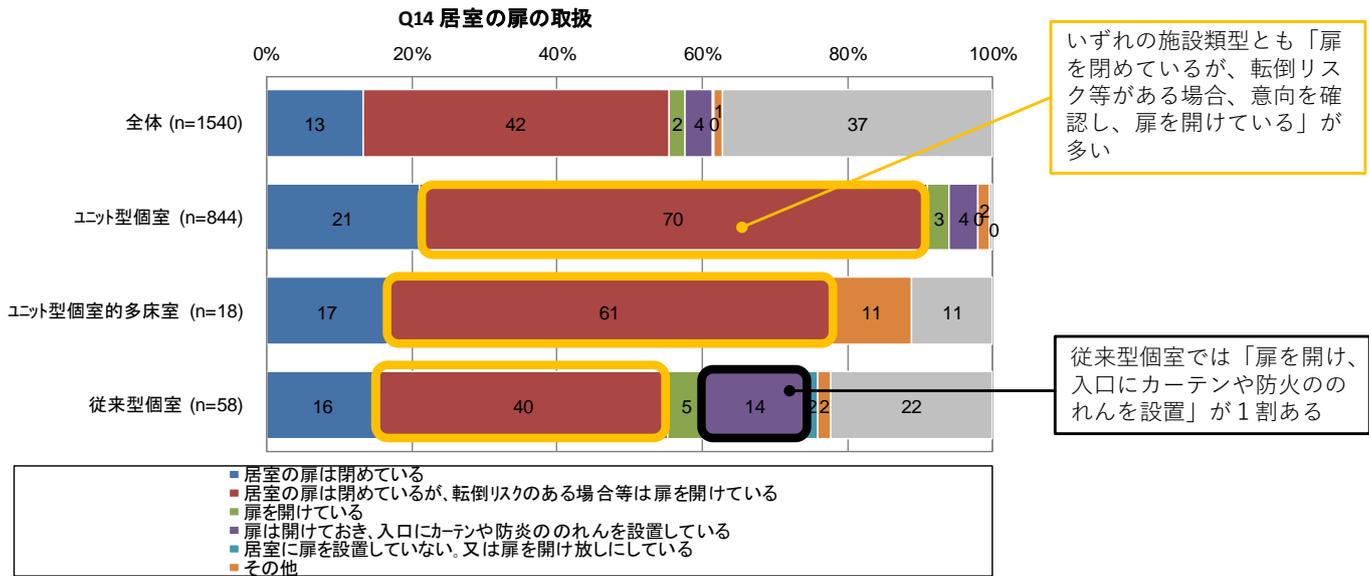
問14 居室の扉の取扱について教えてください。

〔選択肢〕

1. 入所者のプライバシーを重視し、居室の扉は閉めている
2. 入所者のプライバシーを重視し、居室の扉は閉めているが、入所者が寂しい場合、転倒リスクのある場合等は、入所者や家族の意向を確認し、扉を開けている
3. 居室内の転倒事故を見守りできるように入所者や家族の許可を得て、扉を開けている
4. プライバシーの確保と居室内への見守りを考慮し、扉は開けておき、入口にカーテンや防災ののれんを設置している
5. 居室に扉を設置していない。又は扉を開け放しにしている
6. その他



- 施設類型に関係なく、「扉を閉めているが、転倒リスク等がある場合、入所者や家族に意向を確認し、扉を開けている」が多い。次いで「扉を閉めている」が多い。
- 従来型個室は「扉はあけ入口にカーテンや防災ののれんを設置している」が1割超。



問1（1）で「3. 多床室」と「4. 多床室（準ユニットケア加算）」を回答された方に伺います。

問15 多床室で入所者のプライバシーを確保するための取組について教えてください。

（あてはまるものすべてを選択してください）

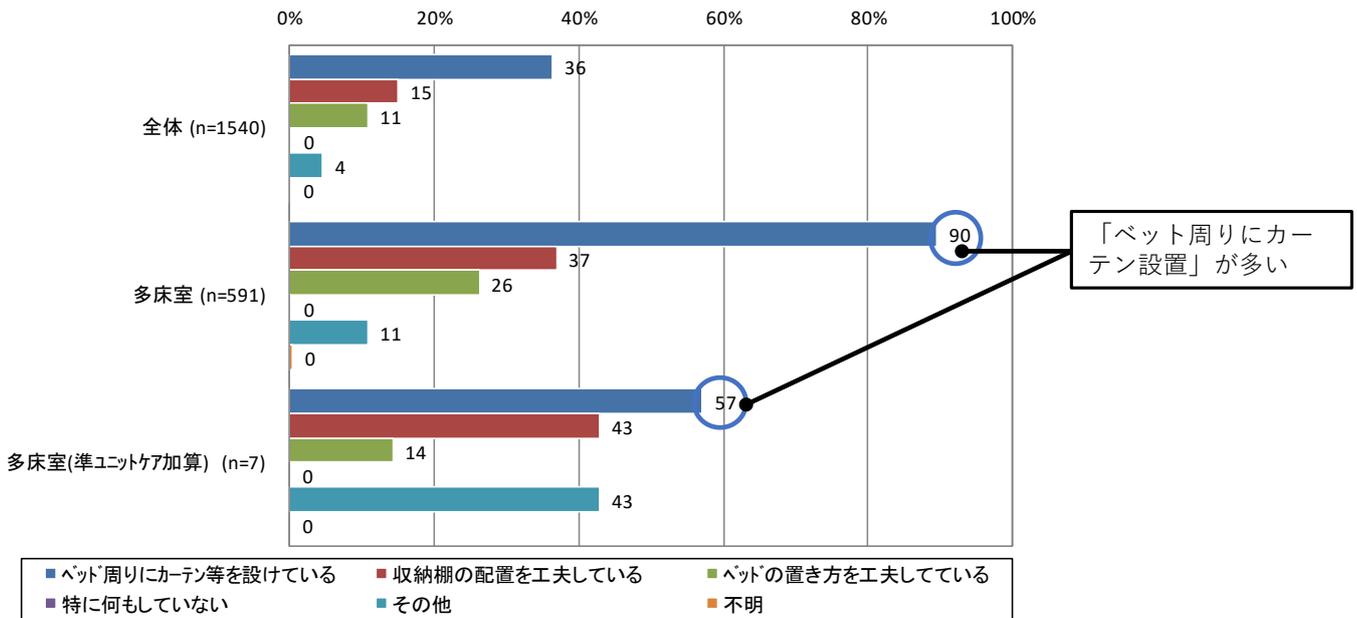
〔選択肢〕

1. ベッド周りにカーテン等を設け、入所者同士の目線が合わないようになっている
2. 収納棚の配置を工夫し、入所者同士の目線が合わないようになっている
3. ベッドの置き方を工夫して、入所者同士の目線が合わないようになっている
4. 特に何もしていない
5. その他



● 「ベッド周りにカーテンを設ける」が最も多い。次いで「収納棚の配置の工夫」「ベッドの置き方の工夫」の順に多い。

Q15 多床室で入所者のプライバシーを確保するための取組



5. 貴施設で実施しているイベントやレクリエーション活動内容についてお聞きします。

問14 イベントやレクリエーション活動の実施について教えてください。

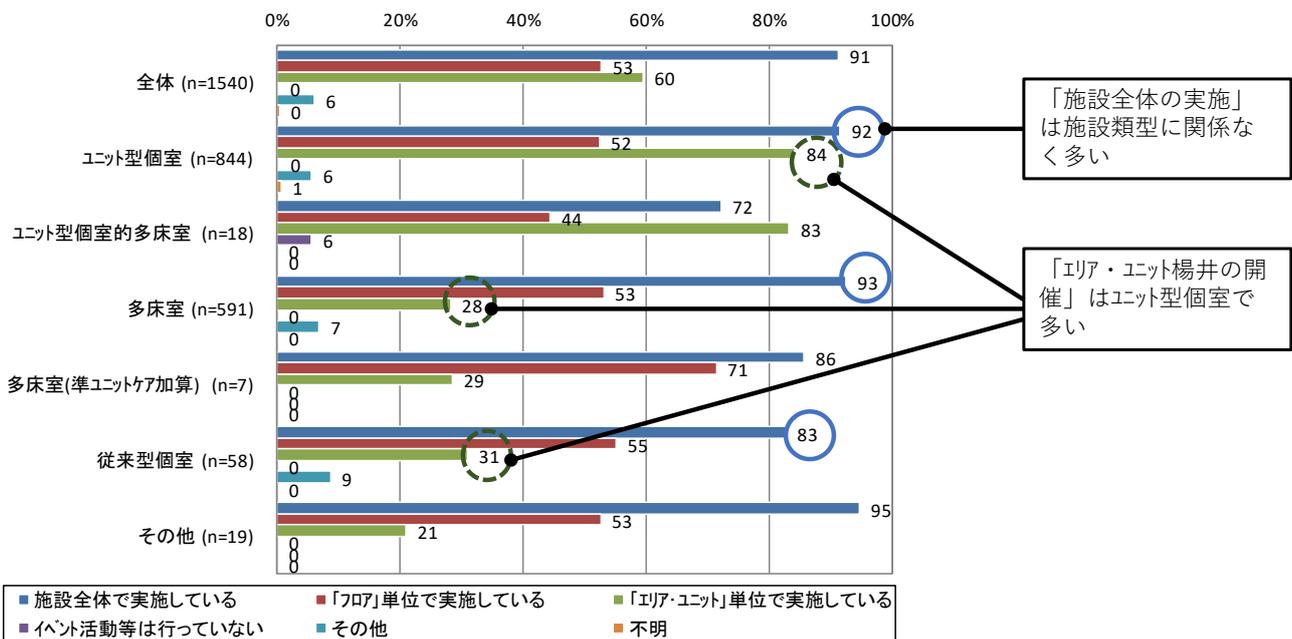
(あてはまるものすべてを選択してください)。

[選択肢]

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 施設全体で実施している | 3. 「エリア・ユニット」単位で実施している |
| 2. 「フロア」単位で実施している | 4. イベント活動等は行っていない |
| | 5. その他 |

- いずれの施設類型でも「施設全体の実施」が8, 9割。
- 「エリア・ユニット単位の開催」はユニット型個室では8割、多床室、従来型個室では3割弱。

Q16 イベントやレクリエーション活動の実施状況



問16で2. 3. を回答した方に伺います。

問17 フロアやエリア・ユニット単位のエント活動等の入所者の参加状況について教えてください。

〔選択肢〕

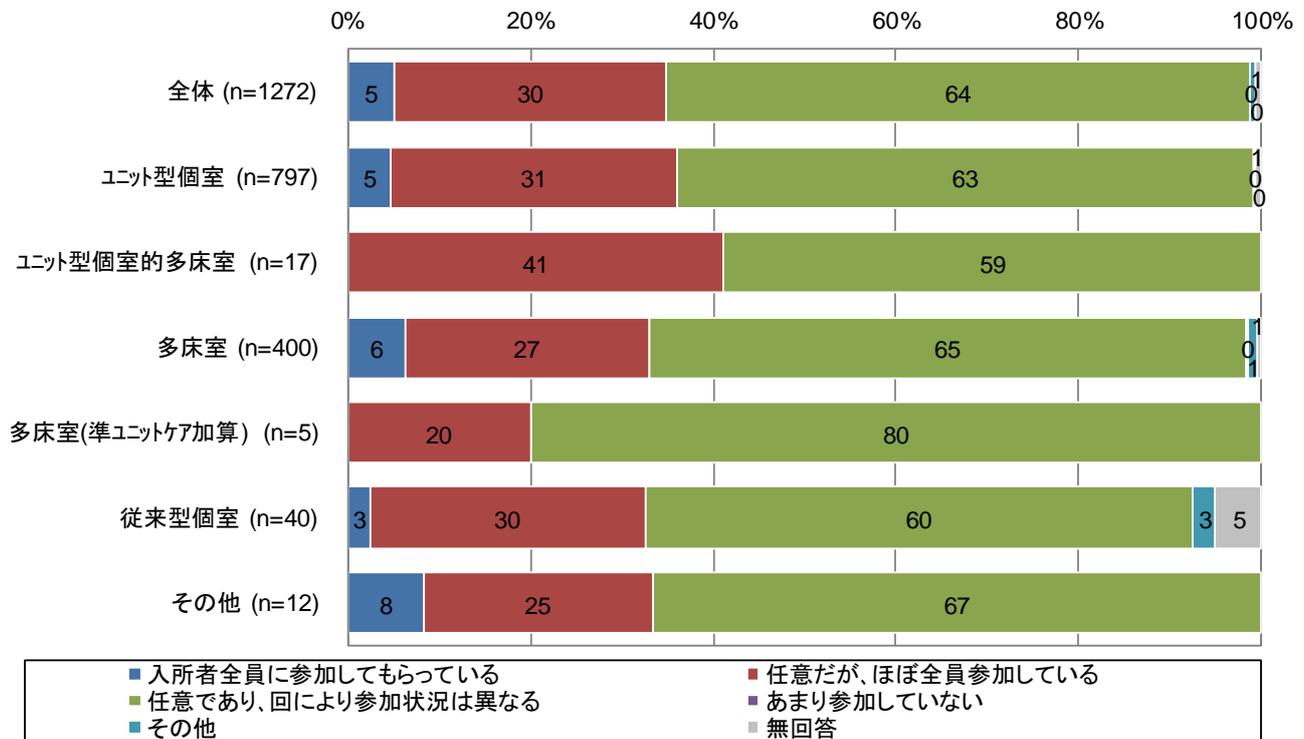
(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 入所者全員に参加してもらっている
2. 入所者に任意で参加を呼び掛けているが、ほぼ全員参加している
3. 入所者に任意で参加を呼び掛けており、回により参加状況は異なる
4. あまり参加していない
5. その他



●施設類型に関係なく、「任意で参加を呼び掛けているため、回により参加状況異なる」、次いで「参加を呼び掛けているが、ほぼ全員参加している」が多い。

Q17 フロアやエリア・ユニット単位のエント活動等の入所者の参加状況



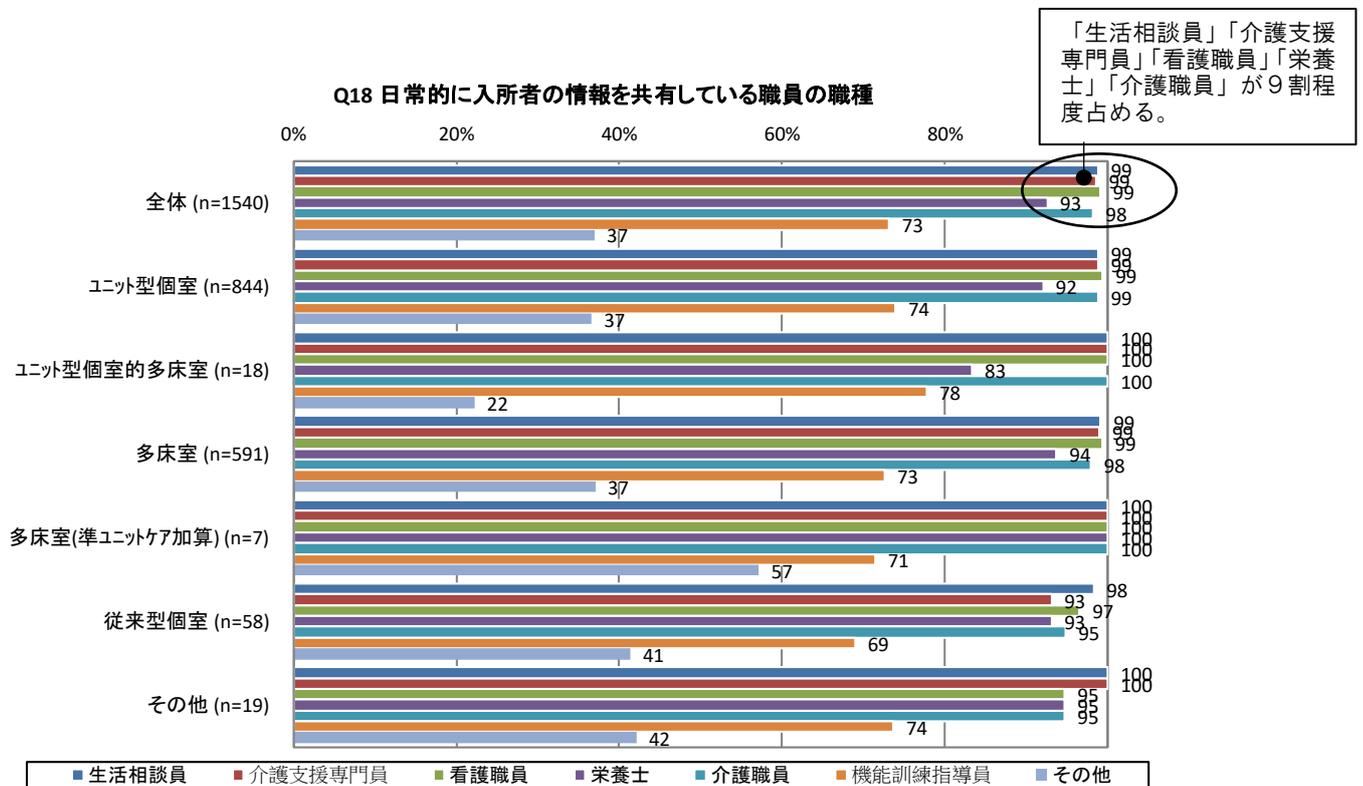
6. 貴施設での日常的な職員間の情報共有の取組についてお聞きます。

問18 日常的に入所者の情報共有している職員の職種を教えてください。

〔選択肢〕

- | | |
|------------|------------|
| 1. 生活相談員 | 4. 栄養士 |
| 2. 介護支援専門員 | 5. 介護職員 |
| 3. 看護職員 | 6. 機能訓練指導員 |
| | 7. その他 |

●施設類型に関係なく、「生活相談員」「介護支援専門員」「看護職員」「栄養士」「介護職員」が9割程度占める。



問19 問18で回答された職員の情報共有の仕方を教えてください。

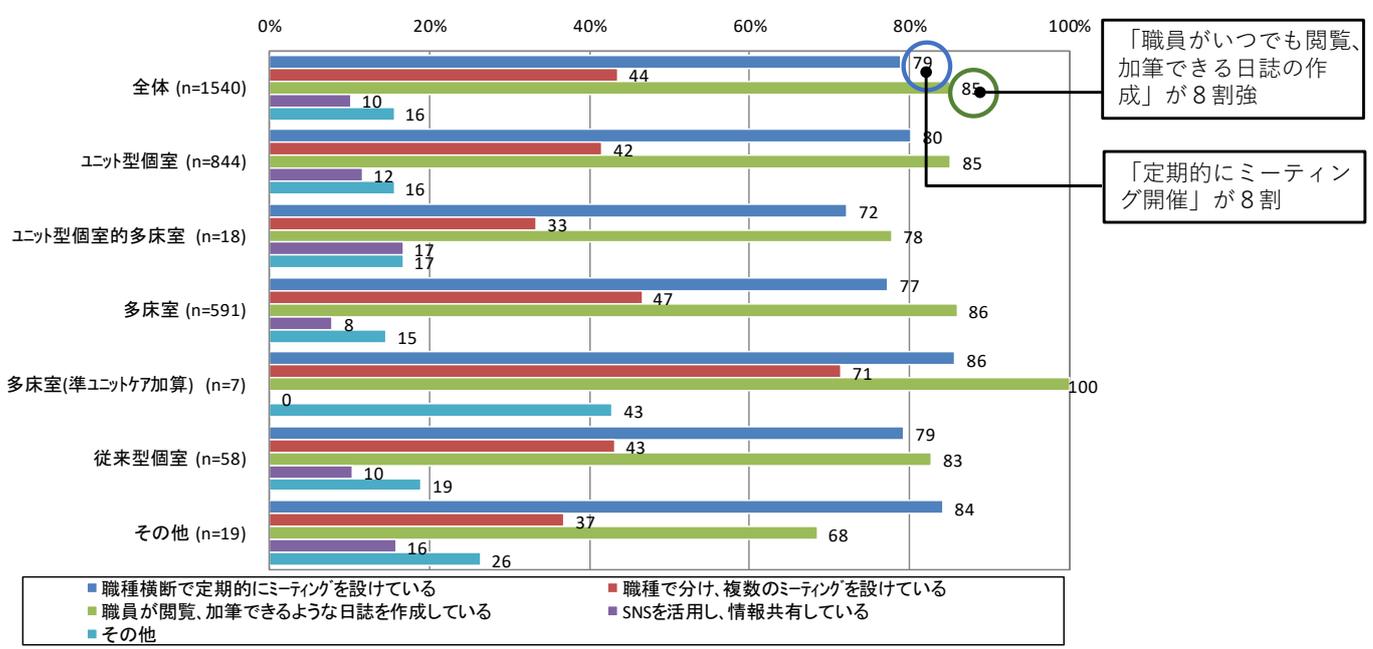
[選択肢]

(あてはまるものすべてを選択してください)

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1. 職種横断で定期的にミーティングを設けている | 3. 職員がいつでも閲覧、加筆できるような日誌(記録)を作成している |
| 2. 全員が集まるのが難しいため、職種で分け、複数のミーティングを設けている | 4. SNSを活用し、情報共有している |
| | 5. その他 |

●施設類型に関係なく、「職員がいつでも閲覧、加筆できる日誌の作成」多く、次いで「定期的にミーティングの開催」が多い。

Q19 職員の情報共有の仕方



☞問19で1. 2. を回答した方に伺います。

問20 ミーティングの頻度を教えてください。

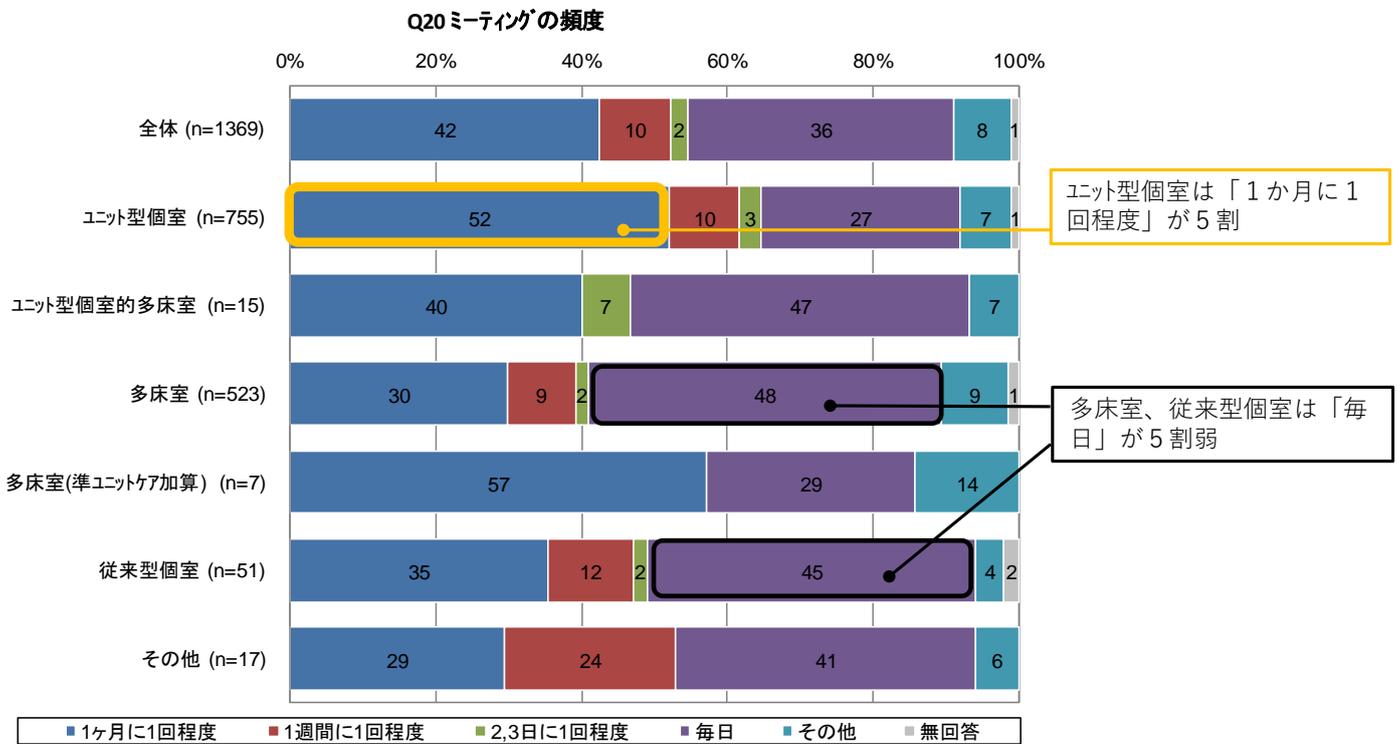
(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1ヶ月に1回程度 | 3. 2,3日に1回程度 |
| 2. 1週間に1回程度 | 4. 毎日 |
| | 5. その他 |



●ユニット型個室では「1か月に1回程度」が5割、「毎日」が3割。
 ●多床室型、従来型個室は「毎日」が5割弱、「1か月に1回程度」が3割。



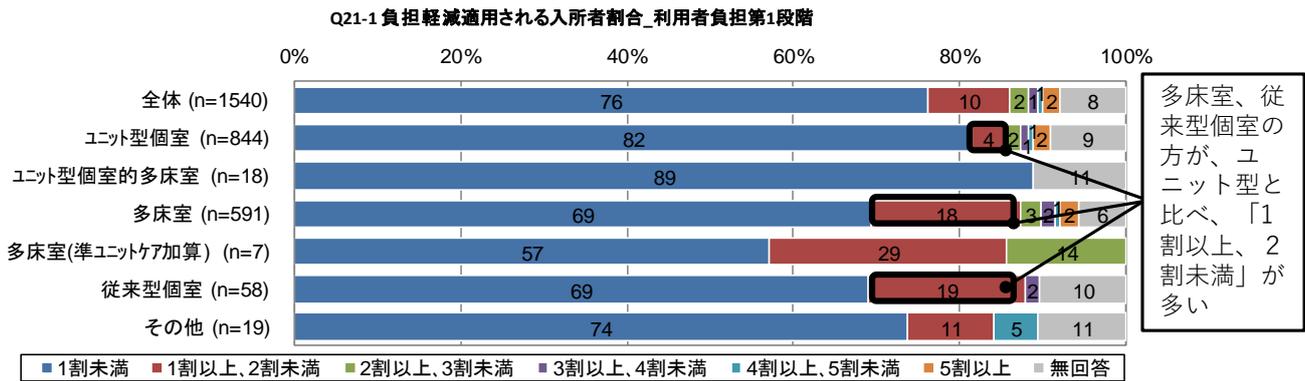
7. 貴施設の入所者の負担軽減を適用される入所者についてお聞きます。

問21 低額要件を満たし負担軽減適用される入所者割合について教えてください。

(1つを選択してください)

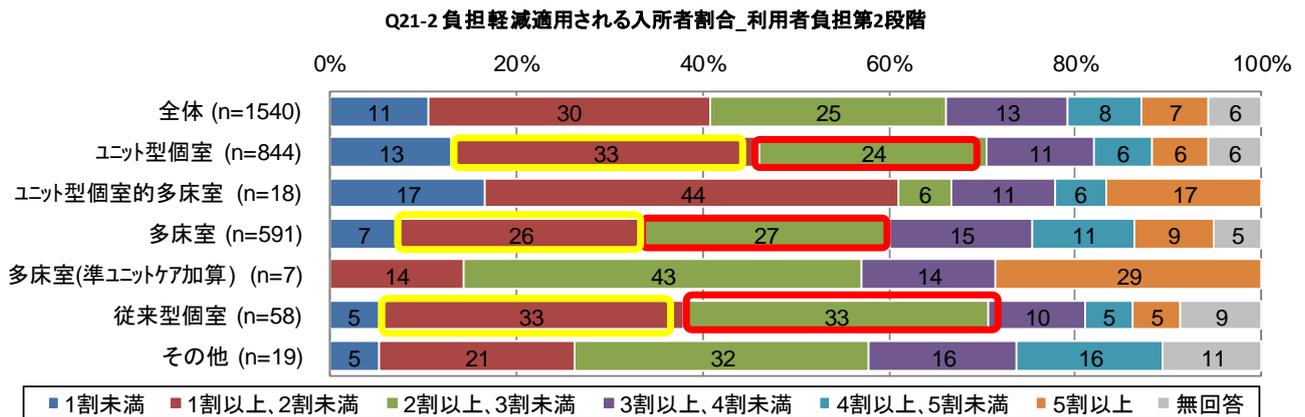
<利用者負担第1段階>

- ユニット型個室は「1割未満」が8割。多床室、従来型個室は7割程度、「1割以上、2割未満」が2割程度でユニット型個室よりも多い。



<利用者負担第2段階>

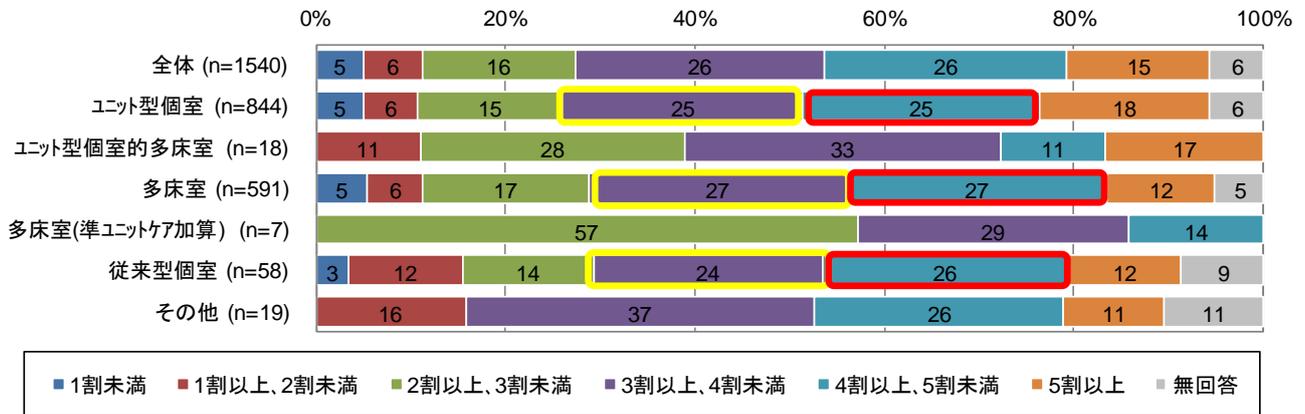
- 施設類型に関係なく「1割以上、2割未満」が3割程度、「2割以上、3割未満」が2、3割。



<利用者負担第3段階>

●施設類型に関係なく「3割以上、4割未満」が2、3割、「4割以上、5割未満」が3割。

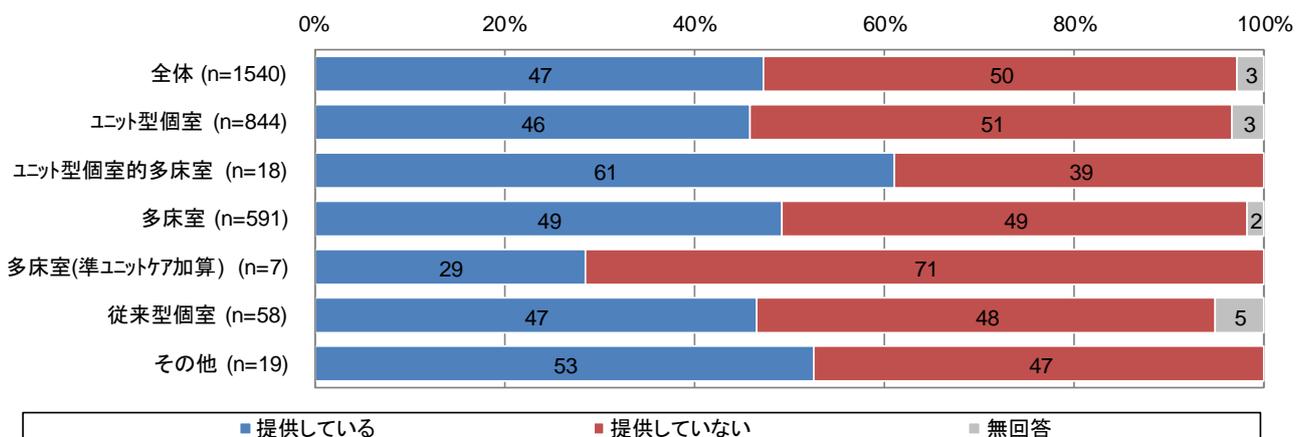
Q21-3 負担軽減適用される入所者割合_利用者負担第3段階



問22 入所者の個別の希望に応じた、別途費用負担による個別サービスについて教えてください。

●施設類型に関係なく、「提供している」「提供していない」が各5割。

Q22-1 個別サービスの提供状況



8. ユニット型個室の特徴等についてお聞きします。

☞問1（1）で「1. ユニット型個室」「2. ユニット型個室的多床室」を回答された方、ご回答ください。

問23 ユニット型個室ならではの特徴・メリットについて、教えてください。

〔選択肢〕

（あてはまるものすべてを選択してください）

<入所者・家族の視点>

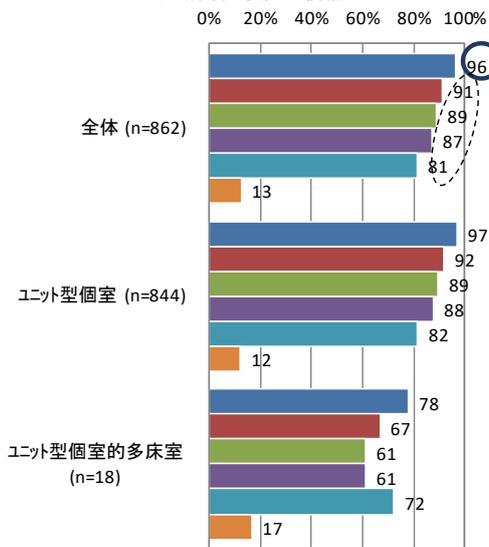
1. ユニット型個室は、複数の入所者が同じ居室で生活する多床室と比べ、他の入所者の光や音や臭いの漏れを気にせずに生活ができ、プライバシーを確保できる。
2. 「居室」と他の入所者が集える「共同生活室」を使い分けることで、入所者は体調や精神状況に応じて、人との接触のバランスをとることができる。
3. 多床室では、私物の持ち込みは制限されるが、ユニット型個室は、「居室」なため、入所者は自宅の家具等を持ち込むことができ、自分らしい生活空間をつくることができる。
4. ユニット型個室では、職員がユニット単位に配置されるため、入所者は顔なじみの関係にある職員により自分のニーズにあったケアを受けることができる。
5. ユニット型個室では、起床、喫食、排泄、入浴、就寝等、入所者個人のリズムに合わせた生活を行うことができる。
6. その他

<職員・施設の視点>

1. ユニット型個室は、多床室と比べ、職員が担当する入所者が限られ、職員は個々の入所者の要望や状況を把握でき、入所者のニーズに合わせたケアができる。そのことが、職員のモチベーションにつながっている。
2. 職員が分業して、施設単位の入所者を介護する多床室と比べ、ユニット型個室では、職員はユニット単位の入所者を介護するため、職員の介護による移動負担を少なくすることができる。
3. ユニット型個室は、居室やユニットの単位で空間が区切られているため、感染症が発症しても施設全体への感染症の拡散を防ぐ対策をとりやすい。
4. ユニット型個室では、入所者個人の生活リズムに合わせ、入所者により起床や食事の時間が異なるため、施設単位で一日のスケジュールを決めている施設と比べ、複数の入所者の介護が集中するリスクが少ない。
5. その他

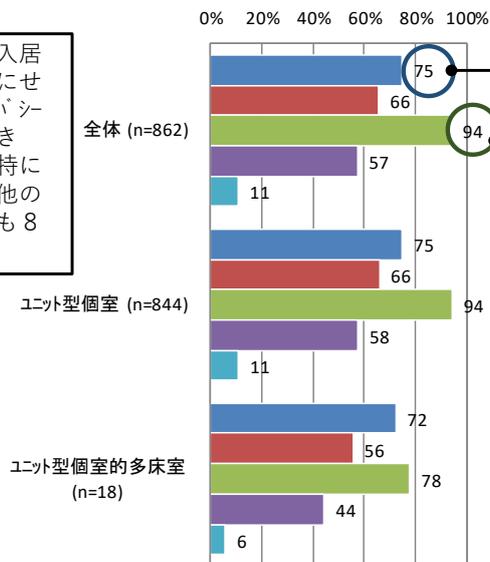
- <入所者・家族の視点>では、「他の入所者に気にせずプライバシーが確保できる」が特に多く、他の選択肢も8割超。
- <職員・施設の視点>では、「感染症の拡散を防ぐ対策をとりやすい」が9割程度、「職員が個々の要望等を把握でき、入所者のニーズに合わせたケアができる」が特に多い。

Q23-1 ユニット型個室ならではの特徴・メリット
入所者・家族の視点



「他の入居者を気にせずプライバシー確保できる」が特に多く、他の選択肢も8割超

Q23-2 ユニット型個室ならではの特徴・メリット
職員・施設の視点



「感染症の拡散を防ぐ対策をとりやすい」「入居者のニーズに合わせたケアができる」が特に多い

- 他の入所者を気にせず生活ができ、プライバシーを確保できる
- 「居室」と「共同生活室」を使い分け、人との接触のバランスをとることができる
- 「居室」なため、家具等を持ち込み、自分らしい生活空間をつくることできる
- 職員がユニット単位に配置されるため、自分のニーズにあったケアを受けることができる
- 入所者個人のリズムに合わせた生活を行うことができる
- その他

- 入所者のニーズに合わせたケアができ、職員のモチベーションにつながる
- ユニット単位の入所者を介護するため、移動負担を少なくできる
- 感染症が発症しても施設全体への感染症の拡散を防ぐ対策をとりやすい
- 複数の入所者の介護が集中するリスクが少ない
- その他

問24 ユニット型個室ならではの問題・デメリットについて、教えてください。

〔選択肢〕

(あてはまるものすべてを選択してください)

<入所者・家族の視点>

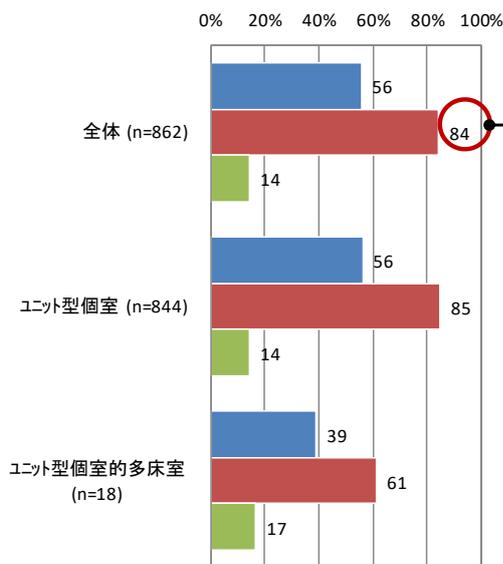
1. ユニット型個室では、入所者の生活はユニット単位が基本で、入所者のコミュニケーションの範囲が限られているため、入所者同士や職員との人間関係が煮詰まることがある。
2. ユニット型個室では、職員が居室に入り、介護している時間帯に他の入所者への目配りができない問題が生じやすく、入所者や家族にとって安全や防犯面の不安を感じる場合がある。
3. その他

<職員・施設の視点>

1. 多床室と比べ、ユニット型個室では、ユニット内の業務をユニット内の職員でこなすため、職員の負担や必要なスキルの水準が高く、職員の負担が大きい。
2. 多床室では、複数の職員が分担して介護ができるが、ユニット型個室では、職員の配置がユニット単位となるため、職員は他のユニットの職員と情報共有しにくい。
3. ユニット型個室は、居室であるため、職員の見守りの負担が大きい。ユニット内では死角が生じやすく、見守りしきれず事故発生のリスクもある。
4. ユニット毎に配置される職員のスキルの違いで、ユニット間でケアの格差が生じやすい。
5. その他

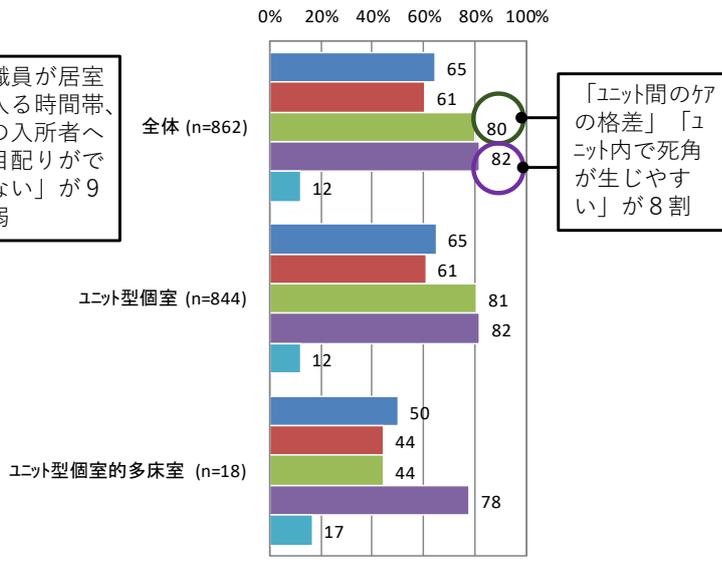
- <入所者・家族の視点>では、「職員が居室に入り、介護している時間帯に他の入所者への目配りができない問題が生じやすく、入所者や家族にとって安心や防犯面の不安を感じる」が特に多い。
- <職員・施設の視点>では、「ユニット内で死角が生じやすい、事故発生リスクもある」「職員のスキルの違いで、ユニット間でケアの格差が生じやすい」が特に多い。

Q24-1 ユニット型個室ならではの問題・デメリット_入所者・家族の視点



■コミュニケーションの範囲が限られ、入所者同士や職員との人間関係が煮詰まる
 ■職員が居室に入り介護している時間帯に、他の入所者への目配りができない
 ■その他

Q24-2 ユニット型個室ならではの問題・デメリット_職員・施設の視点



■職員の負担や必要なスキルの水準が高く、職員の負担が大きい
 ■他のユニットの職員と情報共有しにくい
 ■職員の見守りの負担が大きい、死角が生じやすく事故発生のリスクもある
 ■職員のスキルの違いで、ユニット間でケアの格差が生じやすい
 ■その他

問25 ユニットリーダーについて教えてください。

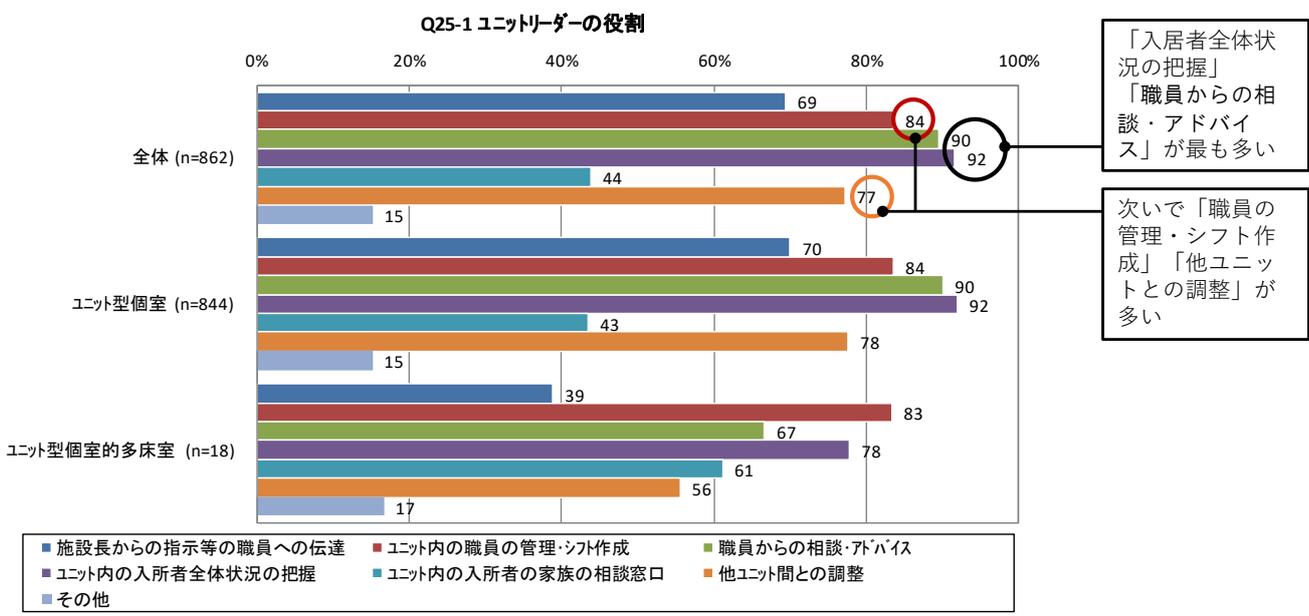
(1)ユニットリーダーは主にどのような役割を担っていますか。(あてはまるものすべてを選択してください)

[選択肢]

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 施設長からの指示等の職員への伝達 | 5. ユニット内の入所者の家族の相談窓口 |
| 2. ユニット内の職員の管理・シフト作成 | 6. 他ユニット間との調整（職員の欠勤による応援要請、合同イベントの調整等） |
| 3. 職員からの相談・アドバイス | 7. その他 |
| 4. ユニット内の入所者全体状況の把握 | |



● 「入所者全体状況の把握」「職員からの相談・アドバイス」が最も多く9割占める。次いで「職員の管理・シフト作成」「他ユニットとの調整」が多い。



(2)ユニットリーダーに対して、どのような資格や資質を求めていますか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

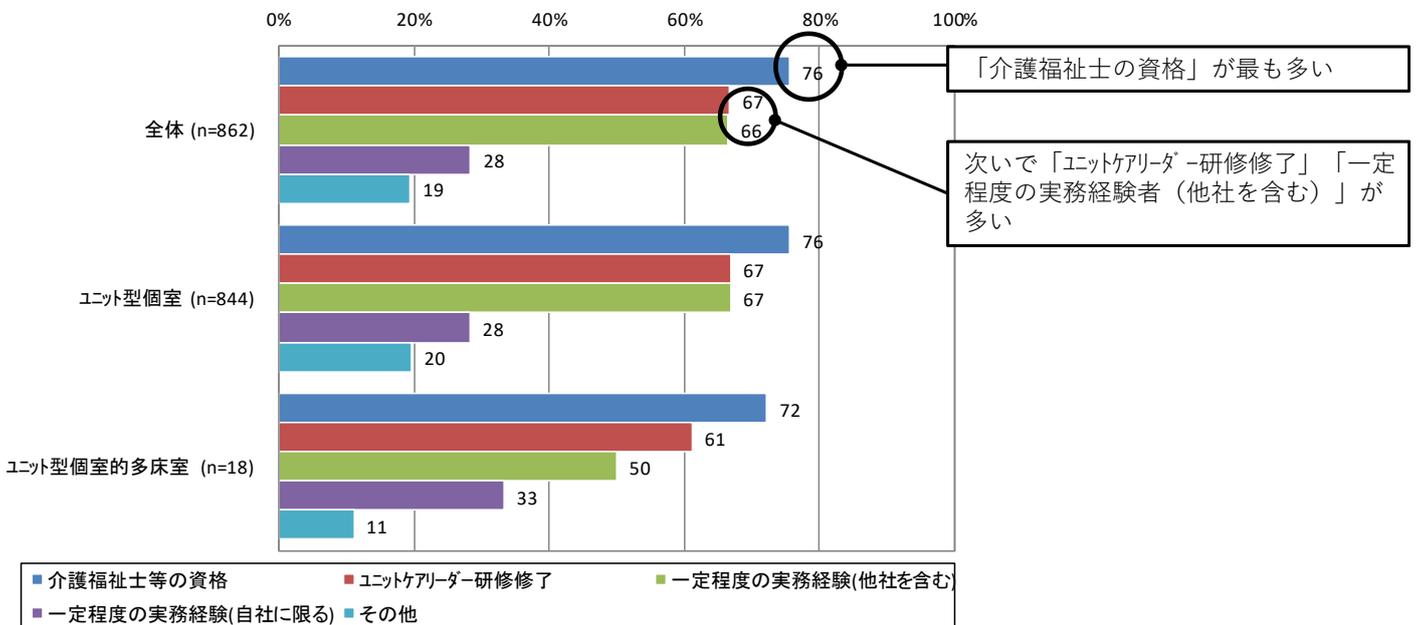
[選択肢]

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 介護福祉士等の資格 | 4. 一定程度の実務経験（自社に限る） |
| 2. ユニットケアリーダー研修修了 | 5. その他 |
| 3. 一定程度の実務経験（他社を含む） | |



- 「介護福祉士等の資格」が最も多く8割程度。次いで「ユニットケアリーダー研修修了」「一定程度の実務経験（他社を含む）」が6割程度。

Q25-2 ユニットリーダーに求める資格や資質



(3)ユニットリーダーのユニットケアリーダー研修の修了状況について教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

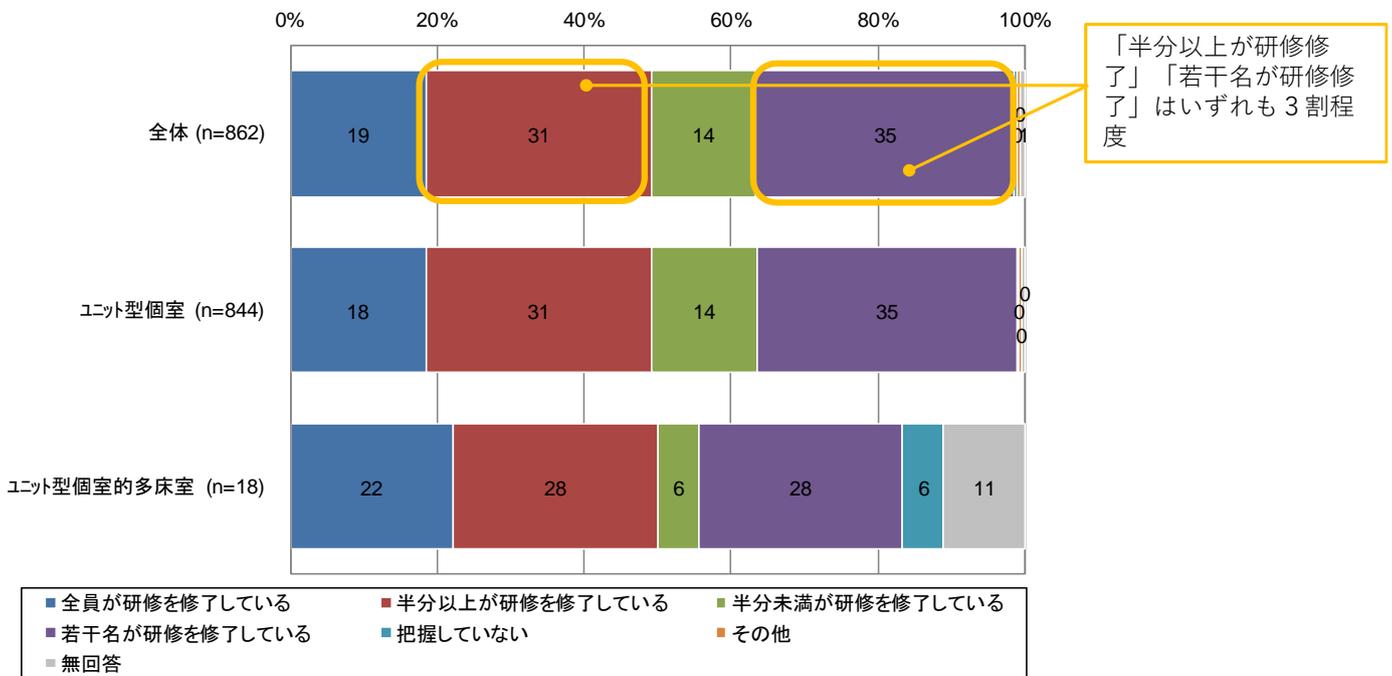
[選択肢]

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 全員が研修を修了している | 4. 若干名が研修を修了している |
| 2. 半分以上が研修を修了している | 5. 把握していない |
| 3. 半分未満が研修を修了している | 6. その他 |



- 「半分以上が研修修了」「若干名が研修修了」がいずれも3割強が多い。
- 「全員研修修了」は2割弱。

Q25-3 ユニットリーダーのユニットケアリーダー研修の修了状況



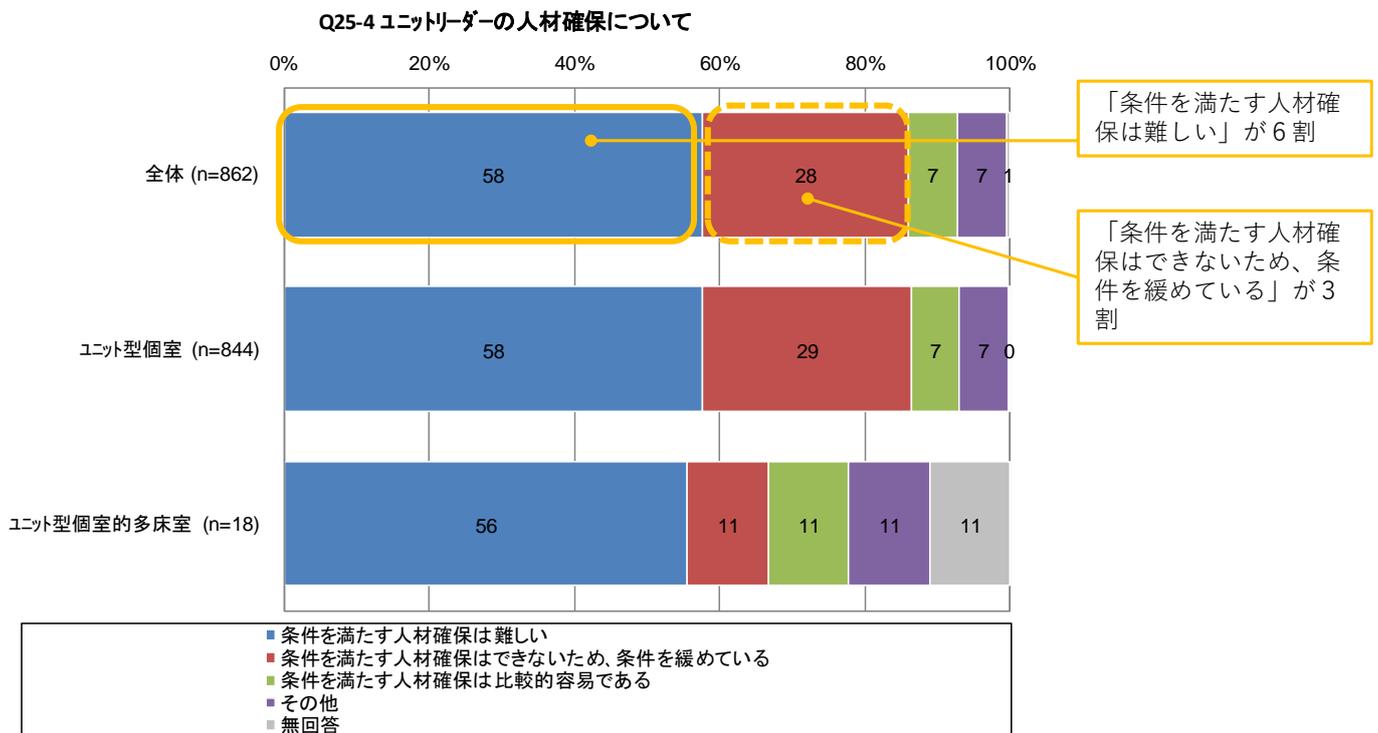
(4)ユニットリーダーの人材確保についてどのように認識されていますか。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

1. ユニットリーダーの条件を満たす人材確保は難しい
2. ユニットリーダーの条件を満たす人材確保はできないため、条件を緩めている
3. ユニットリーダーの条件を満たす人材確保は比較的容易である
4. その他



● 「人材確保は難しい」が6割、「人材確保はできないため、条件を緩めている」が3割。



問25(4)1.2.を回答した方に伺います。

(5)ユニットリーダーの条件を満たす職員の確保が難しいため、配置するユニットリーダーについて生じている問題について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

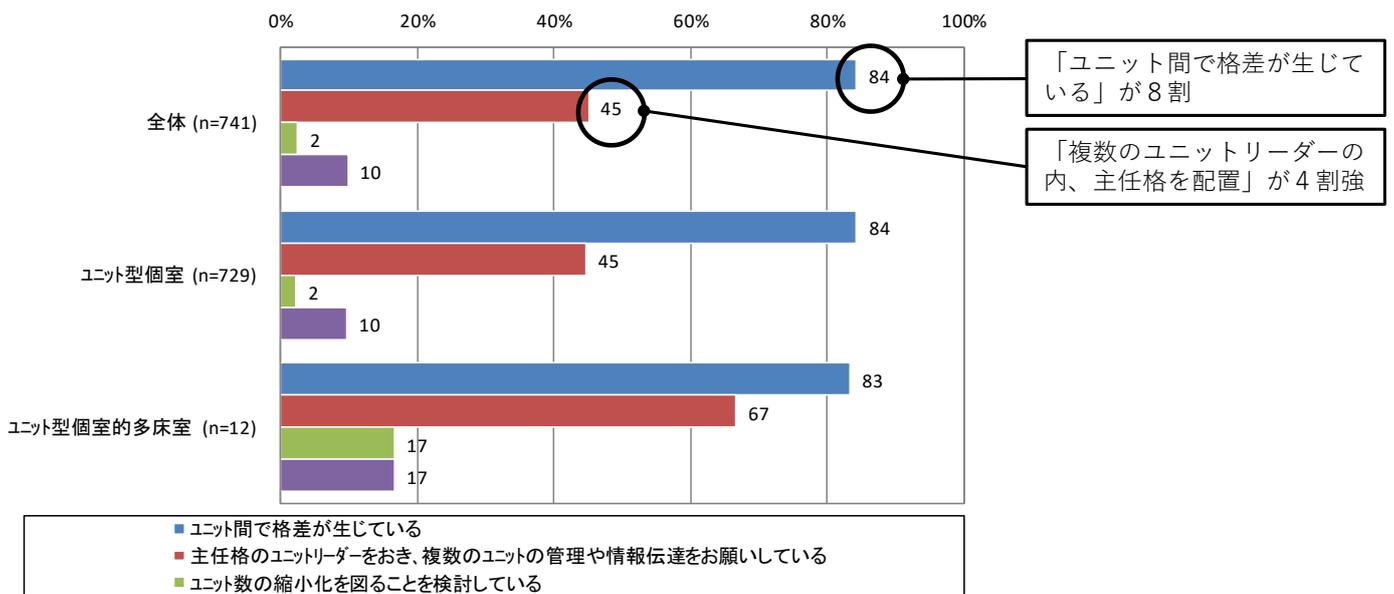
[選択肢]

- 1. ユニットリーダーによって、スキルや資質にバラつきが生じて、ユニット間で格差が生じている
- 2. 複数のユニットリーダーのうち、主任格のユニットリーダーをおき、複数のユニットの管理や情報伝達をお願いしている
- 3. ユニットリーダーを配置することができないユニットが生じるため、ユニット数の縮小化を図ることを検討している
- 4. その他



●「ユニット間で格差が生じている」と8割強が問題認識。「複数のユニットリーダーのうち、主任格のユニットリーダーを配置」と4割強が工夫している。

Q25-5 ユニットリーダーの条件を満たす職員の確保が難しいため生じている問題



問26 平成27年度から特別養護老人ホームの入所者の入所条件が、原則「要介護3」以上になり、入所者の重度化が進んでいますが、それにより、入所者同士の人間関係、職員と入所者の関わりについて、どのような影響がみられますか。

(1)入所者同士の人間関係(1つを選択してください)

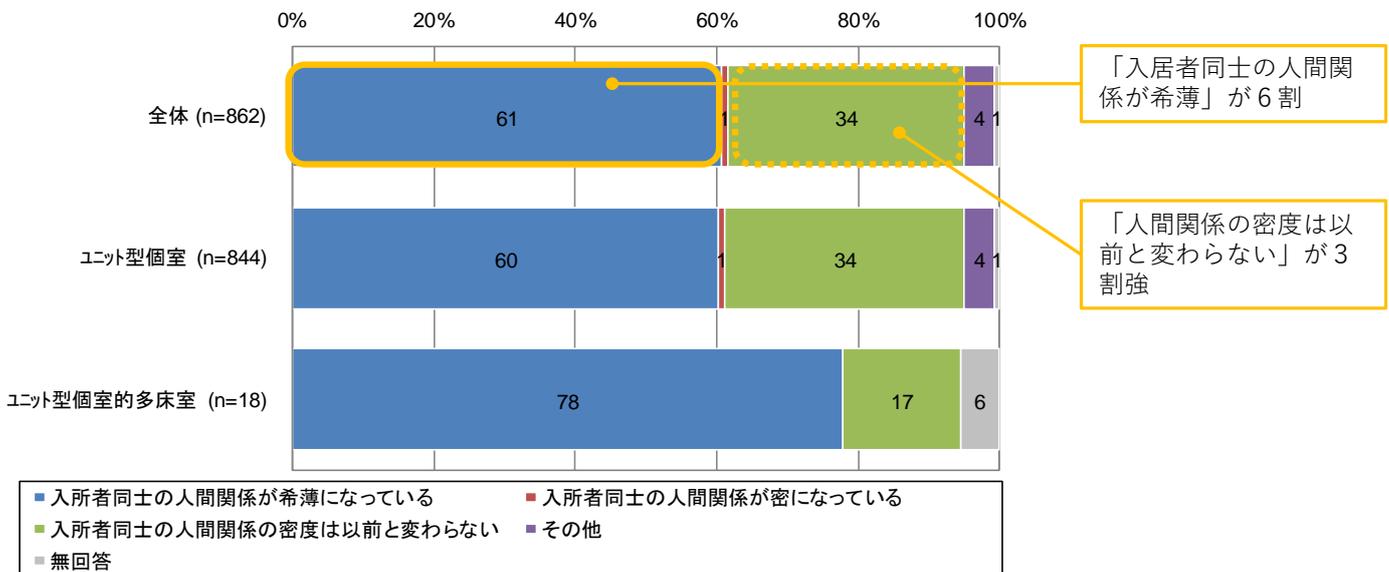
〔選択肢〕

1. 重度化により、入所者の活動量が減少し、入所者同士の人間関係が希薄になっている
2. 重度化により、入所者の活動量が減少したことで、入所者同士の人間関係が密になっている
3. 重度化に関係なく、入所者同士の人間関係の密度は以前と変わらない
4. その他



● 「入所者同士の人間関係が希薄」が6割。「人間関係の密度は以前と変わらない」3割強。

Q26-1 入所条件の変更による影響_入所者同士の人間関係



(2)職員と入所者の関わり(1つを選択してください)

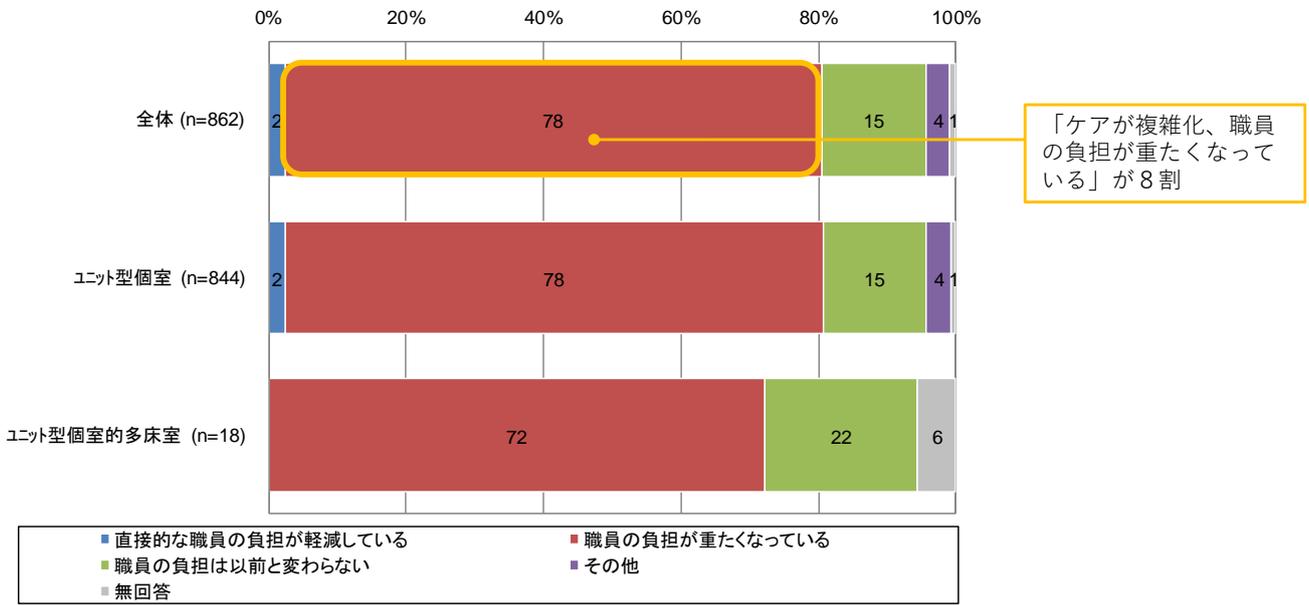
〔選択肢〕

1. 重度化により、入所者の活動量が減少し、直接的な職員の負担が軽減している
2. 重度化により、ケアが複雑化、専門化しており、職員の負担が重たくなっている
3. 重度化しても、職員の負担は以前と変わらない
4. その他



● 「ケアが複雑化、職員の負担が重たくなっている」が8割強。

Q26-2 入所条件の変更による影響_職員と入所者の関わり



問27 ユニットの入所者数は、概ね10人以下とされていますが、仮に1ユニットの入所者数が増えた場合、どのような影響が生じると思われますか。次の視点毎にお答えください。

(1)入所者同士や職員とのコミュニケーションの視点(1つを選択してください)

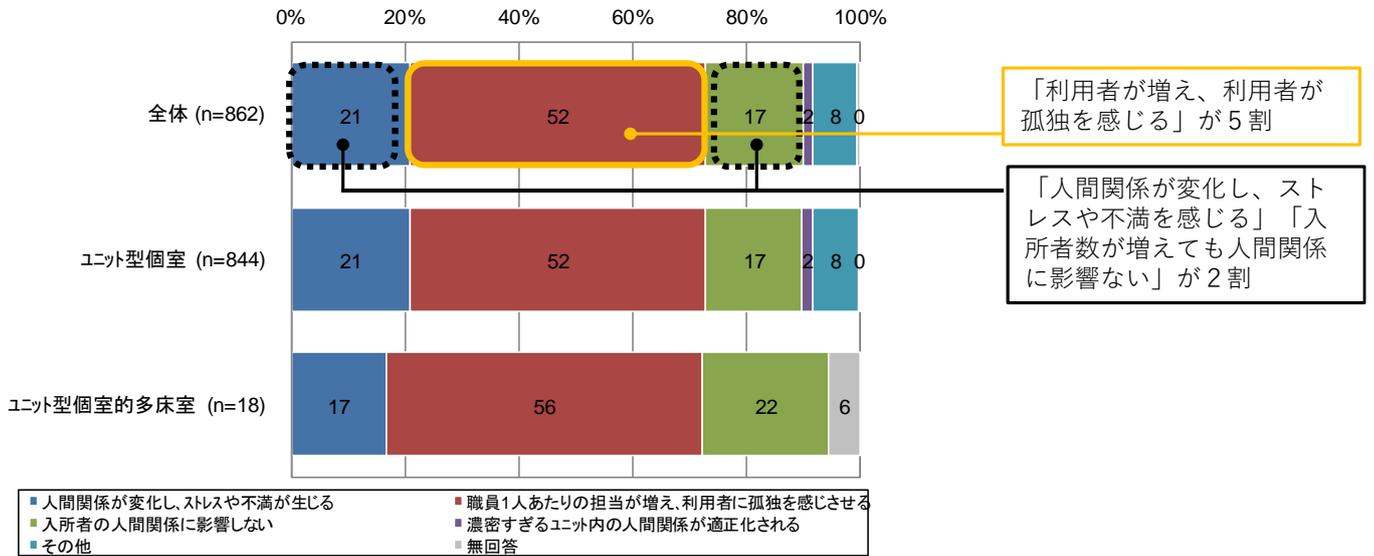
〔選択肢〕

1. ユニットの入所者数が増えることで、入所者同士の人間関係が変化し、ストレスや不満が生じる
2. 職員1人あたりの担当の利用者数が増え、利用者に孤独を感じさせる
3. ユニットの入所者数が増えても、入所者の人間関係に影響しない
4. 少人数で濃密すぎるユニット内の人間関係が適正化される
5. その他



- 「利用者が増え、利用者に孤独を感じさせる」が5割。
- 「入所者同士の人間関係が変化し、ストレスや不満が生じる」「入所者が増えても人間関係に影響ない」が2割。

Q27-1 ユニットの入所者数が増えた場合の影響_入所者同士や職員とのコミュニケーションの視点



問27(1)で1、2を回答した方に伺います。

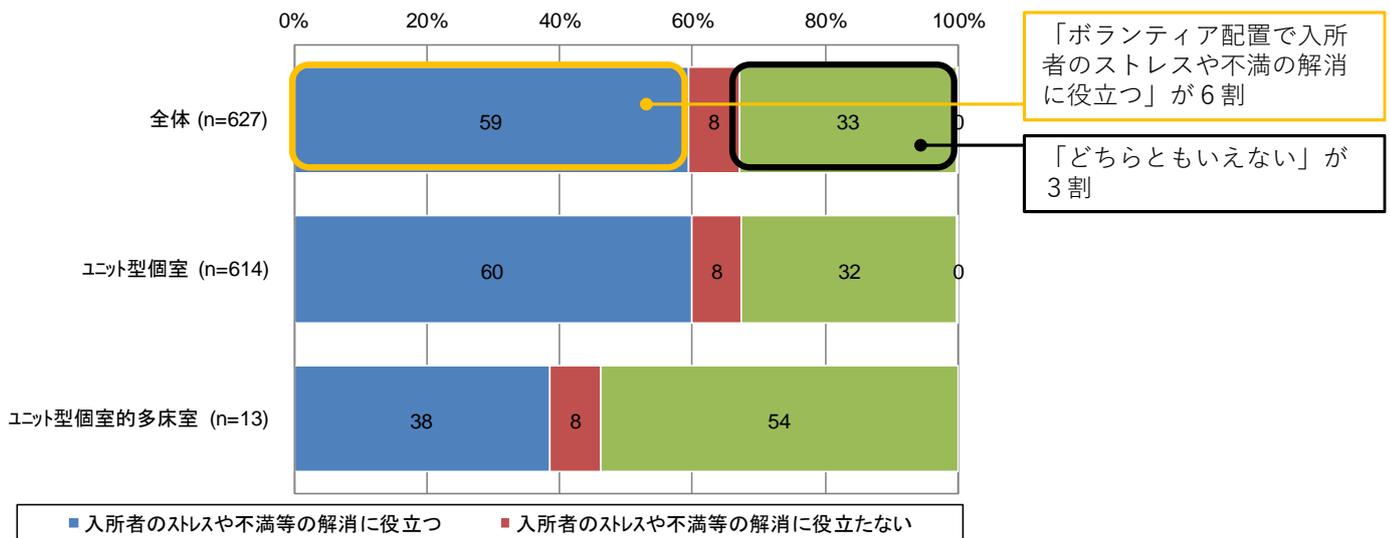
(2)入所者のストレスや不満、孤独を回避する手立てとして、職員の配置とは別に、ボランティア等の配置(入所者との交流・レクリエーション活動等)が考えられます。こうした取組について、どのように思います。(1つを選択してください)

〔選択肢〕

- 1. ボランティア等を配置することで、入所者のストレスや不満等の解消に役立つ
- 2. ボランティア等を配置することで、入所者のストレスや不満等の解消に役立たない
- 3. どちらともいえない

● 「ボランティア配置で入所者のストレスや不満等の解消に役立つ」が6割、「どちらともいえない」が3割。

Q27-2 入所者のストレスや不満、孤独を回避するため、ボランティア等を配置する取組について



(3)職員の負担の視点(1つを選択してください)

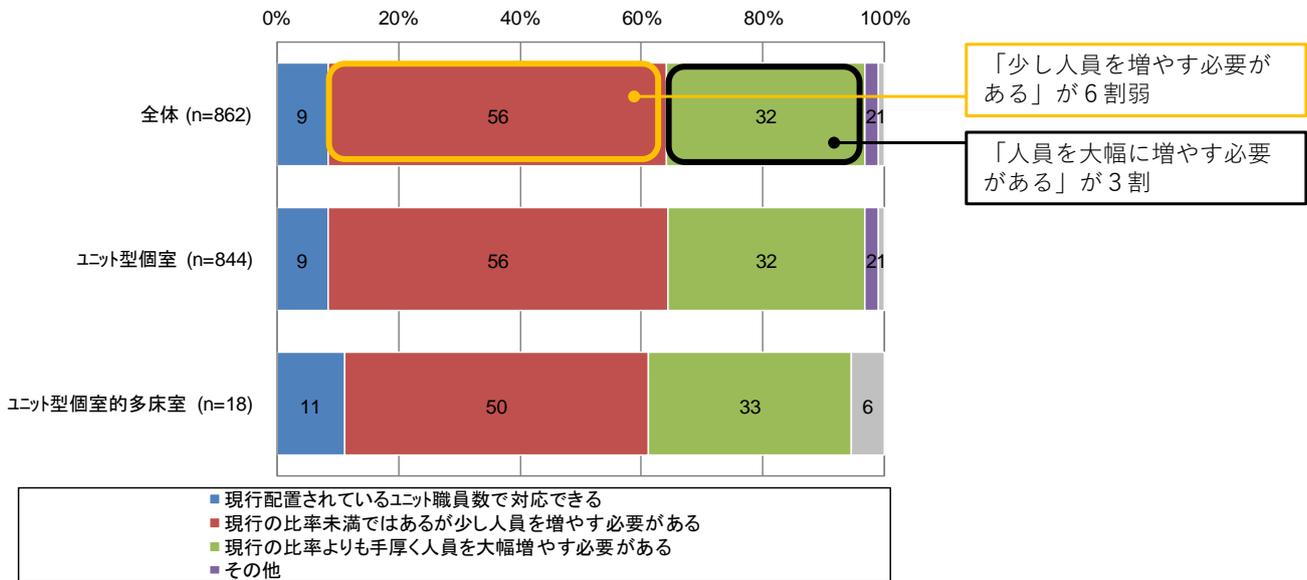
〔選択肢〕

1. 1ユニットの入所者数が増えても、現行配置されているユニット職員数で対応できる
2. 1ユニットの入所者数が増えた場合、現行の利用者：職員の配置の比率未満ではあるが少し人員を増やす必要がある
3. 1ユニットの入所者数が増えた場合、現行の利用者：職員の配置の比率よりも手厚く人員を大幅増やす必要がある
4. その他



● 「少し人員を増やす必要がある」が6割弱。「人員を大幅増やす必要がある」が3割。

Q27-3 1ユニットの入所者数が増えた場合の影響_職員の負担の視点



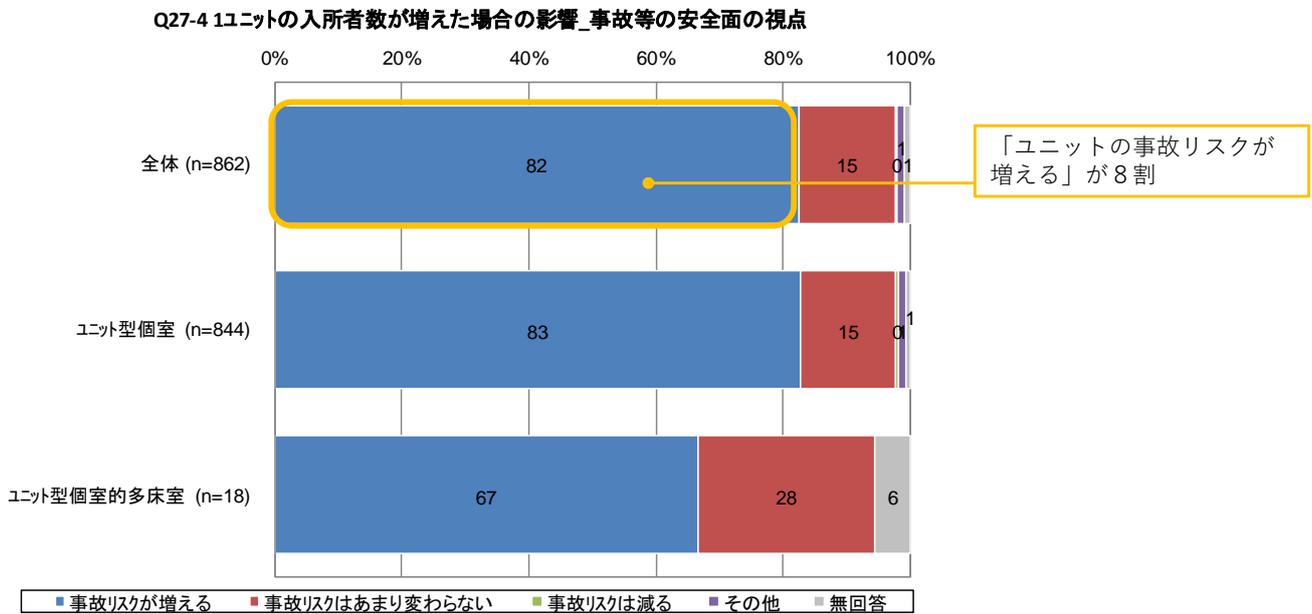
(4)事故等の安全面の視点(1つを選択してください)

[選択肢]

1. 1ユニットの入所者数が増えたことで、ユニットの事故リスクが増える
2. 1ユニットの入所者数が増えたことで、ユニットの事故リスクはあまり変わらない
3. 1ユニットの入所者数が増えたことで、ユニットの事故リスクは減る
4. その他



● 「ユニットの事故リスクが増える」が8割。



(5)家族からみた視点(1つを選択してください)

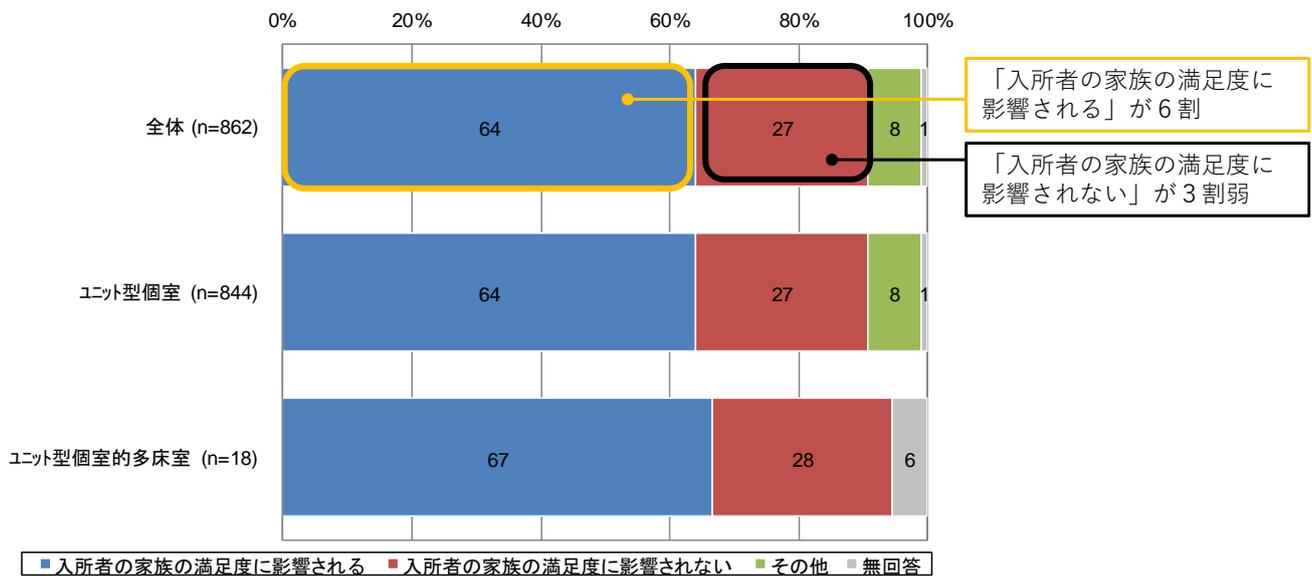
〔選択肢〕

1. 1ユニットの入所者数が増えたことで、入所者の家族の満足度に影響される
2. 1ユニットの入所者数が増えても、入所者の家族の満足度に影響されない
3. その他



- 「入所者数が増えたことで、入所者の家族の満足度に影響される」が6割、「入所者数が増えても、入所者の家族の満足度に影響されない」が3割弱。

Q27-5 1ユニットの入所者数が増えた場合の影響_家族からみた視点



問28 問27(1)～(4)の回答を踏まえ、1ユニットの入所者数の上限として適切と考える人数範囲について教えてください。

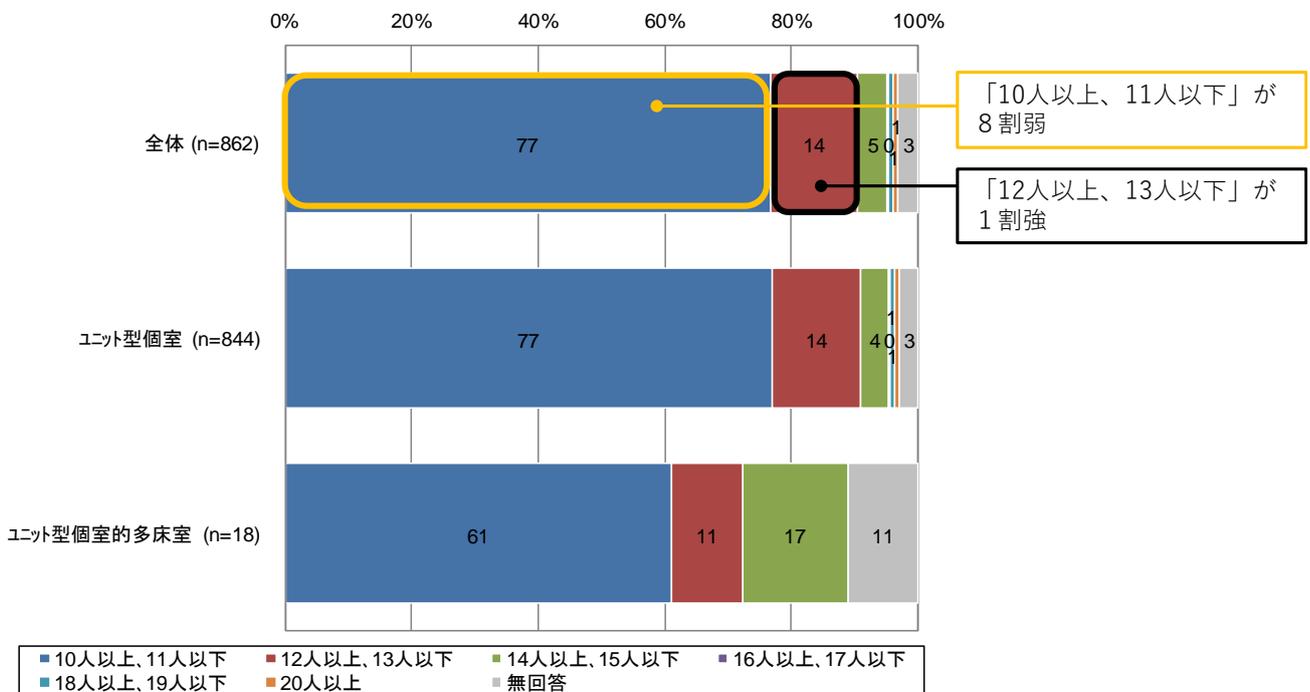
〔選択肢〕

(1つを選択してください)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 10人以上、11人以下 | 4. 16人以上、17人以下 |
| 2. 12人以上、13人以下 | 5. 18人以上、19人以下 |
| 3. 14人以上、15人以下 | 6. 20人以上 |

● 「10人以上、11人以下」が8割弱。「12人以上、13人以下」が1割強。

Q28 1ユニットの入所者数の上限として適切と考える人数範囲



問29 ユニットの夜勤職員について教えてください。

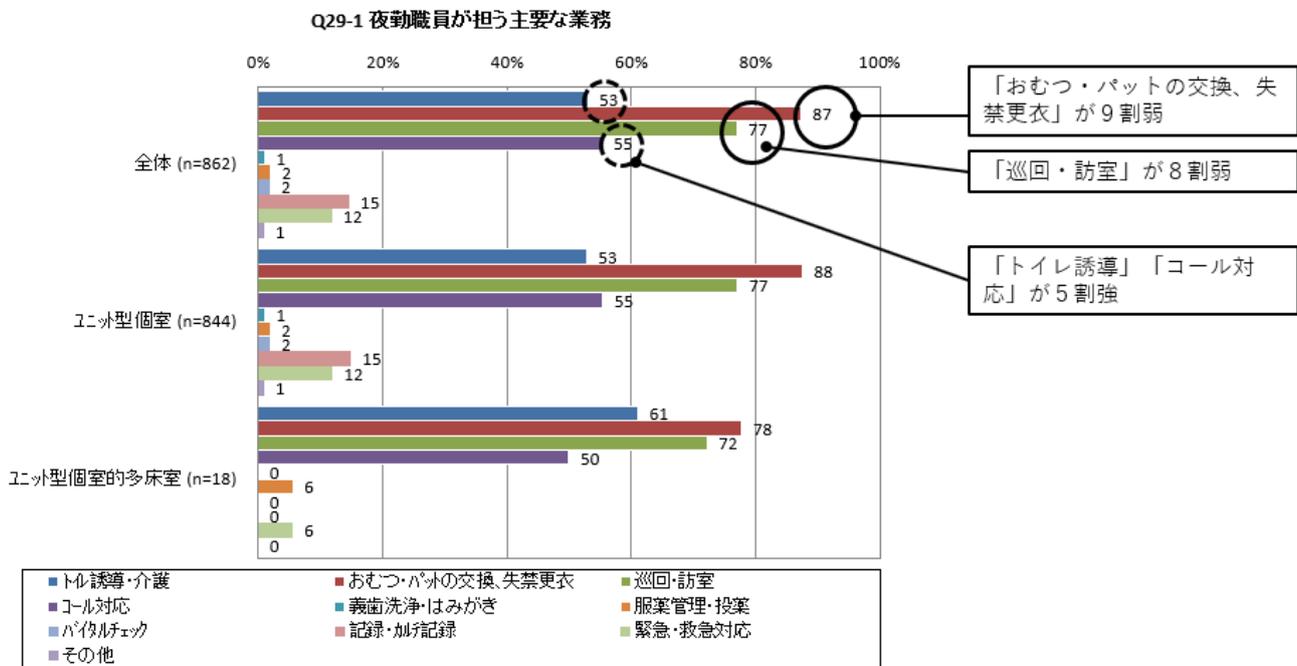
(1)夜勤職員が担う主要な業務について教えてください。(3つ選択してください)

[選択肢]

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. トイレ誘導・介護 | 6. 服薬管理・投薬 |
| 2. おむつ・パットの交換、失禁更衣 | 7. バイタルチェック |
| 3. 巡回・訪室 | 8. 記録・カルテ記録 |
| 4. コール対応 | 9. 緊急・救急対応 |
| 5. 義歯洗浄・はみがき | 10. その他 |



- 「おむつ・パットの交換、失禁更衣」が9割弱、「巡回・訪室」が8割弱。
- 「トイレ誘導・介護」「コール対応」が5割強。



(2)(1)で回答した業務について、職員の負担はどのように感じますか。(1つを選択してください)

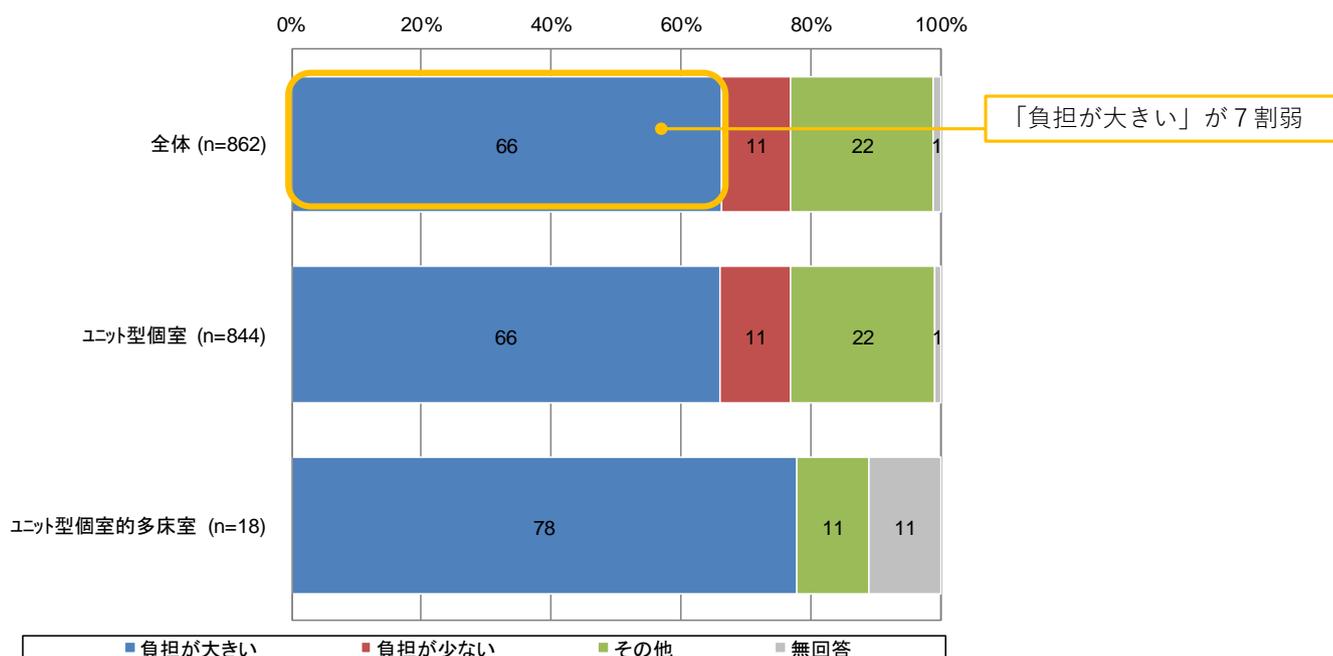
[選択肢]

- 1. 負担が大きい
- 2. 負担が少ない

3. その他

● 「負担が大きい」が7割弱。

Q29-2 職員の負担について



(3)ユニットでの夜勤職員の配置について、2ユニットごとに1人以上とされていますが、職員の負担の視点からどのように感じていますか。(あてはまるものすべてを選択してください)

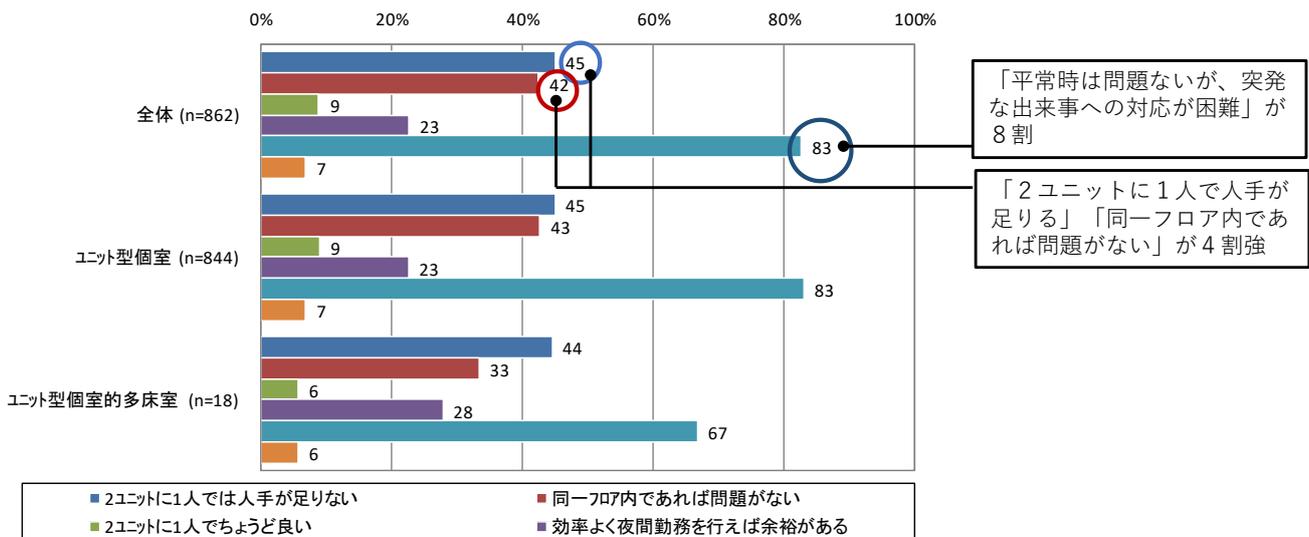
[選択肢]

1. 2ユニットに1人では人手が足りない
2. 同一フロア内であれば問題がない（異なるフロア間では難しい）
3. 同一フロアか否かにかかわらず、2ユニットに1人でちょうど良い
4. 見守りセンサー等のICT やインカムを活用しながら、効率よく夜間勤務を行えば余裕がある
5. 平常時は問題がないが、職員が少ないと、不安を感じる職員がいたり、突発的な出来事への対応が困難である
6. その他



- 「平常時は問題ないが、突発的な出来事への対応が困難」が8割。
- 「2ユニットに1人で人手が足りる」「同一フロア内であれば問題がない」は4割強。

Q29-3 夜勤職員の配置が2ユニットごとに1人以上とされていることについて



9. 多床室の特徴等についてお聞きします

☞ 1 (1) で「3. 多床室」または「4. 多床室 (準ユニットケア加算)」を回答された方、ご回答ください

問30 多床室ならではの特徴や問題・課題等について、教えてください。

(1) 多床室ならではの特徴や問題・課題について、教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

<入所者・家族の視点>

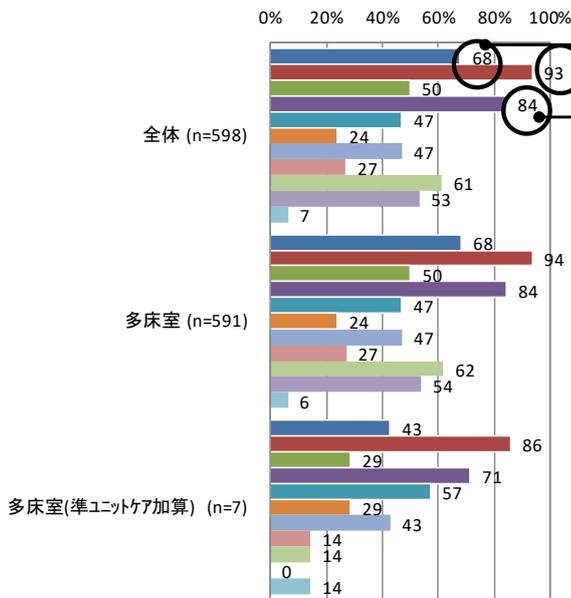
1. 多床室は、複数の入所者が同じ居室で生活するため、入所者同士のコミュニケーションをとりやすく、入所者が孤独に陥るリスクが少ない。
2. 多床室では、利用料がユニット型個室よりは安価で、経済的な負担にはなりづらい。
3. 多床室は、複数の入所者の目があるため、転倒等の事故の早期発見ができ、個室より、入所者の安心・安全を確保することができる。
4. 多床室では、複数の入所者と同じ居室で生活するため、個室と比べ、他の入所者の光や音や臭いの漏れが気になり、プライバシーの確保が難しい。
5. 多床室でも家具の配置やベッドの配置によりプライバシーを確保することが可能。
6. 多床室では、ユニット型のようにユニット単位での生活を必ずしも求められるわけでもないので、利用者の自由が効きやすい。
7. 多床室では、個室と比べ、ベッド周りに私物の持ち込みが制限されるため、入所者は自分らしい生活空間をつくるのが難しい。
8. 多床室では、複数の職員が分業して介護をするため、入所者は自分の好みやニーズに応じたケアを受けるのが難しい。
9. 施設内でグループ・エリア分けや入所者ごとに担当者をつけるなど、入所者のニーズに対応したケアを実践している。
10. 多床室は、複数の入所者が共同生活を営むため、起床、喫食、就寝等、入所者個人のリズムに合わせた生活をするのが難しい。
11. その他

<職員・施設の視点>

1. 多床室は、複数の職員が役割分担して介護できるため、職員同士の情報や悩みを共有しやすい。
2. 多床室は、個室と比べ、職員の目が行き届きやすく、入所者の事故発生リスクが少ない。
3. 多床室は、職員は施設やフロア単位で複数の入所者を担当するため、入所者個人の状況等を把握しにくく、画一的なケアに陥りやすい。
4. 多床室は、個室と比べ、施設内の空間の区切りが少ないため、感染症が発症した場合、施設全体に拡散しやすい。
5. 多床室でも、感染症の発生したときの入所者の適切な処遇 (個室への移動)により、個室と比較しても、特に感染症などが広がりやすいとは思わない。
6. その他

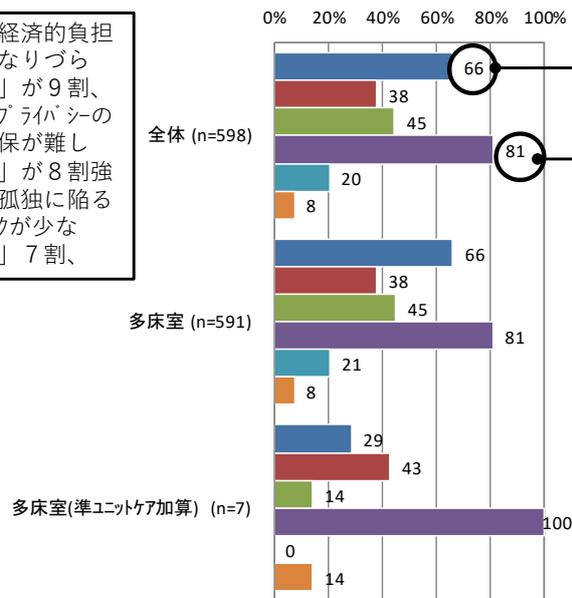
- <入所者・家族の視点>では、「経済的負担になりづらい」が9割、「プライバシー確保が難しい」が8割強。「コミュニケーションを取れ、孤独に陥るリスクが少ない」が7割弱。
- <職員・施設の視点>では、「感染症が発症した場合、施設全体に拡散」が8割、「職員同士の情報や悩みを共有しやすい」が7割弱。

Q30-1-1 多床室ならではの特徴や問題・課題_入所者・家族の視点



「経済的負担になりづらい」が9割、「プライバシーの確保が難しい」が8割強、「孤独に陥るリスクが少ない」7割、

Q30-1-2 多床室ならではの特徴や問題・課題_職員・施設の視点



「感染症が施設全体に拡散」が8割、「職員同士の情報や悩みを共有しやすい」7割、

- 入所者が孤独に陥るリスクが少ない
- 経済的負担にはなりづらい
- 複数の入所者の目があるため、個室より安心・安全を確保できる
- 他の入所者が気になり、プライバシーの確保が難しい
- 家具やベッドの配置によりプライバシーを確保することが可能
- ユニット単位での生活ではないので、利用者の自由が効きやすい
- 個室と比べ、自分らしい生活空間をつくるのが難しい
- 自分の好みやニーズに応じたケアを受けるのが難しい
- 入所者のニーズに対応したケアを実践している
- 入所者個人のリズムに合わせた生活をするのが難しい
- その他

- 職員同士の情報や悩みを共有しやすい
- 職員の目が行き届きやすく、事故発生リスクが少ない
- 複数の入所者を担当するため、画一的なケアに陥りやすい
- 感染症が発症した場合、施設全体に拡散しやすい
- 適切な処遇により、特に感染症などが広がりやすいとは思わない
- その他

(2)大規模修繕や建て替えなどを実施する際に、ユニット型に改修・移行する予定について教えてください。
 (1つを選択してください)

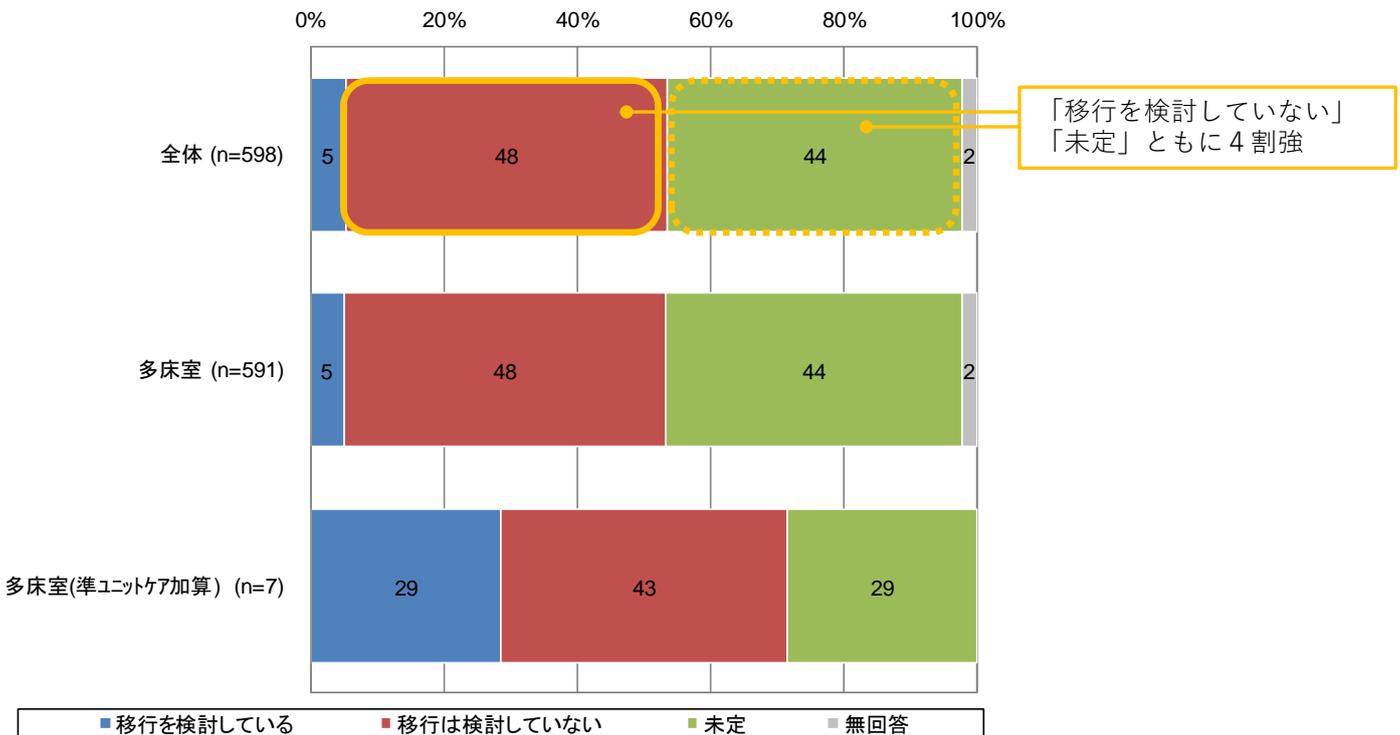
〔選択肢〕

- | | |
|---------------|-------|
| 1. 移行を検討している | 3. 未定 |
| 2. 移行は検討していない | |



● 「移行を検討していない」「未定」ともに4割強。

Q30-2 ユニット型に改修・移行する予定



問30(2)で「1. 移行を検討している」を回答した方に伺います。

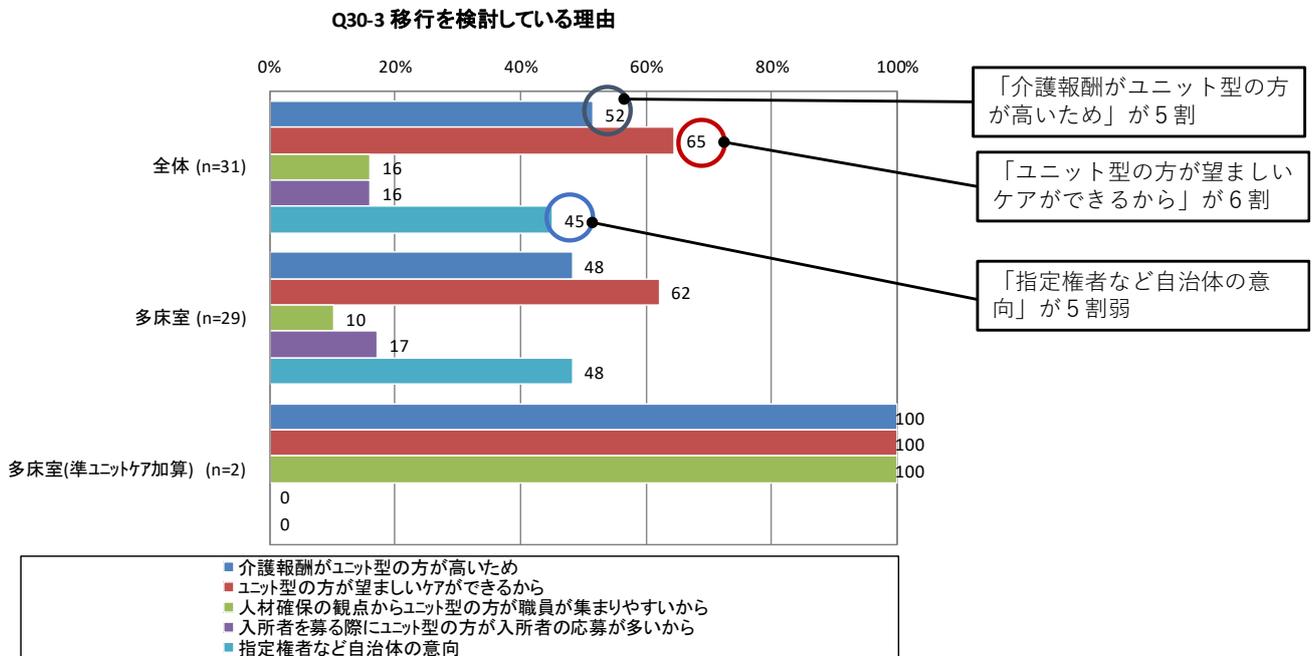
(3)理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

[選択肢]

1. 介護報酬がユニット型の方が高いため
2. ユニット型の方が望ましいケアができるから
3. 人材確保の観点からユニット型の方が職員が集まりやすいから。
4. 入所者を募る際にユニット型の方が入所者の応募が多いから。
5. 指定権者など自治体の意向



●「ユニット型の方が望ましいケアができるから」が6割、「介護報酬がユニット型の方が高いため」「指定権者など自治体の意向」が5割程度。



問30(2)で「2. 移行は検討していない」を回答した方に伺います。

(4)理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

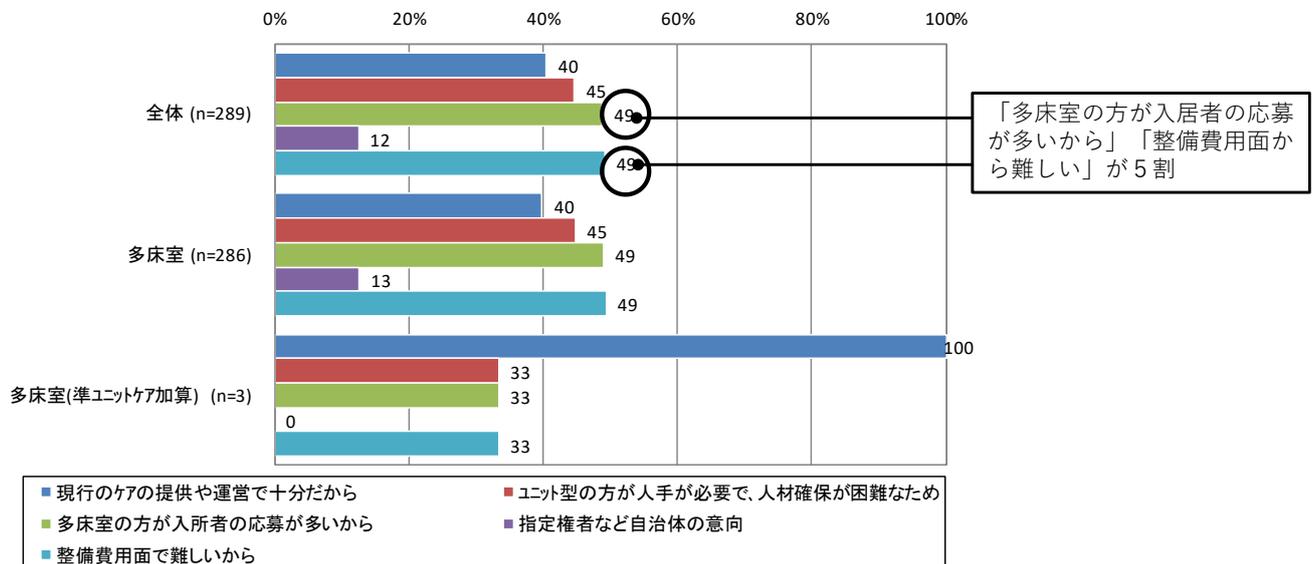
[選択肢]

1. 現行のケアの提供や運営で十分だから
2. ユニット型の方が人手が必要であり、人材確保に困難を感じるため
3. 多床室の方が入所者の応募が多いから
4. 指定権者など自治体の意向
5. 整備費用面で難しいから



- 「多床室の方が入所者の応募が多いから」「整備費用面で難しい」がともに5割。
- 「ユニット型の方が人手が必要で、人材確保に困難」が5割弱。

Q30-4 移行を検討していない理由



第2章 事業者へのヒアリング調査分析

1. 調査概要

- アンケート調査項目の作成にあたり、ユニット型個室を運営する事業者へのヒアリングを行った。特に多床室型施設の比較する視点を重視し、主に次の内容について把握した。

テーマ	主なヒアリング項目
(1) 個別ケアを実施するための工夫	<ul style="list-style-type: none">①入所者個人の生活リズムを尊重したケアの実践のための工夫<ul style="list-style-type: none">●入所者の生活リズムの情報整理・把握方法●起床支援の内容●食事介護の内容●入浴介護の内容②入所者の自分らしさ（好み）を尊重したケアの実践のための工夫<ul style="list-style-type: none">●居室に自分の持ち物の持ち込みの取組●自宅で使用していた食器の持ち込みの取組③入所者本位のケアを実践するための工夫<ul style="list-style-type: none">●居室のドアの開け閉め●汚物の処理内容
(2) ユニット型施設の特徴	<ul style="list-style-type: none">●ユニット単位のコミュニティ活動・特徴●従来型施設と比べたユニット型施設の優位性●1ユニットの適正規模●ユニット型施設の利点●ユニット型施設の問題・課題

- 調査対象は、ユニット型個室の特別養護老人ホームを運営する事業者で、特に同じ法人内で多床室型施設を運営する事業者、あるいは同じ施設内でユニット型個室と多床室が混在する施設を運営する事業者に依頼した。

2. 調査結果(抜粋)

ヒアリング調査の結果、特にアンケート調査の項目の作成にあたり参考になった項目の結果について抜粋整理した。

(1)個別ケアを実施するための工夫

①入所者個人の生活リズムを尊重したケアの実践のための工夫

●入所者の生活リズムの情報整理・把握方法

- ・ 把握方法は、入所者の介護情報に偏らないように、入所者の生活に携わる多職種が情報を集め、作成する等工夫等、施設により様々異なる。

施設A	<p>○入所者は基本的に介護度が高い。入所者によってできる生活動作は異なる。今できる生活動作をいかに長く継続してもらえるようにすることが一番重要なこと。そのためには、入所者の生活リズムを尊重することが大切。</p> <p>○入所者の基本的な生活リズムは、「24時間シート」を作成し、記録。半年ごとに更新。入所者の生活全般を把握するため、居室相談者、他の職員、ケアマネ、看護師、中間管理職等、入所者の生活にかかわる人すべてが作成に携わる。</p> <p>○日常的な生活の情報は職員が入所者とのコミュニケーションの中で把握する。入浴時が40分ぐらい、マンツーマンになるため、入所者の生活状況や欲求を把握するための貴重な時間となる。</p>
施設B	<p>○多入所者の基本的な生活リズムは、ケアプランをベースに入所者の生活に携わる多職種で記録し、情報共有している。</p>
施設C	<p>○入所前、本人や家族から入所者の趣味や志向、生活リズムを聞き取りする。入所後、3か月に1度定期的にケアプランを見直す際、入所後の生活変化や要望を聞き入れ、職員間で情報共有する。</p>

●起床支援の内容

- ・ 入所者の生活リズムに併せ、起床時間を柔軟にする施設が多い。
- ・ 職員が不足する時間帯のため、機器を活用し、起床支援を行う施設もある。

施設A	<p>○起床時間だけでなく就寝時間も入所者によって異なる。施設で消灯時間等を決めると入所者の生活リズムが乱れる。排泄等のリズムにも影響する。本人の健康状態をよくするためにも無理に施設のリズムを押し付けない。</p>
施設C	<p>○基本入所者の生活リズムに合わせている。</p>
施設E	<p>○生活リズムを把握するため、機器「ねむりスキャン」を活用。早番の職員は「ねむりスキャン」で起床している入所者から声掛けする。入所者個人の生活リズムを把握できる。</p>

●食事介護の内容

- ・ 喫食時間は基本決めているが、特に朝食は、入所者の生活リズムに柔軟に合わせ、食事支援を行う施設が多い。施設全体の厨房とは別に共同生活室のキッチンを活用し、ご飯やみそ汁等を温める等して、入所者の生活リズムにあわせている。
- ・ 従来型施設では、施設単位で食堂を設ける場合は、個別の入所者に対応する食事支援は難しいという認識を持つ事業者もいる。

施設A	<p>○朝食、昼食、夕食も時間帯は人により異なる。配食の都合上、朝8時、昼12時、夕18時を決めている。また衛生面から調理後2時間以内で喫食を求め、無理に施設の都合の喫食リズムにはあわせない。喫食を希望しない入所者の分は、配食時点で共同生活室のキッチンで真空パックに入れ冷凍保存。喫食を希望する時間に解凍している。</p>
施設B	<p>○食事は委託業者が施設内の厨房で調理。共同生活室のキッチンでは盛り付けやみそ汁づくりを行う。食事の時間（午前8時～10時）は幅を持たせ、希望する時間に食事介助する。施設単位の食堂を稼働させてはこうした柔軟な対応をするとロスがでるため、従来型ではこうした対応はできない。</p>
施設C	<p>○食事の時間帯は決めている。ユニット担当職員が入所者と一緒に食事を取り、コミュニケーションをとる。こうした食事形式は、ユニット型施設ならの特徴である。</p> <p>○調理もユニット単位でするため、施設で決めた時間に縛られず喫食できる。共同生活室のキッチンではご飯とみそ汁をつくるが、おかずはクックチルなため、必要な時におかずを温めて食事提供ができる。</p> <p>○ユニット毎に冷蔵庫があるため、少人数で冷蔵庫を共同利用できる。好きな食べ物を冷蔵庫に名前を書いて保管。</p>
施設D	<p>○食事の時間は自由ではない。朝は8時、昼は11時半、夜は17時半。配膳から2時間で勝たずけるルールであり、その間は自由に食べてもらう。</p>
施設E	<p>○朝食は7時～8時で配膳から2時間以内で食べてもらうようにしている。昼食、夕食も同様だが、朝食が一番生活リズムの違いが反映する。</p>
施設F	<p>○食事は配膳後2時間以内で食べてもらう仕組み。</p>

●入浴介護の内容

- ・居室から浴室への誘導、入浴介護までマンツーマンでやれることが、従来型施設と比べたユニット型施設の特徴と認識する事業者が多いが、職員不足から、入浴時間の制約、マンツーマンで対応していない施設も少なくない。

施設A	<p>○入浴介護はマンツーマン。職員がユニットから浴室に移動させ、入浴介護する。重度な人はもう1名職員をつけて入浴介護。</p> <p>○入浴時間は、職員と入所者の重要なコミュニケーションの時間である。</p>
施設B	<p>○風呂は、ユニット単位で個浴・リフト、フロア単位で機械浴を配置。</p> <p>○従来型施設では、入浴介護は流れ作業的になるが、ユニットケアはマンツーマン。ユニットケアの入浴介護は、入所者の好みに合わせた湯加減の調整もできるし、同性の職員の入浴介護や入浴のスケジュールにこだわる入所者への対応(入浴の曜日と時間を指定する入所者)等、きめ細かくできる。入所者の好みに合わせて入浴時間も調整できる(通常は45分程度だが、中には長湯が嫌いで15分程度ですませる人もいる)。従来型施設の入浴介護ではこうした対応はできない。</p>
施設C	<p>○入浴介護は1職員が入浴の入所者1人につききりになるため、常駐職員が1名配置になる時間帯等は断っている。施設として、非常勤職員が入る10～15時の時間帯で入浴をお願いしている。</p>
施設E	<p>○週2回入浴機械を設けている。開設当初は、入浴は同じユニットの職員が入浴介護していたが、現在は、従来型施設のように分業で入浴介護を実施。入所者が重度化し、機械浴のニーズが高まったことが要因。</p>
施設G	<p>○ユニットの職員が入浴支援をマンツーマンで実施。もう一人職員を配置し、主に移乗支援を行う。</p>

② 入所者の自分らしさ(好み)を尊重したケアの実践のための工夫

●居室に自分の持ち物の持ち込みの取組

- ・ 自室に自宅の私物の持ち込みを勧めている施設が多い。単に施設での生活の中に自分らしさを確保するだけでなく、入所による認知症の進行等のリロケーションショックの緩和等を見込み取り組んでいる。

施設A	<p>○居室で施設側が用意するものは、ベットとテーブルだけ、その他は家族に用意してもらう。入所者や家族に、居室には、入所者の自宅で使用していたものをなるべく持ち込んでもらうことをお願いしている。施設に入所し環境が変わることが入所者へのリスクが高い。視覚的にも臭覚的にも自宅に近い環境を整えることが重要。特に認知症の方には重要である。他の施設では、入所前に、自宅に訪問し入所者の居室の写真を撮り、飾りや部屋の雰囲気は自宅と同じように再現するとこともある。</p> <p>○居室が自宅に近い雰囲気だと、感覚的に家族も滞在しやすくなる。居室に家族が折り畳みベットで泊まることも多い。</p> <p>○火気厳禁だが、インコを飼う入所者もいた。</p>
施設B	<p>○家族に持ち込みをお願いしている。特養に入所する人は病院から移り住みの人も多い。病院では私物の持ち込みは制限されているため、私物の持ち込みを喜ぶ入所者は多い。</p> <p>○居室への私物の持ち込みは、施設入所の際の環境変化による認知症予防が大きい。また、認知症対応まででなくても、自宅で暮らしてきた入所者が、施設の集団生活を送ることになると入所者の緊張感が生じる。せめて居室はリラックスできる個人の空間を確保させてあげたい。多床型施設は、完全な集団生活であるため、入所者のストレスも大きい。</p> <p>○居室では、自宅での移乗環境の再現にも配慮。ベットの位置、車いすの位置、テレビの位置等、これらが変わると入所者が混乱し、緊張感が生じる。</p>
施設C	<p>○施設に自分の持ち物を持ち込んでもらうのは基本対応している。自室の家具で、施設側が用意するのは、ベットのみ。元々自宅で使用していた家具を持ち込むことがあれば、病院から転移してくる人も多いため、病院で使用していたもの、入所を機会に新たに購入してもらうもの等様々。タンスは基本用意してもらう。</p>
施設D	<p>○施設側で用意するものはベットとカーテンのみ、その他は入所者に用意してもらう。洋服ダンス、仏壇等入所者により様々異なる。</p>
施設E	<p>○自室で施設側が用意するものは、ベット、備え付きクローク、ウォシュレット、洗面台</p>
施設F	<p>○居室の個人のものを持ち込みは大丈夫。仏壇や遺影を持ってくる人もいる。</p>
施設G	<p>○居室にはなるべく自宅のものを持ち込んでもらうようにしている。理由は入所者の従前の生活の継承だが、一番大きな理由は自宅から施設へ入所した際のリロケーションダメージの軽減。ユニット型と従来型を比べると、従来型は病院みたいな間取りのためリロケーションダメージは大きいと思う。</p>

●自宅で使用していた食器の持ち込みの取組

- ・ 自室への私物の持ち込みと同様に、共同生活室への自宅の食器の持ち込みを勧めている施設も多い。しかし、破損や紛失等リスクによる職員の負担から、積極的な持ち込みを受け付けていない施設が多い。

施設A	○共同生活室にも自宅で使用している食器を用意してもらう。普段使い慣れている食器や箸を使用することで、これまでの生活動作が維持できる。使い慣れない食器を使うと、今までできたことができなくなることがある。
施設B	○食器の持ち込みもお願いしている。中にはすべての食器を私物でそろえる人もいる。食器も集団生活へのストレス解消効果がある。
施設C	○個人の食器やコップに名前を書き、共用生活室の台所の食器棚で管理している。こうした私物を持ち込めることは従来型施設では規模が大きすぎる。ユニットの規模感に適している。
施設D	○食器や湯呑は、持ち込んでも大丈夫にしている。ただし食器の持ち込みは、割ってしまったり、紛失したりするので、職員の負担が大きい。また、食器を愛着もって持ちこむ人は少ない。食器は基本的に施設側で用意している。
施設E	○入所者がお茶碗、湯呑を持ち込むことは対応している。ただし「持ってきてください」ではなく「持ってきててもよい」という言い方にしている。要介護認定が高くなり、そこまで自分のものにこだわる人は少ない。配膳は大皿のものを食べることはない。厨房でつくった小分けにして食事介助をする。食べ物の持ち込みは基本自由。
施設F	○入所者の茶碗や湯呑等の持ち込みは受付しているが、陶器で割れてしまったリスクがあるため、あまり積極的には受け入れていない。

③ 入所者本位のケアの実践のための工夫

●居室のドアの開け閉め

- ・ 基本的に居室のドアは占めるが、入所者の状態に応じて、入所者や家族の意向を確認し、見守りや事故防止のため、ドアを開け放しにしている施設が多い。

施設A	○居室のドアは介護者の都合で開けたままにすることはない。しかし入所者によって、開けておいてほしい人と閉めておいてほしい人の好みがわかる。入所者個人の意向を確認し、「24時間シート」に「ドアの開け閉めの入所者の要望」と「理由」を明記し、関係職員に情報共有することが基本。
施設B	○居室のドアは基本閉める。ただし、転倒リスクの高い状態の入所者や見守りが必要な入所者の居室は、入所者の理解を得て、ドアを開けている。プライバシーを守るため、入口に防災用の暖簾をさげる等、工夫している。
施設D	○居室にドアは開けっ放しにしないように心掛けているが、寂しいため開けておいてほしい人もいる。自室で転倒事故のリスクを考え、家族から開けたままにしてほしい要望もあり、本人の了解を得て日中は開けっ放しにする。いずれにしても本人の要望の確認はしている。
施設F	○転倒など自室内の事故が心配な入所者の居室は、ドアを開けっぱなしにしている。

●汚物の処理内容

- ・多床型施設では定期的に汚物を改修する形式をとる施設が多いのに対して、ヒアリングした施設では、入所者の生活リズムに合わせて定期的に処理している。その際、入所者のプライバシーに配慮し、トートバックやエコバックに入れて搬出する。

施設A	○多床室型施設は、定期的に汚物を回収するため、台車が巡回する形式をとる施設が多いが、入所者によって排泄のタイミングは異なる。ユニット型施設である当該施設では、入所者毎のリズムに合わせて、汚物を運び出している。おむつ等本人にとって恥ずかしいものはトイレの棚におき、汚物を都度エコバックに入れて運び出している。
施設B	○多床施設型施設では、定期的に汚物排出の運搬車が巡回し、汚物を集めて排出する施設が多い。当該施設では、入所者の排せつのタイミングにあわせて、トートバックに入れ持ち出しをしている。ユニットケアは従来型施設では人員配置の考え方が異なるため、ユニットケアで入所者の排泄の行動パターンがみえ、排泄介助ができる。物理的に従来型施設とユニット型施設を比べると、ユニット型施設の方が、圧倒的に職員が排泄介助を行っている回数が多いと思う。
施設C	○ユニット内での汚物の処理は、入所者のプライバシーに配慮してトートバックで運びだしをしている。職員に共有している。
施設D	○汚物はトートバックで他の入所者の目線を気にして対応している。
施設E	○汚物はお洒落なバケツを居室内に配置。汚物をそのまま片づけたり、バックで汚物を処理している。
施設F	○リビングを通して汚物等を持ち出す際は必ずトートバックを活用して周辺の目線を気にする

(2) ユニット型施設の特徴

●ユニット単位のコミュニティの活動

- ・ いずれの施設とも、施設全体のイベントとは別にユニット単位でイベントを開催。少人数であるため、参加者が主体的になれ、家族も参加しやすいメリットがある。ただし同じユニット内に色々な健康状態の入所者がいるため、調整が難しいこと、ユニットリーダーによりイベントの開催が異なるため、ユニット間でバランスが異なる。

施設A	<ul style="list-style-type: none"> ○施設全体で行うイベントとは別に、ユニット単位のイベントがある。例えば、敬老の日のイベントは、ユニット毎で異なる。寿司の出前をとったり、家族が天ぷらをあげたり様々。 ○施設全体で行うと比べ、ユニット単位の数世帯単位で行うイベントの方が家族は参加しやすい。 ○ただし、ユニット毎で交流活動の格差が生じやすいが、施設全体でうまくチェックしながら誘導。
施設B	<ul style="list-style-type: none"> ○施設単位のイベントと異なり、ユニット単位のイベントは各入所者に要望を聞き入れることができる。 ○ユニット毎のイベントはバランスをとるのが難しい。同じユニットでも入所者の健康状態が異なる。固形食が大丈夫な人、流動食でなくてはだめな人がいる。
施設C	<ul style="list-style-type: none"> ○施設全体のイベントとは別に、ユニット単位のイベントを実施。イベントの内容は、各ユニットのユニットリーダーの裁量にゆだねている。
施設D	<ul style="list-style-type: none"> ○2ユニットで合同イベントをやることもある。フロア単位のイベント等もある。 ○ユニットリーダーの特徴の違いで、ユニットのイベントの開催状況は一律でない。
施設E	<ul style="list-style-type: none"> ○2ユニット単位でイベントを開催。イベントは年間計画を立てて実施。
施設F	<ul style="list-style-type: none"> ○お誕生日会は1か月単位の誕生会なく、誰の誕生日会ができる。参加者の主体的になれるのがユニット単位のイベントの良さ。

●従来型施設とユニット型施設の移動距離の相違

- ・ 従来型施設と比べ、ユニット型施設の方が職員の移動距離の負担軽減が大きいという回答が多い。しかし、ユニット型施設は、個室になるため、職員の入所者の見守りの負担が大きいと、移動距離の違いが単純に職員の負担軽減効果があるとはいえない。

施設A	<ul style="list-style-type: none"> ○従来型施設とユニット型施設を比べると、ユニット型施設の方が職員の移動距離は短い。かつて高齢の非常勤の介護職員も従事していた。ユニット型施設なため移動負担を軽減できたと思う。 ○建物が、ユニット型施設は自宅つぼいため、職員はスリッパで勤務。従来型施設だとスニーカーを着用して介助するため、腰を痛める職員が多い。
施設B	<ul style="list-style-type: none"> ○従来型施設は、職員の移動距離が長くなり、ユニット型施設は、ユニット単位で完結するため、移動距離は短い。しかしユニット型施設は居室という個人空間が組み合わせられるため、職員の見守りの負担は大きい。職員の負担を考えると、単純に移動距離の違いだけでは判断できない。
施設C	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニット型施設の方が職員の移動負担は軽減できる。
施設D	<ul style="list-style-type: none"> ○法人で従来型施設も運営している。従来型施設とユニット型施設で明確に職員の移動距離を比較していないが、感覚的にユニット型施設の方が短縮できているといえる。例えば職員が記録する際、従来型施設では施設の中央のステーションまで移動しなくては行けないが、基本ユニット単位で完結しているため、記録もユニット単位で完結できる。

●1ユニットの適正規模

- 施設により様々だが、ヒアリング事業者は1ユニット10名では多いという回答が多い。

施設A	○職員負担か10名が限界。 ○入所者からみても10名は妥当。10名よりも少ないと人間関係が密になりすぎる。
施設B	○入所者の視点で言えば、施設全体で介護度4、5の人が多く、近所づきあいが少なく、人数はあまり関係ないと思う。
施設C	○職員のキャパの視点から言えば、入所者数は8名が適正規模。10名は多い。 ○利用者側から見た場合、適正人数は特に考えられない。ユニット内の共用生活室スペース等の空間をうまく活用すればユニット単位の利用者の規模はあまり関係ない。
施設D	○1ユニットのキャパは職員側からみると8名程度が適当。職員の欠勤が出た際、異なるユニットから職員を調達しなくてはいけない。そのリスクを考えると、1ユニット10名は多すぎる。
施設E	○職員の立場から10名は多すぎる。職員配置は3:1以上になると職員が不安になる。 ○利用者からみると、2テーブルで座れる範囲の現状の7名程度が望ましい。
施設F	○職員の視点からすると1ユニット10名は多い。昼間は良いが夜間が大変。夜間要介護3以上の入所者20名みるとなると職員の負担が大変。

●ユニット型施設の利点

- 施設に個室であるため、プライバシーの確保がしやすいこと、感染症が広がりにくい利点をあげる事業者が多い。

施設A	○多床室型施設は人間関係が密である。ユニット型施設は、居室の「個人空間」と共同生活室の「集団生活空間」があり、入所者は他の入所者との距離のバランスをとることができる。 ○入所者の中にはユニット型施設となじめない人もいるが、個人空間と集団生活空間をうまく使い分け、生活できる。
施設B	○ユニット型施設は、居室であることが重要。多床室型施設では、消灯時間が定められている施設が多い。消灯後は他の入所者の邪魔にならないようにベッドで過ごさなくてはならない。 ○居室であることは他の入所者の音(テレビやラジオ)、排せつの臭いも気にならない。エアコンの室温の調整も多床室の場合、入所者同士でトラブルになることがある。
	○感染症が発症した際、発症したユニットを周辺から隔離させることで、感染症の広がりを防ぐことができる。
施設D	○従来型施設と比べ、ユニット型施設の方が感染症は広がりにくい。
施設F	○ユニット型施設の方が感染症対応に優れている。ユニット単位で面会遮断にすることで、感染症は広がらない。

●ユニット型施設の問題・課題

- ・ ユニット型施設の問題・課題は、職員の負担が大きいこと。多床室型施設では職員が分業し、情報共有できるが、ユニット型施設は、ユニット単位で職員配置がされるため、職員の負担が大きいことを多くの事業者が指摘する。また個室であり死角が生じやすいことも課題にあげられる。

施設C	○ユニット型施設は職員の負担が大きい。入所者の介助をするだけでなく、色々な雑務もある。近年機器が導入されたことで、職員の負担の軽減の根本的な解消にはなりにくい。
施設E	○ユニット型施設は、ユニット単位で職員配置を考えなくてはならないため、従来型施設のように職員配置に融通がきかない。 ○多床型施設は、他の職員と連携がとれるが、ユニット型施設の職員は孤独に陥りやすい。 ○ユニット型施設は、個室であるため、職員の芽が行き届きにくい。職員が1居室に入り、入所者の介助をすると、他の居室の入所者に目が届かない。死角が生じやすい。 ○家族からも同様な心配ごとを相談された。家族がユニットを訪れた時、職員が個室に入る介助している際、家族から職員が死角になり、ユニットに本当に職員が配置されているのか質問された。
施設F	○ユニット型施設のデメリットは他のユニットの情報が入ってこない。 ○職員の負担が大きい。従来型施設は分業しながら職員が配置され、他の職員との交流を持てる。しかしユニット型施設では、1ユニットを任される。そのため、職員は不安に陥る。

3. 分析

アンケート調査、ヒアリング調査より、多床室と比べたユニット個室型の施設の特徴等について整理・分析した。

●職員の人員配置等

- ・「ユニット型個室」では、多床室と比べ、人員配置が手厚い傾向がみられ、1職員が業務で関わる入所者の平均人数（夜勤職員を含む）も少ない傾向がみられる。このことはユニット型個室の職員配置はユニット単位で考えられている特性が現れていると考えられる。

＊ユニット型個室は、1人の職員が業務で関わる入所者の平均人数は1ユニットの入所者数程度。夜勤職員が1人あたり担当する入所者の平均人数は2ユニットの入所者数程度。

●設備関連

- ・「ユニット型個室」では、浴室（個浴）、汚水処理室、トイレは、エリアやユニット単位で設置される。
- ・「多床室型」では、施設やフロア単位で設置される傾向がある。
- ・このことは入所者や職員配置の考え方がユニットで考えられている特徴に影響されると考えられる。

●日常生活の取組関連

○起床・就寝時間

- ・「ユニット型個室」では、起床時間、就寝時間は入所者個人のリズムに合わせているケースが多い。
- ・一方、「多床室型」では、施設全体で時間を決めているケースが多い。
- ・このことは個室であるか否やの要因が大きく、個室ではプライベートを確保しやすい特徴があるといえる。

○喫食時間

- ・「ユニット型個室」では、配食時間を決めているが、配食後2時間以内を喫食時間とするケースが多い。
- ・「多床室型」では、喫食時間は施設全体で決めているケースが多い。
- ・このことは、「ユニット型個室」に特徴的に設置される共用キッチンとの関係があるといえる。調理は建物内に施設全体の調理を行う厨房で調理するが、共用キッチンではご飯や味噌汁の調理、搬入されたおかずの温め等を行い、入所者の喫食時間に幅を持たせるひとつの要因にあげられる。

○自宅で使用している食器等の持ち込みについて

- ・「ユニット型個室」では、自宅内で使用している食器等の持ち込みを勧める施設が多い。自宅内で使用する食器等の持ち込みを勧める施設の理由は、入所者の安心感の確保、食べる動作の維持を目的とする。
- ・「多床室型」では、制限・禁止している施設が多い。持ち込みを制限・禁止する施設の理由は、破損紛失等の事故リスクをあげている。
- ・このことは、職員体制もあるが、ユニット型施設のユニット単位での共同生活室の規模感も影響すると考えられる。

○入浴介護

- ・「ユニット型個室」では、入浴介護はエリア・ユニット単位スケジュールを組み行われる施設が多い。また「ユニット型個室」では、職員がマンツーマンで入浴介護するケースが多い。マンツーマンで入浴介護を行う理由は、入所者の身体の特徴を把握する職員が行う方が安全を理由、入浴時間を通じて入所者の生活等の聞き取りができることを理由にする施設が多い。
- ・「多床室型」では、施設全体でスケジュールを組み行われる施設が多い。また「多床室型」では複数の職員で分業されるケースが多い。分業して入浴介護を行う理由は職員不足、スキルのある職員が行った方が安全であることを理由にあげる施設が多い。

○排泄介護

- ・「ユニット型個室」では、オムツの取り換えは入所者の排泄状況に応じて都度交換する施設が多い。使用済の排せつ用品は、ユニット型個室ではトートバックに入れ都度運び出す施設が多い。
- ・「多床室型」では、設やフロア単位で時間を決め交換する施設が多い。使用済の排せつ用品は、バケツに入れ定期的に回収する施設が多い。

○プライバシーの配所

- ・「ユニット型個室」では、自室への私物の持ち込みを勧める施設が多い。持ち込みを勧めている理由は、入所後の環境変化による入所者の認知症の症状の軽減等があげられる。
- ・「多床室型」では、持ち込みを制限する施設が多い。持ち込みを制限する理由は、入所者間のトラブル防止をあげている。
- ・このことはユニット型施設が個室であることが影響しているといえる。

○ユニット型個室の特徴

- ・入所者や家族にとって、プライバシーを確保しやすいこと、人の接触のバランスが取れること、自宅らしい生活空間づくりができること、自分のニーズに合ったケアを受けることができること等があげられる。
- ・職員にとっては、感染症の拡散を防ぐこと、職員が個々の要望をきめ細かく把握でき、入所者ニーズに応じたケアができること等があげられる。特にユニット型個室の特徴であるきめ細かな職員のケアと個室である空間特性によるものがあげられる。

○ユニット型個室の問題・課題

- ・ユニット内で死角が生じやすく、事故発生リスクがあること、職員のスキルの違いでユニット間でケアの格差が生じやすいこと等、ユニット型個室の特徴である個室である空間特性、ユニット単位の職員配置による問題課題があげられる。

参考資料

アンケート調査依頼文・調査票

令和元年12月16日

特別養護老人ホーム 担当者 様

令和元年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

特別養護老人ホームにおけるチームケアに関する調査研究事業

「特別養護老人ホームにおけるケアの取組状況等に関するアンケート」(依頼)

拝啓、時下益々御静祥のこととお慶び申し上げます。

令和元年厚生労働省老人保健健康増進等事業「特別養護老人ホームにおけるチームケアに関する調査研究事業」は、介護人材の不足の深刻化、入所者の要介護認定の上昇等、特別養護老人ホームを取り囲む環境の変化を踏まえた、今後の特別養護老人ホームにおけるケアの提供のあり方を検討することとしています。本アンケート調査は、調査の検討の基礎資料づくりとして、貴施設における職員配置や設備配置、ケアの取組内容や考えについて把握することを目的に実施するものです。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、貴施設の取組内容等の実態につきまして、添付の調査票にご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

- ・本アンケートへの回答は任意です。回答しないことによって不利益を被ることはございません。
- ・本調査で得た結果は、研究目的でとりまとめて公表しますが、個別回答について事業者名が特定されることのないようすべて統計的に処理を行います。また本調査で知り得た情報・結果を研究目的以外に利用することは一切いたしません。
- ・ご記入頂いた調査票は、添付の返信用封筒にてご返送ください。(切手不要)
誠に勝手ではございますが、令和2年1月14日(火)までに、ポストにご投函くださいます
ようお願い申し上げます。

<調査実施事業者・お問い合わせ先>

〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル 2階

株式会社 アルテップ 担当 柳瀬

TEL : 03-6804-2883 FAX : 03-3478-1081 (平日(月~金) : 10:00~18:00)

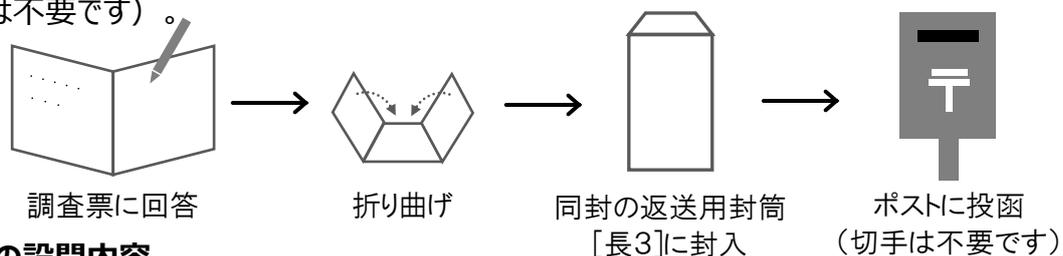
E-mail : tokuyou@artep.co.jp

<調査担当>

厚生労働省 老健局 高齢者支援課

○お願いしたいこと

- ・「調査票」へのご回答をお願い致します。
- ・回答されましたら、返送用封筒 [長 3]に封入し、令和2年1月14日(火)までにポストへ投函ください(切手は不要です)。



○アンケート調査の設問内容

お聞きしたい内容	主な設問項目	頁
1. 貴施設の概要についてお聞きします	施設類型／入所者属性（入所者数、平均要介護度、平均在所年数等）／職員配置／設備設置状況	1～
2. 貴施設での入所者本人や家族への意向確認についてお聞きします	意向確認している内容	3
3. 貴施設での日常生活の取組についてお聞きします	就寝関連／起床関連／食事関連／入浴関連／排泄関連等	3～
4. 貴施設での入所者のプライバシーに配慮した取組についてお聞きします	入所者の私物の持ち込むについて／居室の扉の開閉／家族の宿泊／扉の取扱／プライバシーを確保するための取組	7～
5. 貴施設で実施しているイベントやレクリエーション活動内容についてお聞きします	イベント・コミュニティ活動の開催状況／入所者の参加状況	8
6. 貴施設での日常的な職員間の情報共有の取組についてお聞きします	情報共有している職員の職種／情報共有の仕方／頻度	9
7. 貴施設の入所者の負担軽減を適用される入所者についてお聞きします	低額要件を満たし負担軽減を適用される入所者数／別途費用負担による個別サービスの利用	9
8. ユニット型個室の特徴等についてお聞きします。	ユニット型個室ならではの特徴・問題・課題／ユニットリーダーについて／入所要件が要介護3以上になったことによる影響／ユニットの適正人数	10～
9. 多床室の特徴についてお聞きします。	多床室ならではの特徴・問題・課題	15～
回答いただきました施設名、ご担当者の名前を記載してください		16

特別養護老人ホームにおけるケアの取組状況等に関するアンケート

<記入の仕方>

設問毎に、選択肢より該当する番号を「回答欄」に記入してください。

<例> (1) 貴施設の施設類型を教えてください。(1つを選択してください)

1. ユニット型個室	4. 多床室（準ユニットケア加算）
2. ユニット型個室的多床室	5. 従来型個室
3. 多床室	6. その他

→ 回答欄
2

1. 貴施設の概要についてお聞きます。

問1 貴施設の施設類型について教えてください。

(1) 貴施設の施設類型を教えてください。(1つを選択してください)

※同一敷地内に複数の事業所が併設されている場合、定員数が最も多い事業所について
ご回答ください。

※以降、特段の指定がない限り、本問で回答いただいた施設類型をもとにご回答ください。

1. ユニット型個室	4. 多床室（準ユニットケア加算）
2. ユニット型個室的多床室	5. 従来型個室
3. 多床室	6. その他

→ 回答欄

(2) (1) で「1. ユニット型個室」と回答された事業者にお尋ねします。多床室の状況について
教えてください。(1つを選択してください)

1. 同一敷地内に多床室を併設している	2. 同一敷地内に多床室を併設していない
---------------------	----------------------

→ 回答欄

問2 貴施設の入居者属性について教えてください。

(1) 施設全体の入所者数を教えてください。(1つを選択してください)

1. 29人以下	4. 51人以上、80人以下
2. 30人	5. 81人以上、99人以下
3. 31人以上、50人以下	6. 100人以上

→ 回答欄

(2) 問1(1) で「1. ユニット型個室」と回答された事業者にお尋ねします。1ユニットの入所者
人数を教えてください。(1つを選択してください)

1. 6人以下	4. 11人以上、13人以下
2. 7人以上、9人以下	5. 14人以上
3. 10人	

→ 回答欄

(3) 施設入所者全体の平均要介護度を教えてください。(1つを選択してください)

1. 3.0未満	4. 3.8以上、4.0未満
2. 3.0以上、3.5未満	5. 4.0以上、4.3未満
3. 3.5以上、3.8未満	6. 4.3以上

→ 回答欄

(4) 施設入所者の平均在所要年数を教えてください。(1つを選択してください)

1. 2.5年未満	4. 3.5年以上、4年未満
2. 2.5年以上、3年未満	5. 4年以上、4.5年未満
3. 3年以上、3.5年未満	6. 4.5年以上

→ 回答欄

問3 貴施設の職員配置について教えてください。

(1) 介護・看護職員の人員配置状況を教えてください。(1つを選択してください)

1. 1:1.6未満	5. 1:2.2以上、1:2.4未満
2. 1:1.6以上、1:1.8未満	6. 1:2.4以上、1:2.6未満
3. 1:1.8以上、1:2.0未満	7. 1:2.6以上、1:2.8未満
4. 1:2.0以上、1:2.2未満	8. 1:2.8以上

→ 回答欄

(2) 勤務時間帯(職員シフト)の種類を教えてください。(1つを選択してください)

1. 4種類(早・遅・日・夜)	4. 21種類以上
2. 5種類以上、10種類以内	5. その他
3. 20種類以内	

→ 回答欄

(3) 勤務時間帯の組み合わせの仕方を教えてください。(1つを選択してください)

1. 施設全体で調整し、組み合わせ	3. エリア・ユニット単位で調整し、組み合わせ
2. フロア単位で調整し、組み合わせ	4. その他

→ 回答欄

(4) 夜勤職員が1人あたり担当する入所者の平均人数を教えてください。(1つを選択してください)

1. 5人以上、10人未満	3. 15人以上、20人未満
2. 10人以上、15人未満	4. 20人以上

→ 回答欄

(5) 1人の職員が業務で関わる入所者の平均人数を教えてください。(1つを選択してください)

1. 5人以下	4. 11人以上、12人以下
2. 6人以上、8人以下	5. 13人以上
3. 9人以上、10人以下	

→ 回答欄

問4 貴施設の設備の設置状況について教えてください。

(1) 浴室(個浴)の設置状況を教えてください(1つを選択してください)

1. 施設に1箇所設置	3. エリア・ユニット単位に1箇所設置
2. フロア単位に1箇所設置	4. その他

→ 回答欄

(2) 汚物処理室の設置状況を教えてください(1つを選択してください)

1. 施設に1箇所を設置	3. エリア・ユニット単位に1箇所設置
2. フロア単位に1箇所を設置	4. その他

→ 回答欄

(3) トイレの設置状況を教えてください(1つを選択してください)

1. フロア単位でトイレを設置	3. 居室(個室)単位でトイレを配置
2. エリア・ユニット単位でトイレを設置	4. その他

→ 回答欄

(4) 施設内で利用者が共用できるものを教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 共用のキッチン | 4. コミュニティスペース (談話スペース) |
| 2. 共用の冷蔵庫 | 5. その他 |
| 3. テーブル、ソファ | |

回答欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(5) 日中のセキュリティ設備の設置状況について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 施設入口の施錠 | 4. エリア・ユニットの入り口扉の施錠 |
| 2. エレベーターの施錠 | 5. その他 |
| 3. 階段室の施錠 | |

回答欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. 貴施設での入所者本人や家族への意向確認についてお聞きします。

問5 入所時に入所者や家族に意向確認している内容について教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 生活習慣に関する要望 (就寝、起床、喫食時間等) |
| 2. 食事、排泄、入浴等の日常基本動作の介護に関する要望 |
| 3. 入所者の趣味・興味がある内容、それに応える趣味活動等に関する要望 |
| 4. 入所者の買い物、外出等の社会参加に関する要望 |
| 5. 看取り介護に関する要望 |
| 6. その他 |

回答欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. 貴施設での日常生活の取組についてお聞きします。

問6 就寝時間について教えてください。(1つを選択してください)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 施設全体で就寝時間を決めている |
| 2. エリア・ユニット単位で就寝時間を決めている |
| 3. 就寝時間は決めておらず、個人の生活リズムにあわせている |
| 4. その他 |

回答欄

<input type="checkbox"/>

問7 起床時間について教えてください。(1つを選択してください)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 施設全体で起床時間を決めている |
| 2. エリア・ユニット単位で起床時間を決めている |
| 3. 起床時間は決めておらず、個人の生活リズムにあわせている |
| 4. その他 |

回答欄

<input type="checkbox"/>

問8 食事（朝食・昼食・夕食）介護で取り組まれている内容について教えてください。

(1) 喫食時間について教えてください。（1つを選択してください）

- | | |
|---|-----------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設で喫食時間を決め、入所者全員で喫食してもらっている 2. 施設で配食時間を決めていますが、配食後2時間以内に入所者の好きな時間に喫食してもらっている 3. 施設で喫食時間を決めず、入所者の状態やリズムにあわせて、喫食してもらっている 4. その他 | 回答欄
→ <input type="checkbox"/> |
|---|-----------------------------------|

(2) 食事の調理方法について教えてください。（1つを選択してください）

- | | |
|---|-----------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 同じ建物内に施設全体の調理を行う厨房があり、そこで調理している 2. 同じ建物内のフロアやエリア・ユニット毎にキッチンがあり、そこで調理している 3. 外部で調理し、施設に運搬している 4. その他 | 回答欄
→ <input type="checkbox"/> |
|---|-----------------------------------|

(3) 問1(1)で「ユニット型個室」、問4(4)で「共用のキッチン」ありと回答された事業者にお尋ねします。ユニット内のキッチンで調理している内容を教えてください。（あてはまるものすべてを選択してください）

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ご飯・味噌汁の調理 2. おかずの調理 3. 搬入されたおかずの温め、盛り付け 4. 喫食しない入所者の食事の保存 5. 何もしていない 6. その他 | 回答欄
→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
|---|--|

(4) 入所者が自宅で使用されている食器、箸等の施設への持ち込みについて、入所者や家族にどのように説明していますか。（1つを選択してください）

- | | |
|---|-----------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 持ち込みを勧めている 2. 持ち込みを許可している 3. 持ち込みを制限している（個別相談） 4. 持ち込みを禁止している 5. その他 | 回答欄
→ <input type="checkbox"/> |
|---|-----------------------------------|

(5) (4)で1.を回答した方に伺います。

持ち込みを勧めている理由について教えてください。（あてはまるものすべてを選択してください）

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅の食器や箸を使用することで、自宅の食卓の環境を施設に持ち込み、入所者に安心感を与えるため 2. 使い慣れた食器や箸を使用する方が、入所者の「自分で食べる」動作を維持してもらいやすいため 3. 持ち込んだ食器等を介して、職員と入所者がコミュニケーションをとりやすくするため 4. その他 | 回答欄
→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
|--|---|

(6) (4) で 3. 4. を回答した方に伺います。

持ち込みを制限・禁止している理由について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 持ち込んだ食器や箸の破損や紛失などの事故防止のため
2. 配膳の手間に対する職員の負担を軽減させるため
3. 食器等の持ち込みに拘る入所者や家族が少ないため
4. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(7) 入所者や家族に対して、施設で提供する喫食以外の飲食の制限について教えてください。(1つを選択してください)

1. 施設で用意する喫食以外は制限している
2. 施設が用意する喫食以外でも制限していない
3. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

問9 入浴介護で取り組まれている内容について教えてください

(1) 入浴スケジュールについて教えてください。(1つを選択してください)

1. 施設全体でスケジュールを立て、入浴介護を行っている
2. エリア・ユニット単位でスケジュールを立て、入浴介護を行っている
3. 入所者の要望を確認し、入所者毎に入浴時間を決めている
4. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

(2) 入浴介護の職員配置について教えてください。(1つを選択してください)

1. 複数の職員で役割分担(誘導・着替え・洗身等)し、分業しながら複数の入所者の入浴介護をしている
2. 専属の入浴介護職員(1, 2名)を配置し、複数の入所者の入浴介護をしている
3. 日常的に介護している職員がマンツーマンで担当の入所者の入浴介護をしている
4. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

(3) (2) で 1. 2. を回答した方に伺います。複数の職員で役割分担して入浴支援を行っている理由について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 職員が不足するため、職員間で役割分担した方が効率的なため
2. 入所者の要介護度が重度のため、スキルのある職員を配置した方が安全なため
3. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(4) (2) で3. を回答した方に伺います。日常的に介護している職員が入浴支援をマンツーマンで行う理由について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 日常的に介護している職員が担当した方が、入所者の好みを把握しており、入所者の満足度が高いため
2. 日常的に介護している職員が担当した方が、入所者の身体特徴を把握しており、安全なため
3. 日常的に介護している職員が担当した方が、入所者との信頼関係があるため、入浴時間を通じて、入所者の生活や施設への要望や意見を聞き取れるため
4. その他

回答欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 1 0 排泄介護で取り組まれている内容について教えてください

(1) 排泄介護の方法を教えてください。<トイレ使用の場合> (1つを選択してください)

1. ナースコール等の入所者からの呼び出しに応じて、都度、排泄介護している
2. 入所者の排泄データ等に基づき、入所者に排泄の意思を確認し、排泄介護している
3. 特定の時間帯に一斉に排泄介護を行っている
4. その他

回答欄

<input type="checkbox"/>

(2) 入所者の介護オムツの取り換え方法について教えてください。(1つを選択してください)

1. 施設やフロア、エリア・ユニット単位で時間を決めて、介護オムツを交換している
2. 入所者の排泄状況に応じて、都度介護オムツを交換している
3. その他

回答欄

<input type="checkbox"/>

(3) 使用済の排泄用品の回収方法について教えてください。(1つを選択してください)

1. 排泄用品をバケツ等に置いておき、時間を定めて定期的に回収・運搬している
2. 排泄用品を排泄の都度、バックなどに入れずそのまま運び出している
3. 排泄用品を人目につかないように、トートバックやエコバックに入れ、都度運び出している
4. その他

回答欄

<input type="checkbox"/>

問 1 1 入所者が日中、主に過ごしている場所について教えてください。(1つを選択してください)

1. 居室	4. コミュニティスペース (談話スペース)
2. 共同生活室 (リビング・ダイニング等)	5. その他
3. 食堂	

回答欄

<input type="checkbox"/>

4. 貴施設での入所者のプライバシーに配慮した取組についてお聞きます。

問 1 2 貴施設での入所者の居室やベット周りへの私物の持ち込みについて教えてください

(1) 入所者の私物の持ち込みについて、入所者や家族にどのように説明していますか。

(1つを選択してください)

1. 持ち込みを勧めている	4. 持ち込みを禁止している
2. 持ち込みを許可している	5. その他
3. 持ち込みを制限している (個別相談)	

回答欄

→

(2) (1) で 1. を回答した方に伺います。私物の持ち込みを勧めている理由について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 私物を持ち込むことで、自宅に近い生活空間をつくり、入所後の環境変化による認知症の症状を軽減するため
2. 持ち込んだ私物を介して、職員と入所者がコミュニケーションをとりやすくするため
3. 私物を持ち込むことで、居心地の良い空間をつくり、家族の滞在を促すため
4. その他

回答欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) (1) で 3. 4. を回答した方に伺います。持ち込みを制限・禁止している理由について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 持ち込まれた私物の破損や紛失、入所者間の好みの違いから、トラブルを防ぐため
2. 持ち込まれた私物が職員の介護の妨げになる場合があるため
3. 私物の持ち込みに拘る入所者や家族が少ないため
4. その他

回答欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(4) (1) で 1. 2. 3. を回答した方に伺います。持ち込みが可能な私物について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 衣服、履物	6. 仏壇、遺影
2. テレビ、ラジオ	7. 鉢植えの植栽
3. 収納家具 (幅のとらないもの)	8. 生き物 (金魚、インコ等)
4. 家具 (タンス、テーブル、椅子等)	9. その他
5. 冷蔵庫・電子レンジ	

回答欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 1 3 施設への入所者の家族等の宿泊の受入状況について教えてください

(1) 家族等が宿泊できる場所について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 施設内にある宿泊室	3. その他
2. 入所者の居室内 (簡易ベットを用意等)	

回答欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問14 問1(1)で「1. ユニット型個室」「2. ユニット型個室的多床室」「5. 従来型個室」を回答された方に伺います。居室の扉の取扱いについて教えてください。(あてはまるもの1つを選択してください)

1. 入所者のプライバシーを重視し、居室の扉は閉めている
2. 入所者のプライバシーを重視し、居室の扉は閉めているが、入所者が寂しい場合、転倒リスクのある場合等は、入所者や家族の意向を確認し、扉を開けている
3. 居室内の転倒事故を見守りできるように入所者や家族の許可を得て、扉を開けている
4. プライバシーの確保と居室内への見守りを考慮し、扉は開けておき、入口にカーテンや防災ののれんを設置している
5. 居室に扉を設置していない。又は扉を開け放しにしている
6. その他

回答欄
→

問15 問1(1)で「3. 多床室」と「4. 多床室(準ユニットケア加算)」を回答された方に伺います。多床室で入所者のプライバシーを確保するための取組について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

1. ベッド周りにカーテン等を設け、入所者同士の目線が合わないようになっている
2. 収納棚の配置を工夫し、入所者同士の目線が合わないようになっている
3. ベッドの置き方を工夫して、入所者同士の目線が合わないようになっている
4. 特に何もしていない
5. その他

回答欄
→

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. 貴施設で実施しているイベントやレクリエーション活動内容についてお聞きます。

問16 イベントやレクリエーション活動の実施について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 施設全体で実施している | 3. 「エリア・ユニット」単位で実施している |
| 2. 「フロア」単位で実施している | 4. イベント活動等は行っていない |
| 5. その他 | |

回答欄
→

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問17 問16で2. 3. を回答した方に伺います。フロアやエリア・ユニット単位のイベント活動等の入所者の参加状況を教えてください。(あてはまるもの1つを選択してください)

1. 入所者全員に参加してもらっている
2. 入所者に任意で参加を呼び掛けているが、ほぼ全員参加している
3. 入所者に任意で参加を呼び掛けており、回により参加状況は異なる
4. あまり参加していない
5. その他

回答欄
→

6. 貴施設での日常的な職員間の情報共有の取組についてお聞きます。

問 1 8 日常的に入所者の情報を共有している職員の職種を教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 生活相談員	4. 栄養士
2. 介護支援専門員	5. 介護職員
3. 看護職員	6. 機能訓練指導員
	7. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 1 9 問 1 8 で回答された職員の情報共有の仕方を教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 職種横断で定期的にミーティングを設けている	3. 職員がいつでも閲覧、加筆できるような日誌（記録）を作成している
2. 全員が集まるのが難しいため、職種で分け、複数のミーティングを設けている	4. SNS を活用し、情報共有している
	5. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 2 0 問 1 9 で 1. 2. を回答した方に伺います。ミーティングの頻度を教えてください。

(1 つを選択してください)

1. 1ヶ月に1回程度	3. 2,3日に1回程度
2. 1週間に1回程度	4. 毎日
	5. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

7. 貴施設の入所者の負担軽減を適用される入所者についてお聞きます

問 2 1 低額要件を満たし負担軽減適用される入所者割合について教えてください。(1 つを選択してください)

利用者負担第 1 段階	1. 1割未満 2. 1割以上、2割未満 3. 2割以上、3割未満	4. 3割以上、4割未満 5. 4割以上、5割未満 6. 5割以上
利用者負担第 2 段階	1. 1割未満 2. 1割以上、2割未満 3. 2割以上、3割未満	4. 3割以上、4割未満 5. 4割以上、5割未満 6. 5割以上
利用者負担第 3 段階	1. 1割未満 2. 1割以上、2割未満 3. 2割以上、3割未満	4. 3割以上、4割未満 5. 4割以上、5割未満 6. 5割以上

回答欄

→	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

回答欄

→	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

回答欄

→	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

問 2 2 入所者の個別の希望に応じた、別途費用負担による個別サービスについて教えてください。

(1) 個別サービスの提供状況を教えてください。(1 つを選択してください)

1. 提供している	2. 提供していない
-----------	------------

回答欄

→	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

(2) (1) で 1. を回答した方に伺います。どのようなサービスを提供していますか。(自由に記載してください)

回答欄 (自由記載) 例) 食事サービス/福祉用具等

→

8. ユニット型個室の特徴等についてお聞きます。

※ 問1(1)で「1. ユニット型個室」「2. ユニット型個室的多床室」を回答された方、ご回答ください

問23 ユニット型個室ならではの特徴・メリットについて、教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

<入所者・家族の視点>

1. ユニット型個室は、複数の入所者が同じ居室で生活する多床室と比べ、他の入所者の光や音や臭いの漏れを気にせずに生活ができ、プライバシーを確保できる。
2. 「居室」と他の入所者が集える「共同生活室」を使い分けることで、入所者は体調や精神状況に応じて、人との接触のバランスをとることができる。
3. 多床室では、私物の持ち込みは制限されるが、ユニット型個室は、「居室」なため、入所者は自宅の家具等を持ち込むことができ、自分らしい生活空間をつくることができる。
4. ユニット型個室では、職員がユニット単位に配置されるため、入所者は顔なじみの関係にある職員により自分のニーズにあったケアを受けることができる。
5. ユニット型個室では、起床、喫食、排泄、入浴、就寝等、入所者個人のリズムに合わせた生活をする事ができる。
6. その他

回答欄

→

<職員・施設の視点>

1. ユニット型個室は、多床室と比べ、職員が担当する入所者が限られ、職員は個々の入居者の要望や状況を把握でき、入所者のニーズに合わせたケアができる。そのことが、職員のモチベーションにつながっている。
2. 職員が分業して、施設単位の入所者を介護する多床室と比べ、ユニット型個室では、職員はユニット単位の入所者を介護するため、職員の介護による移動負担を少なくすることができる。
3. ユニット型個室は、居室やユニットの単位で空間が区切られているため、感染症が発症しても施設全体への感染症の拡散を防ぐ対策をとりやすい。
4. ユニット型個室では、入所者個人の生活リズムに合わせ、入所者により起床や食事の時間が異なるため、施設単位で一日のスケジュールを決めている施設と比べ、複数の入所者の介護が集中するリスクが少ない。
5. その他

回答欄

→

問 2 4 ユニット型個室ならではの問題・デメリットについて、教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

<p><入所者・家族の視点></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユニット型個室では、入所者の生活はユニット単位が基本で、入所者のコミュニケーションの範囲が限られているため、入所者同士や職員との人間関係が煮詰まることもある。 2. ユニット型個室では、職員が居室に入り、介護している時間帯に他の入所者への目配りができない問題が生じやすく、入所者や家族にとって安全や防犯面の不安を感じる場合がある。 3. その他 	<p>回答欄</p> <p>→ <input type="checkbox"/></p> <input type="checkbox"/>
<p><職員・施設の視点></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多床室と比べ、ユニット型個室では、ユニット内の業務をユニット内の職員でこなすため、職員の負担や必要なスキルの水準が高く、職員の負担が大きい。 2. 多床室では、複数の職員が分担して介護ができるが、ユニット型個室では、職員の配置がユニット単位となるため、職員は他のユニットの職員と情報共有しにくい。 3. ユニット型個室は、居室であるため、職員の見守りの負担が大きい。ユニット内では死角が生じやすく、見守りしきれず事故発生のリスクもある。 4. ユニット毎に配置される職員のスキルの違いで、ユニット間でケアの格差が生じやすい。 5. その他 	<p>回答欄</p> <p>→ <input type="checkbox"/></p> <input type="checkbox"/>

問 2 5 ユニットリーダーについて教えてください。

(1) ユニットリーダーは主にどのような役割を担っていますか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

<table> <tr> <td>1. 施設長からの指示等の職員への伝達</td> <td>5. ユニット内の入所者の家族の相談窓口</td> </tr> <tr> <td>2. ユニット内の職員の管理・シフト作成</td> <td>6. 他ユニット間との調整（職員の欠勤による応援要請、合同イベントの調整等）</td> </tr> <tr> <td>3. 職員からの相談・アドバイス</td> <td>7. その他</td> </tr> <tr> <td>4. ユニット内の入所者全体状況の把握</td> <td></td> </tr> </table>	1. 施設長からの指示等の職員への伝達	5. ユニット内の入所者の家族の相談窓口	2. ユニット内の職員の管理・シフト作成	6. 他ユニット間との調整（職員の欠勤による応援要請、合同イベントの調整等）	3. 職員からの相談・アドバイス	7. その他	4. ユニット内の入所者全体状況の把握		<p>回答欄</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>							
1. 施設長からの指示等の職員への伝達	5. ユニット内の入所者の家族の相談窓口																
2. ユニット内の職員の管理・シフト作成	6. 他ユニット間との調整（職員の欠勤による応援要請、合同イベントの調整等）																
3. 職員からの相談・アドバイス	7. その他																
4. ユニット内の入所者全体状況の把握																	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																

(2) ユニットリーダーに対して、どのような資格や資質を求めていますか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

<table> <tr> <td>1. 介護福祉士等の資格</td> <td>4. 一定程度の実務経験（自社に限る）</td> </tr> <tr> <td>2. ユニットケアリーダー研修修了</td> <td>5. その他</td> </tr> <tr> <td>3. 一定程度の実務経験（他社を含む）</td> <td></td> </tr> </table>	1. 介護福祉士等の資格	4. 一定程度の実務経験（自社に限る）	2. ユニットケアリーダー研修修了	5. その他	3. 一定程度の実務経験（他社を含む）		<p>回答欄</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>					
1. 介護福祉士等の資格	4. 一定程度の実務経験（自社に限る）												
2. ユニットケアリーダー研修修了	5. その他												
3. 一定程度の実務経験（他社を含む）													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												

(3) ユニットリーダーのユニットケアリーダー研修の修了状況について教えてください。

(1つを選択してください)

1. 全員が研修を修了している	4. 若干名が研修を修了している
2. 半分以上が研修を修了している	5. 把握していない
3. 半分未満が研修を修了している	6. その他

回答欄
→

(4) ユニットリーダーの人材確保についてどのように認識されていますか。(1つを選択してください)

1. ユニットリーダーの条件を満たす人材確保は難しい
2. ユニットリーダーの条件を満たす人材確保はできないため、条件を緩めている
3. ユニットリーダーの条件を満たす人材確保は比較的容易である
4. その他

回答欄
→

(5) (4) 1. 2. を回答した方に伺います。ユニットリーダーの条件を満たす職員の確保が難しいため、配置するユニットリーダーについて生じている問題について教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

1. ユニットリーダーによって、スキルや資質にバラつきが生じて、ユニット間で格差が生じている
2. 複数のユニットリーダーのうち、主任格のユニットリーダーをおき、複数のユニットの管理や情報伝達をお願いしている
3. ユニットリーダーを配置することができないユニットが生じるため、ユニット数の縮小化を図ることを検討している
4. その他

回答欄
→

問26 平成27年度から特別養護老人ホームの入所者の入所条件が、原則「要介護3」以上になり、入所者の重度化が進んでいますが、それにより、入所者同士の人間関係、職員と入所者の関わりについて、どのような影響がみられますか。

(1) 入所者同士の人間関係 (1つを選択してください)

1. 重度化により、入所者の活動量が減少し、入所者同士の人間関係が希薄になっている
2. 重度化により、入所者の活動量が減少したことで、入所者同士の人間関係が密になっている
3. 重度化に関係なく、入所者同士の人間関係の密度は以前と変わらない
4. その他

回答欄
→

(2) 職員と入所者の関わり (1つを選択してください)

1. 重度化により、入所者の活動量が減少し、直接的な職員の負担が軽減している
2. 重度化により、ケアが複雑化、専門化しており、職員の負担が重くなっている
3. 重度化しても、職員の負担は以前と変わらない
4. その他

回答欄
→

問 2 7 ユニットの入所者数は、概ね 1 0 人以下とされていますが、仮に 1 ユニットの入所者数が増えた場合、どのような影響が生じると思われますか。次の視点毎にお答えください。

(1) 入所者同士や職員とのコミュニケーションの視点 (1つを選択してください)

回答欄

- 1. ユニットの入所者数が増えることで、入所者同士の人間関係が変化し、ストレスや不満が生じる
- 2. 職員 1 人あたりの担当の利用者数が増え、利用者に孤独を感じさせる
- 3. ユニットの入所者数が増えても、入所者の人間関係に影響しない
- 4. 少人数で濃密すぎるユニット内の人間関係が適正化される
- 5. その他

→

(2) (1) で 1. 2. を回答した方に伺います。入所者のストレスや不満、孤独を回避する手立てとして、職員の配置とは別に、ボランティア等の配置 (入所者との交流・レクリエーション活動等) が考えられます。こうした取組について、どのように思いますか。(1つを選択してください)

回答欄

- 1. ボランティア等を配置することで、入所者のストレスや不満等の解消に役立つ
- 2. ボランティア等を配置することで、入所者のストレスや不満等の解消に役立たない
- 3. どちらともいえない

→

(3) 職員の負担の視点 (1つを選択してください)

回答欄

- 1. 1 ユニットの入所者数が増えても、現行配置されているユニット職員数で対応できる
- 2. 1 ユニットの入所者数が増えた場合、現行の利用者：職員の配置の比率未満ではあるが少し人員を増やす必要がある
- 3. 1 ユニットの入所者数が増えた場合、現行の利用者：職員の配置の比率よりも手厚く人員を大幅増やす必要がある
- 4. その他

→

(4) 事故等の安全面の視点 (1つを選択してください)

回答欄

- 1. 1 ユニットの入所者数が増えたことで、ユニットの事故リスクが増える
- 2. 1 ユニットの入所者数が増えたことで、ユニットの事故リスクはあまり変わらない
- 3. 1 ユニットの入所者数が増えたことで、ユニットの事故リスクは減る
- 4. その他

→

(5) 家族からみた視点 (1つを選択してください)

回答欄

- 1. 1 ユニットの入所者数が増えたことで、入所者の家族の満足度に影響される
- 2. 1 ユニットの入所者数が増えても、入所者の家族の満足度に影響されない
- 3. その他

→

問28 問27の(1)～(4)の回答を踏まえ、1ユニットの入所者数の上限として適切と考える人数範囲を教えてください。(1つを選択してください)

1. 10人以上、11人以下	4. 16人以上、17人以下
2. 12人以上、13人以下	5. 18人以上、19人以下
3. 14人以上、15人以下	6. 20人以上

回答欄
→

問29 ユニットの夜勤職員について教えてください。

(1) 夜勤職員が担う主要な業務について教えてください。(3つ選択してください)

1. トイレ誘導・介護	6. 服薬管理・投薬
2. おむつ・パットの交換、失禁更衣	7. バイタルチェック
3. 巡回・訪室	8. 記録・カルテ記録
4. コール対応	9. 緊急・救急対応
5. 義歯洗浄・はみがき	10. その他

回答欄
→

(2) (1)で回答した業務について、職員の負担はどのように感じますか。(1つを選択してください)

1. 負担が大きい	3. その他
2. 負担が少ない	

回答欄
→

(3) ユニットでの夜勤職員の配置について、2ユニットごとに1人以上とされていますが、職員の負担の視点からどのように感じていますか。(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 2ユニットに1人では人手が足りない
2. 同一フロア内であれば問題がない(異なるフロア間では難しい)
3. 同一フロアか否かにかかわらず、2ユニットに1人でちょうど良い
4. 見守りセンサー等のICTやインカムを活用しながら、効率よく夜間勤務を行えば余裕がある
5. 平常時は問題がないが、職員が少ないと、不安を感じる職員がいたり、突発的な出来事への対応が困難である
6. その他

回答欄
→

9. 多床室の特徴等についてお聞きます。

※ 問1(1)で「3. 多床室」または「4. 多床室(準ユニットケア加算)」を回答された方、
ご回答ください

問30 多床室ならではの特徴や問題・課題等について、教えてください。

(1) 多床室ならではの特徴や問題・課題について、教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

<入所者・家族の視点>

1. 多床室は、複数の入所者が同じ居室で生活するため、入所者同士のコミュニケーションをとりやすく、入所者が孤独に陥るリスクが少ない。
2. 多床室では、利用料がユニット型個室よりは安価で、経済的な負担にはなりづらい。
3. 多床室は、複数の入所者の目があるため、転倒等の事故の早期発見ができ、個室より、入所者の安心・安全を確保することができる。
4. 多床室では、複数の入所者と同じ居室で生活するため、個室と比べ、他の入所者の光や音や臭いの漏れが気になり、プライバシーの確保が難しい。
5. 多床室でも家具の配置やベッドの配置によりプライバシーを確保することが可能。
6. 多床室では、ユニット型のようにユニット単位での生活を必ずしも求められるわけでもないので、利用者の自由が効きやすい。
7. 多床室では、個室と比べ、ベッド周りに私物の持ち込みが制限されるため、入所者は自分らしい生活空間をつくるのが難しい。
8. 多床室では、複数の職員が分業して介護をするため、入所者は自分の好みやニーズに応じたケアを受けるのが難しい。
9. 施設内でグループ・エリア分けや入所者ごとに担当者をつけるなど、入所者のニーズに対応したケアを実践している。
10. 多床室は、複数の入所者が共同生活を営むため、起床、喫食、就寝等、入所者個人のリズムに合わせた生活をするのが難しい。
11. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<職員・施設の視点>

1. 多床室は、複数の職員が役割分担して介護できるため、職員同士の情報や悩みを共有しやすい。
2. 多床室は、個室と比べ、職員の目が行き届きやすく、入所者の事故発生リスクが少ない。
3. 多床室は、職員は施設やフロア単位で複数の入所者を担当するため、入所者個人の状況等を把握しにくく、画一的なケアに陥りやすい。
4. 多床室は、個室と比べ、施設内の空間の区切りが少ないため、感染症が発症した場合、施設全体に拡散しやすい。
5. 多床室でも、感染症の発生したときの入所者の適切な処遇(個室への移動)により、個室と比較しても、特に感染症などが広がりやすいとは思わない。
6. その他

回答欄

→	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>

(2) 大規模修繕や建て替えなどを実施する際に、ユニット型に改修・移行する予定について教えてください。(1つを選択してください)

1. 移行を検討している	3. 未定
2. 移行は検討していない	

回答欄

→

(3) (2) で「1. 移行を検討している」を回答した方に伺います。理由を教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 介護報酬がユニット型の方が高いため	
2. ユニット型の方が望ましいケアができるから	
3. 人材確保の観点からユニット型の方が職員が集まりやすいから。	
4. 入所者を募る際にユニット型の方が入所者の応募が多いから。	
5. 指定権者など自治体の意向	

回答欄

→

	/

(4) (2) で「2. 移行は検討していない」を回答した方に伺います。理由を教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

1. 現行のケアの提供や運営で十分だから	
2. ユニット型の方が人手が必要であり、人材確保に困難を感じるため	
3. 多床室の方が入所者の応募が多いから	
4. 指定権者など自治体の意向	
5. 整備費用面で難しいから	

回答欄

→

	/

ご回答いただきました施設名、ご担当者名前等を記載してください。

施設名	
事業者名	
住所	
電話番号	
e-mail	
ご回答者名	所属： お名前：

以上でアンケートは終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。